RICOH

使用説明書 クライアント編

IPSiO CX6600/6100

1. Windows 95/98/Meで使う

2. Windows 2000で使う

3. Windows XP/Server 2003で使う

4. Windows NT 4.0で使う

5. Macintoshで使う

6. UNIXで使う

7. NetWareで使う

8. CD-ROM収録ソフトウェアについて

9. プリンタードライバー設定画面の表示と印刷の中止

10.試し印刷／機密印刷する

11.こんなときには

12.付録

はじめに

このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。
この使用説明書は、製品の正しい使い方や使用上の注意について記載してあります。ご使用の前に、この使用説明書を最後までよくお読みの上、正しくお使いください。また、この使用説明書が必要になったとき、すぐに利用できるように保管してください。

株式会社リコー

安全に正しくお使いいただくために、操作の前には必ず使用説明書＜保守編＞『安全上のご注意』をお読みください。

商標

- Ethernetは、富士ゼロックス株式会社の登録商標です。
- EtherTalk、Macintosh、TrueTypeは、米国Apple Computer, Inc.の各国での登録商標です。
- Microsoft、Windows、Windows NTは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- NECは、日本電気株式会社の登録商標です。
- PC98-NXシリーズ、PC-9800シリーズ、PC-9821シリーズは、日本電気株式会社の製品です。
- NetWareは、米国Novell, Inc.の登録商標です。
- PostScriptは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の各国での登録商標または商標です。
- UNIXは、X/Openカンパニーリミテッドがライセンスしているソフトウエアです。
- BMLinkSは、社団法人　ビジネス機械・情報システム産業協会の登録商標です。
- その他の製品名、名称は、各社の商標または登録商標です。

* Windows® 95の製品名は、Microsoft® Windows® 95です。
* Windows® 98の製品名は、Microsoft® Windows® 98です。
* Windows® Meの製品名は、Microsoft® Windows® Millennium Edition（Windows Me）です。
* Windows® 2000の製品名は以下のとおりです。
　Microsoft® Windows® 2000 Professional
　Microsoft® Windows® 2000 Server
　Microsoft® Windows® 2000 Advanced Server
* Windows® XPの製品名は以下のとおりです。
　Microsoft® Windows® XP Home Edition
　Microsoft® Windows® XP Professional
* Windows Server 2003の製品名は以下のとおりです。
　Microsoft® Windows® Server 2003 Standard Edition
　Microsoft® Windows® Server 2003 Enterprise Edition
　Microsoft® Windows® Server 2003 Web Edition
* Windows NT® 4.0の製品名は以下のとおりです。
　Microsoft® Windows NT® Server 4.0
　Microsoft® Windows NT® Workstation 4.0

環境を確認する

本機をご使用になる環境を確認します。

Windows 2000
Windows XP
Windows Server 2003
Windows NT 4.0
（サーバー）

NetWare
（サーバー）

Windows 95/98/Me

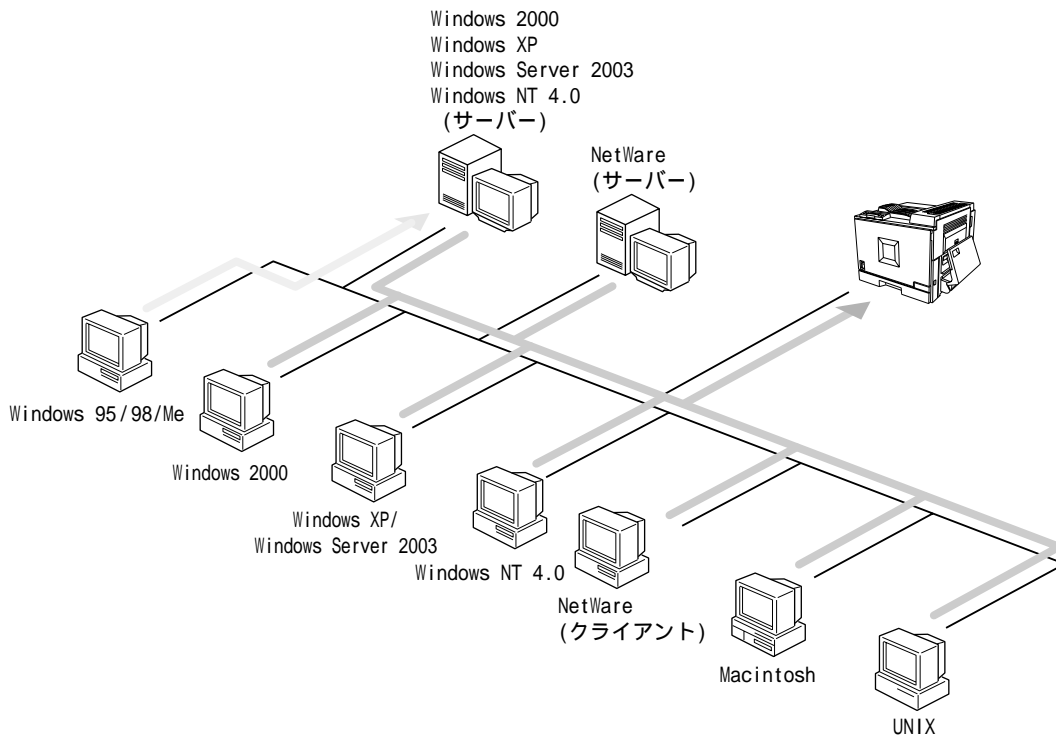
Windows 2000

Windows XP/
Windows Server 2003

Windows NT 4.0

NetWare
（クライアント）

Macintosh

UNIX

❖ **プリンターとコンピューターの接続方法**

- **ネットワーク接続（イーサネットケーブル、**IEEE 1394**ケーブル（**IP over 1394**）、**IEEE 802.11b**（無線**LAN**））**
- **パラレル接続（パラレルケーブル）**
- USB**接続**
- IEEE 1394（SCSI print）
- Bluetooth™**接続**

❖ **プリントサーバー**

- Windows 2000/XP/Server 2003/Windows NT 4.0**サーバーを使う**
- NetWare**サーバーを使う**

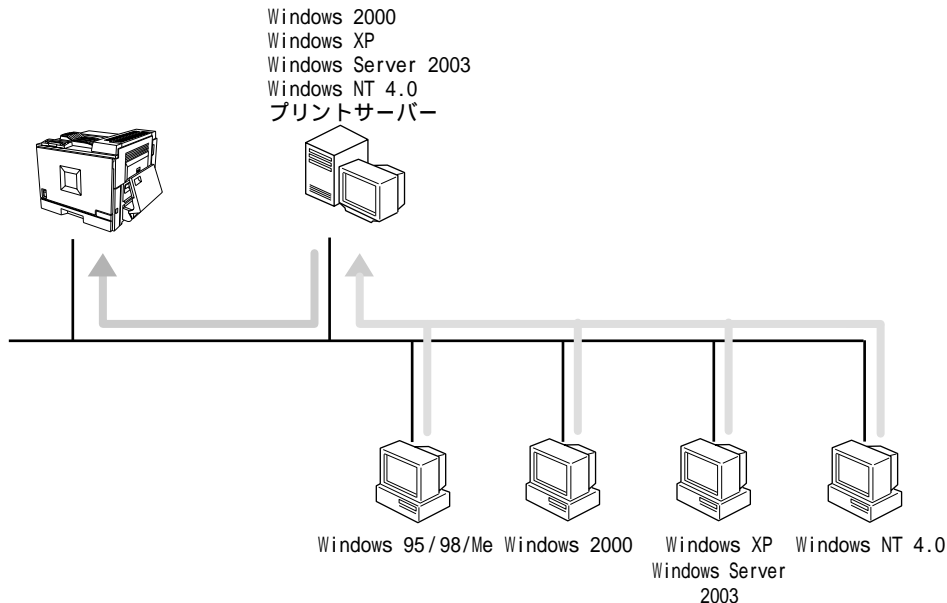
Windows で使う

プリントサーバーを使う場合

本機をネットワークに接続し、プリントサーバーを使って印刷する場合のセットアップ方法を説明します。

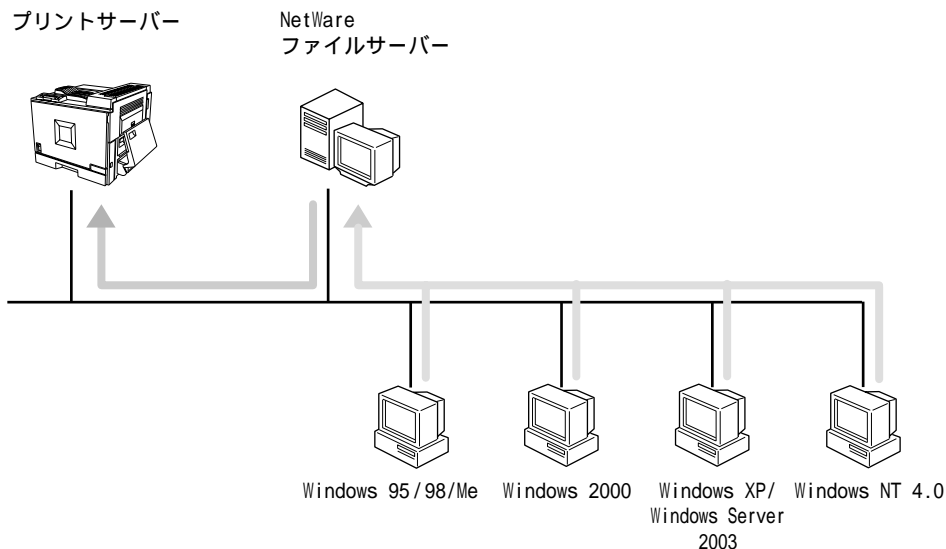
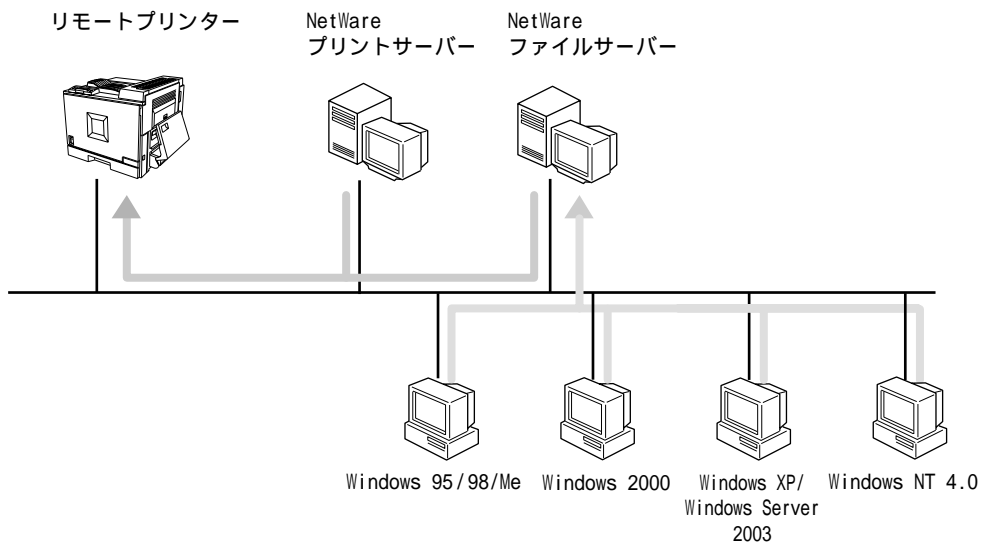
Windows 2000/XP/Server 2003/Windows NT 4.0のプリントサーバーを使う方法とNetWareサーバーを使う方法があります。

❖ Windows 2000、Windows XP/Server 2003、Windows NT 4.0のプリントサーバーを使う

Windows 2000、Windows XP/Server 2003、Windows NT 4.0をプリントサーバーとして使い、Windows 95/98/Me、Windows 2000、Windows XP/Server 2003、Windows NT 4.0のクライアントから印刷します。

- Windows 95/98/Me ⇒ P.16 「プリントサーバーを使う場合」
- Windows 2000 ⇒ P.53 「プリントサーバーを使う場合」
- Windows XP/Server 2003 ⇒ P.90 「プリントサーバーを使う場合」
- Windows NT 4.0 ⇒ P.126 「プリントサーバーを使う場合」

❖ NetWareサーバーを使う

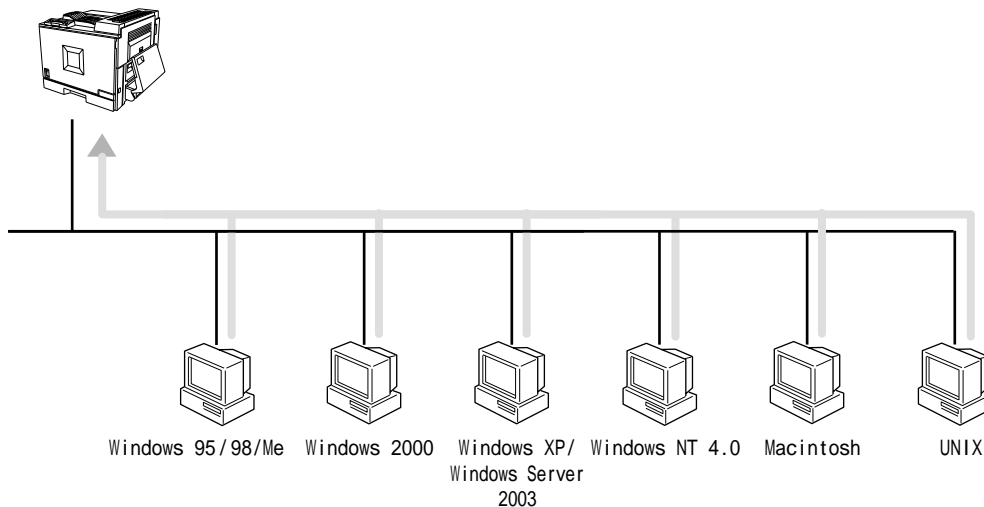
NetWare 3.xJ、NetWare 4.xJ、NetWare 5/5.1Jをプリントサーバーとして使い、Windows 95/98/Me、Windows 2000、Windows XP/Server 2003、Windows NT 4.0のクライアントから印刷します。
本機をプリントサーバーとして使う形態とリモートプリンターとして使う形態の2種類があります。

❖ プリントサーバーとして使う場合

❖ リモートプリンターとして使う場合

⇒ P.193 「NetWareで使う」

プリントサーバーを使わない場合

本機をネットワークに接続し、サーバーを介さずに印刷する場合のセットアップ方法を説明します。

Windows 95/98/Me、Windows 2000、Windows XP/Server 2003、Windows NT 4.0、Macintosh、UNIXから印刷できます。

❖ ネットワーク接続（イーサネットケーブル、IEEE 1394ケーブル（IP over 1394））の場合

❖ ネットワーク接続（IEEE 802.11b（無線LAN））の場合

❖ アドホックモード（802.11アドホックモード／アドホックモード）

これは、各無線.LANを装着したパソコン同士で通信するモードです。各無線LANを装着したパソコン間に中継器（アクセスポイント）を必要としない最も基本的な通信方式で、通信するためには互いに使用する周波数帯（チャンネル）、SSID [*1] を揃える必要があります。
無線.LANを装着したパソコンの設定によっては、SSID [*1] の設定が不要な場合もあります。詳しくは、使用説明書<オプション設置編>「無線LANを使用するときの設定」を参照してください。

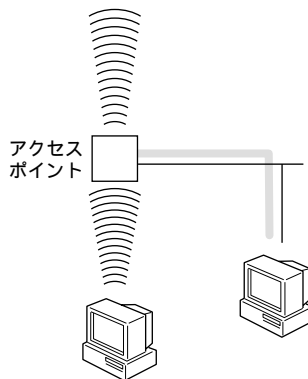
❖ インフラストラクチャーモード

これは、アクセスポイントを経由して通信するモードです。アクセスポイントでSSID [*1] 、WEP [*2] を設定している場合は、同じ値を設定する必要があります。また、有線LAN（イーサネット）にアクセスポイントを接続することにより、既存のネットワーク環境に組み込むことができます。
⇒使用説明書<オプション設置編>「無線LANを使用するときの設定」

[*1] Service Set IDとよばれ、アクセスポイントと無線LANクライアント間で接続の際に使用される識別子です。同じSSIDを共有する無線LANクライアントとアクセスポイントだけが相互に通信が可能となります。（設定できる文字は、半角英数字32バイト（大文字／小文字を区別する<ASCII 0x20〜0x7e>）までとなります。）

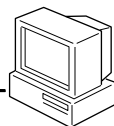
*2　無線データ通信の内容を暗号化して保護するために使用されます。暗号化されたアクセスポイント、無線LANクライアント間で通信するためには、プリンターにも同一のＷＥＰキーを設定する必要があります。（設定できる値は、64bitの場合16進数10桁、128bitの場合16進数26桁です。）

❖アドホックモードで印刷する

❖インフラストラクチャモードで印刷する

- Windows 95/98/Me ⇒ P.22 「プリントサーバーを使わない場合」
- Windows 2000 ⇒ P.59 「プリントサーバーを使わない場合」
- Windows XP/Server 2003 ⇒ P.96 「プリントサーバーを使わない場合」
- Windows NT 4.0 ⇒ P.132 「プリントサーバーを使わない場合」

パラレル接続の場合

本機とパソコンをパラレルケーブルで接続して印刷する場合のセットアップ方法を説明します。

Windows 95/98/Me、Windows 2000、Windows XP/Server 2003、Windows NT 4.0から印刷できます。

- Windows 95/98/Me ⇒ P.37 「パラレルインターフェースを使う」
- Windows 2000 ⇒ P.76 「パラレルインターフェースを使う」
- Windows XP/Server 2003 ⇒ P.111 「パラレルインターフェースを使う」
- Windows NT 4.0 ⇒ P.147 「パラレルインターフェースを使う」

USB インターフェースを使う

- Windows 98SE/Me ⇒ P.41 「USBインターフェースを使う」
- Windows 2000 ⇒ P.81 「USBインターフェースを使う」
- Windows XP/Server 2003 ⇒ P.116 「USBインターフェースを使う」

IEEE 1394 インターフェースを使う

- Windows Me ⇒ P.46 「IEEE 1394インターフェースを使う」
- Windows 2000 ⇒ P.84 「IEEE 1394インターフェースを使う」
- Windows XP/Server 2003 ⇒ P.119 「IEEE 1394インターフェースを使う」

Macintosh で使う

⇒ P.155 「Macintoshで使う」

UNIX で使う

⇒ P.163 「UNIXで使う」

プリントサーバーを使う場合

Windows 2000、Windows XP/Server 2003、Windows NT 4.0 のプリントサーバーを使う

Windows 2000、Windows XP/Server 2003、Windows NT 4.0をプリントサーバーとして使用する場合のセットアップ方法を説明します。

プリンタードライバーのインストール

操作の前に

プリントサーバーを使う場合は、RPCSプリンタードライバーを「ネットワークプリンタ」を指定してインストールし、Windows 2000、Windows XP/Server 2003、Windows NT 4.0の共有プリンターを選択します。

ここでの説明はクライアント側がWindows 2000、Windows XP/Server 2003、Windows NT 4.0と正しく通信できる環境に設定されていることを前提にしています。設定さていない場合は、クライアント側に必要なソフトウェアを組み込んでからセットアップを行ってください。

制限

❒ Ridoc IO Naviポートで本機を接続しているプリントサーバをお使いの場合、クライアントからの代行印刷、並行印刷を行うことはできません。

❒ Windows XP/Server 2003をプリントサーバとした場合、クライアントに印刷通知を行うことはできません。

1 本機に付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。

インストーラーが起動します。

補足

❒ システムの設定によってはインストーラーが自動的に起動しないことがあります。その場合は、CD-ROMのルートディレクトリにある「SETUP.EXE」をダブルクリックして起動してください。

2 セットアップ画面が表示されたら、[プリンタードライバー] をクリックします。

3 [使用許諾] ダイアログにソフトウェア使用許諾契約が表示されます。すべての項目をお読みください。同意する場合は、[次へ] をクリックします。

4 [コンポーネントの選択] ダイアログでプリンタードライバーを選択し、[次へ] をクリックします。

5 [プリンタ名] の左のボックスをクリックし、使用する機種を選択します(✓印を付けます)。プリンター名を変更するときは、['プリンタ名'の設定の変更] ボックスで変更します。

6 [プリンタ名] をダブルクリックし、プリンターの設定を展開します。

補足

❒ [コメント:]、[ドライバ:]、[ポート:] は、ご使用のオペレーティングシステム、選択したプリンター機種、使用するポートによって、それに応じた表示となります。

7 [ポート:] を選択し、[追加] をクリックします。

8 [ネットワークプリンタ] を選択し、[OK] をクリックします。

9 **ネットワークツリー上で、プリントサーバーとして使用するコンピューターの名前をダブルクリックします。**

10 **印刷するプリンターを選択し、[OK] をクリックします。**

11 **[ポート :] に選択したプリンターのパスが表示されていることを確認します。**

12 **必要に応じて、ユーザーコードの設定や通常使うプリンターの設定をします。**

補足

❒ **設定項目を選択し、ダイアログ下部の変更ボックスで設定してください。**

❖ ユーザーコードの設定

補足

- ❒ ユーザーコードを設定しておくと、各ユーザーごとの印刷枚数の統計をとることができ、Ridoc IO Adminで確認できます。詳細については、Ridoc IO Adminのヘルプを参照してください。
- ❒ 入力できるのは、半角数字最大8桁です。英字や記号はご使用になれません。

❖ 通常使うプリンターの設定

13 ［完了］をクリックします。

プリンタードライバーがインストールされます。

補足

- ❒ 次のメッセージが表示された場合、オートランプログラムでのインストールを続けることができません。P.50「プリンタードライバーのインストール中にメッセージが表示されたとき」を参照してインストールし直してください。
  - 「新しいドライバが既に存在しているため、インストールを継続することができません。」

14 ［コンポーネントの選択］ダイアログが表示されたら、［完了］をクリックします。

15 [導入完了] ダイアログが表示されたら、[完了] をクリックします。

16 プリンタードライバーのインストールが完了したら、オプションを設定します。

補足

- ❒ プリンターとパソコンが双方向通信していないときは、プリンターに接続したオプション、セットした用紙のサイズ、方向を設定する必要があります。

参照

双方向通信の詳細については、P.51「双方向通信が働く条件」を参照してください。

オプションの設定方法は、P.48「オプションを設定する」を参照してください。

プロトコルの準備をする

TCP/IP 印刷、IPP 印刷のための準備

TCP/IPプロトコルまたはIPPを使って印刷する場合は、以下の説明に従ってネットワーク環境を設定してください。

❖ **プリンターの環境設定**

TCP/IPを使って印刷できるように、プリンターのネットワーク環境を設定しておきます。

- TCP/IPプロトコルを有効にする（工場出荷時は有効です）
- IP アドレスなど TCP/IP に関する項目を設定する

参照

設定方法の詳細については、かんたんセットアップの「操作パネルを使って設定する」を参照してください。

DHCPを使用してプリンターのIPアドレスを設定するときは、使用説明書＜システム設定編＞「付録」を参照してください。

Windows MeでIEEE 1394（IP over 1394）をお使いになる場合、操作パネルから設定する必要があります。詳しくは、使用説明書＜オプション設置編＞「IEEE 1394を使用するときの設定」を参照してください。

補足

❒ IPアドレスを設定したら正しく設定されたかどうかWindows上から確認してください。

① Windows 95/98の場合：
［スタート］-［プログラム］-［MS-DOSプロンプト］をクリックします。

② Windows Meの場合：
［スタート］-［プログラム］-［アクセサリ］-［MS-DOSプロンプト］をクリックします。

③ 次のように入力して確認します。（IPアドレスが192.168.15.16の場合）

```
C:> ping 192.168.15.16
```

正しく設定されていると次のように表示されます。

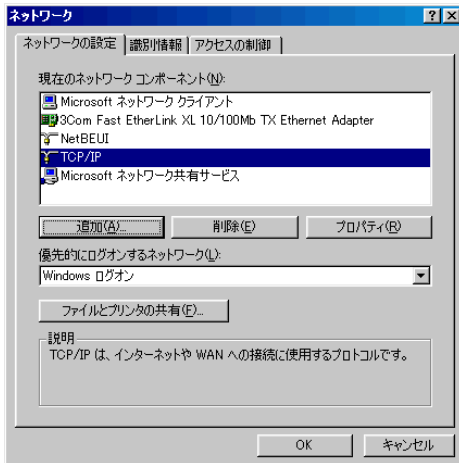
```
Reply from 192.168.15.16 : bytes=32
time<10ms TTL=32
```

間違って設定されていると次のように表示されます。

```
Request timed out.
```

❖ Windowsの環境設定

Windowsに「TCP/IPプロトコル」を組み込み、TCP/IPのプロパティを設定します。

① [コントロールパネル] の [ネットワーク] アイコンをダブルクリックします。
[ネットワークの設定] タブの [現在のネットワークコンポーネント] ボックスに「TCP/IP」が組み込まれていることを確認します。

補足

❒ TCP/IPプロトコルが組み込まれていないときは、[ネットワークの設定] タブの [追加] をクリックして組み込んでください。組み込みの詳しい操作方法についてはWindowsのヘルプを参照してください。

② TCP/IPプロトコルを組み込んだら、プロパティを設定します。
設定内容はネットワーク管理者の方に確認し、正しく設定してください。

NetBEUI 印刷のための準備

NetBEUIプロトコルを使って印刷する場合は、以下の説明に従ってネットワーク環境を設定してください。

❖ プリンターの環境設定

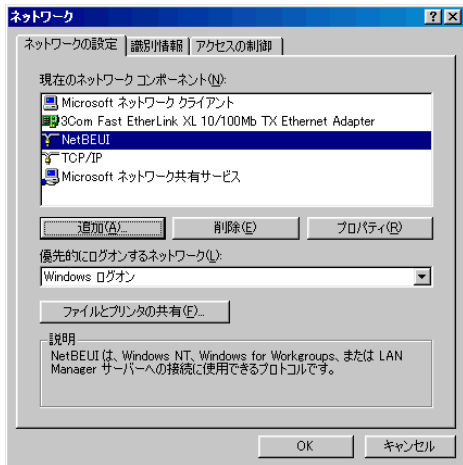
NetBEUIプロトコルを使って印刷できるように、プリンターのNetBEUIプロトコルを有効にします（工場出荷時は有効です）。

参照

設定方法の詳細については、かんたんセットアップの「操作パネルを使って設定する」を参照してください。

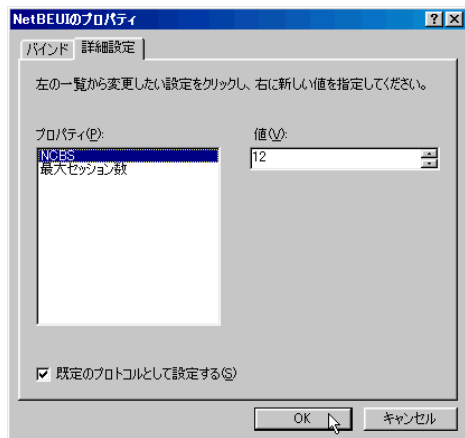
❖ Windowsの環境設定

Windowsに「NetBEUIプロトコル」を組み込み、NetBEUIプロトコルを標準のプロトコルに設定します。

① ［コントロールパネル］の［ネットワーク］アイコンをダブルクリックます。
［ネットワークの設定］タブの［現在のネットワークコンポーネント］ボックスに「NetBEUI」が組み込まれていることを確認します。

補足

- ❒ NetBEUIプロトコルが組み込まれていないときは、［ネットワークの設定］タブの［追加］をクリックして組み込んでください。組み込みの詳しい操作方法についてはWindowsのヘルプを参照してください。
- ❒ 「ダイヤルアップアダプタ」が組み込まれている場合、設定によっては印刷できないことがあります。このようなときは、ダイヤルアップアダプタのプロパティを開き、［バインド］タブの「NetBEUI→ダイヤルアップアダプタ」の✓印を外してください。

② NetBEUIプロトコルを標準のプロトコルに設定します。［ネットワークの設定］タブをクリックします。
［現在のネットワーク構成］ボックスの「NetBEUI」をクリックして反転表示させ、［プロパティ］をクリックします。

③ ［詳細設定］タブをクリックし、［既定のプロトコルとして設定する］をクリックして✓印を付け、［OK］をクリックします。

④ ［OK］をクリックし、［ネットワーク］ダイアログを閉じます。

⑤ 再起動するかどうか確認するメッセージが表示されるので、［はい］をクリックします。

ソフトウェアをインストールする

 操作の前に

プリントサーバーを使わない場合は、Ridoc IO Naviをインストールし、RPCSプリンタードライバーを「Ridoc IO Navi」を指定してインストールします。

TCP/IP、NetBEUI、IPPを使ってPeer-to-Peerネットワークで印刷します。

Ridoc IO Navi のインストール

1 **本機に付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。**

インストーラーが起動します。

 補足

❒ システムの設定によってはインストーラーが自動的に起動しないことがあります。その場合は、CD-ROMのルートディレクトリにある「SETUP.EXE」をダブルクリックして起動してください。

2 セットアップ画面が表示されたら、［Ridoc IO Navi］をクリックします。

Ridoc IO Naviのインストーラーが起動します。

3 ［ようこそ］ダイアログが表示されたら、［次へ］をクリックします。

4 ［製品ライセンス契約］ダイアログにソフトウェア使用許諾契約が表示されます。すべての項目をお読みください。同意する場合は、［はい］をクリックします。

5 表示されるメッセージに従ってRidoc IO Naviをインストールします。インストールが完了すると次のメッセージが表示されます。

プリンタードライバーのインストール

1 本機に付属のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブにセットします。

インストーラーが起動します。

補足

❒ システムの設定によってはインストーラーが自動的に起動しないことがあります。その場合は、CD-ROMのルートディレクトリにある「SETUP.EXE」をダブルクリックして起動してください。

2 セットアップ画面が表示されたら、[プリンタードライバー］をクリックします。

3 [使用許諾］ダイアログにソフトウェア使用許諾契約が表示されます。すべての項目をお読みください。同意する場合は、[次へ］をクリックします。

4 [コンポーネントの選択］ダイアログでプリンタードライバーを選択し、[次へ］をクリックします。

5 [プリンタ名] の左のボックスをクリックし、使用する機種を選択します（✓印を付けます）。プリンター名を変更するときは、['プリンタ名'の設定の変更] ボックスで変更します。

6 [プリンタ名] をダブルクリックし、プリンターの設定を展開します。

補足

❒ [コメント：]、[ドライバ：]、[ポート：] は、ご使用のオペレーティングシステム、選択したプリンター機種、使用するポートによって、それに応じた表示となります。

7 [ポート:] を選択し、[追加] をクリックします。

8 「Ridoc IO Navi」を選択し、[OK] をクリックします。

9 プロトコルを選択し、印刷するプリンターを選択します。

❖ TCP/IP

① ［TCP/IP］をクリックします。

② ［機器検索］をクリックします。

TCP/IPプロトコルで印刷可能なプリンターが検索され、一覧表示されます。

③ 印刷するプリンターをクリックして選択します。

補足

- ❒ ここにはコンピューターからのブロードキャストに応答したプリンターだけが表示されます。ここに表示されないプリンターに印刷するときは、［アドレス指定］をクリックし、プリンターのIPアドレスまたはホスト名を直接入力してください。

④ ［OK］をクリックします。

❖ NetBEUI

① ［NetBEUI］をクリックします。

② ［機器検索］をクリックします。

NetBEUIプロトコルで印刷可能なプリンターが検索され、一覧表示されます。

③ **印刷するプリンターをクリックして選択します。**

補足

- ❒ **ここにはコンピューターからのブロードキャストに応答したプリンターだけが表示されます。ここに表示されないプリンターに印刷するときは、[アドレス指定]をクリックし、NetBEUIアドレスを直接入力してください。NetBEUIアドレスは、システム設定リストで確認できます。システム設定リストの印刷方法は、プリンターに同梱の使用説明書を参照してください。システム設定リストではNetBEUIアドレスが「¥¥RNPxxxx¥xxx」と表示されています。先頭の「¥¥」を「%%」に変更して入力してください。**

- ❒ **ルーターを越えたプリンターには印刷できません。**

④ **[OK] をクリックします。**

❖ IPP

① [IPP] をクリックします。
[IPPの設定] ダイアログが表示されます。

② [プリンタのURL] に印刷するプリンターのIPアドレスを「http://（プリンターのIPアドレス）/printer」のように入力します。

③ 必要に応じて [IPPポート名] にプリンターを区別するための名前を入力します。すでにある他のIPPポート名と違う名前を入力してください。
入力を省略すると、[プリンタのURL] に入力したアドレスがIPPポート名に設定されます。

④ プロキシサーバーや IPP ユーザー名などの設定を行う場合は、[詳細設定] をクリックし、必要な項目を設定し、[OK] をクリックします。

補足

❒ 設定項目の詳細については、CD-ROM収録のヘルプを参照してください。

⑤ [OK] をクリックします。
ポートの追加ダイアログが閉じます。

10 ［OK］をクリックします。

ポートが追加されます。

11 ［ポート :］に選択したプリンターのポートが表示されていることを確認します。

12 必要に応じて、ユーザーコードの設定や通常使うプリンターの設定をします。

補足

- 設定項目を選択し、ダイアログ下部の変更ボックスで設定してください。

❖ ユーザーコードの設定

補足

- ユーザーコードを設定しておくと、各ユーザーごとの印刷枚数の統計をとることができ、Ridoc IO Adminで確認できます。詳細については、Ridoc IO Adminのヘルプを参照してください。
- 入力できるのは、半角数字最大8桁です。英字や記号はご使用になれません。

❖ 通常使うプリンターの設定

13 [完了] をクリックします。

プリンタードライバーがインストールされます。

補足

- ❒ 次のメッセージが表示された場合、オートランプログラムでのインストールを続けることができません。P.50「プリンタードライバーのインストール中にメッセージが表示されたとき」を参照してインストールし直してください。
  - 「新しいドライバが既に存在しているため、インストールを継続することができません。」

14 [コンポーネントの選択]ダイアログが表示されたら、[完了] をクリックします。

15 [導入完了] ダイアログが表示されたら、[完了] をクリックします。

16 プリンタードライバーのインストールが完了したら、オプションを設定します。

補足

- ❒ プリンターとパソコンが双方向通信していないときは、プリンターに接続したオプション、セットした用紙のサイズ、方向を設定する必要があります。

参照

双方向通信の詳細については、P.51「双方向通信が働く条件」を参照してください。

オプションの設定方法は、P.48「オプションを設定する」を参照してください。

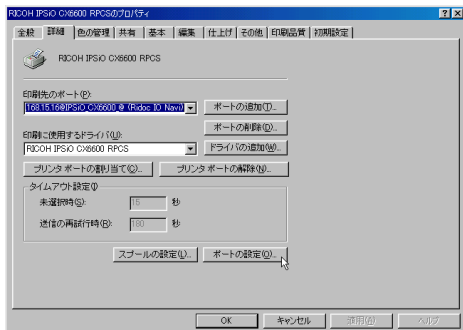
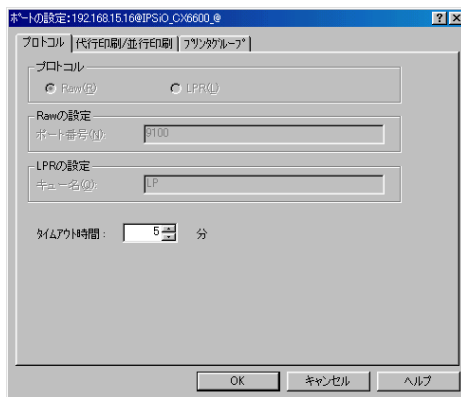
ポートの設定を変更する

IPPのURLやプロキシサーバーの設定など、Ridoc IO Naviの設定を変更することができます。

補足

❒ NetBEUIプロトコルには設定項目がありません。

1 ［プリンタ］ウィンドウで、印刷するプリンターのアイコンをクリックして反転表示させ、［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックします。

2 ［詳細］タブをクリックし、［ポートの設定］をクリックします。

ポートの設定画面が表示されます。

- TCP/IPプロトコルの場合、代行印刷、並行印刷、タイムアウト、プリンターグループの設定ができます。

補足

❒ ［代行印刷/並行印刷］タブの項目を設定できないときは、次のよう操作すると設定できるようになります。

① ［キャンセル］をクリックして、［ポートの設定］ダイアログを閉じます。

② Ridoc IO Naviを起動し、タスクバーのRidoc IO Naviアイコンを右クリックします。

③ ［拡張機能設定］をクリックし、［代行/並行印刷をポート毎に設定する］にチェックをつけます。

④ ［OK］をクリックし、［拡張機能設定］ダイアログを閉じます。

- ❒ 各設定項目の詳細は、Ridoc IO Naviのヘルプを参照してください。

- IPP の場合、IPP ユーザー設定やプロキシなどの設定ができます。

詳細は、Ridoc IO Naviのヘルプを参照してください。

パラレルインターフェースを使う

操作の前に

プリンターをパラレル接続して使う場合は、RPCSプリンタードライバーを「ローカルポート」を指定してインストールします。

プリンタードライバー（パラレル接続）のインストール

1 本機に付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。

インストーラーが起動します。

補足

❒ システムの設定によってはインストーラーが自動的に起動しないことがあります。その場合は、CD-ROMのルートディレクトリにある「SETUP.EXE」をダブルクリックして起動してください。

2 セットアップ画面が表示されたら、[プリンタードライバー] をクリックします。

3 [使用許諾] ダイアログにソフトウェア使用許諾契約が表示されます。すべての項目をお読みください。同意する場合は、[次へ] をクリックします。

4 [コンポーネントの選択] ダイアログでプリンタードライバーを選択し、[次へ] をクリックします。

5 [プリンタ名] の左のボックスをクリックし、使用する機種を選択します（✓印を付けます）。プリンター名を変更するときは、['プリンタ名'の設定の変更] ボックスで変更します。

6 [プリンタ名] をダブルクリックし、プリンターの設定を展開します。

補足

- [コメント：]、[ドライバ：]、[ポート：] は、ご使用のオペレーティングシステム、選択したプリンター機種、使用するポートによって、それに応じた表示となります。

7 [ポート:] にプリンターを接続したポート（通常は、LPT1:）が設定されていることを確認します。

8 必要に応じて、ユーザーコードの設定や通常使うプリンターの設定をします。

補足

- ❒ 設定項目を選択し、ダイアログ下部の変更ボックスで設定してください。

❖ ユーザーコードの設定

補足

- ❒ ユーザーコードを設定しておくと、各ユーザーごとの印刷枚数の統計をとることができ、Ridoc IO Adminで確認できます。詳細については、Ridoc IO Adminのヘルプを参照してください。
- ❒ 入力できるのは、半角数字最大8桁です。英字や記号はご使用になれません。

❖ 通常使うプリンターの設定

9 [完了] をクリックします。

プリンタードライバーがインストールされます。

補足

- ❒ 次のメッセージが表示された場合、オートランプログラムでのインストールを続けることができません。P.50「プリンタードライバーのインストール中にメッセージが表示されたとき」を参照してインストールし直してください。
    - 「新しいドライバが既に存在しているため、インストールを継続することができません。」

10 [コンポーネントの選択] ダイアログが表示されたら、[完了] をクリックします。

11 [導入完了] ダイアログが表示されたら、[完了] をクリックします。

12 プリンタードライバーのインストールが完了したら、オプションを設定します。

補足

- ❒ プリンターとパソコンが双方向通信していないときは、プリンターに接続したオプション、セットした用紙のサイズ、方向を設定する必要があります。

参照

双方向通信の詳細については、P.51「双方向通信が働く条件」を参照してください。

オプションの設定方法は、P.48「オプションを設定する」を参照してください。

USB インターフェースを使う

ここでは、パソコンとプリンターをUSBケーブルで接続し、必要なドライバーをインストールする方法を説明します。

操作の前に

Windows 95/98は対応していません。Windows 98SE/Meでご利用いただけます。

セットアップを始める前にUSBケーブルを接続するパソコンが以下の状態であることを確認してください。

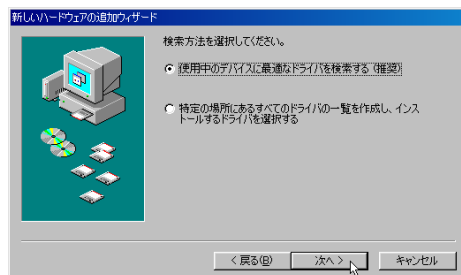
- OS以外のソフトウェアが起動していない
- 印刷を行っていない

ここではWindows 98SEの画面例で説明します。Windows Meの場合、表示される画面などが一部異なる場合があります。

USB Printing Support のインストール

USBケーブルを初めて使用する場合、プラグアンドプレイが働き、[新しいハードウェアの追加ウィザード]が表示されます。

1 [次へ] をクリックします。

2 [使用中のデバイスに最適なドライバを検索する(推奨)]を選択し、[次へ]をクリックします。

3 [検索場所の指定]にチェックを付け、[参照]をクリックします。

[フォルダの参照]ダイアログが表示されます。

4 パソコンのCD-ROMドライブに同梱のCD-ROMを挿入します

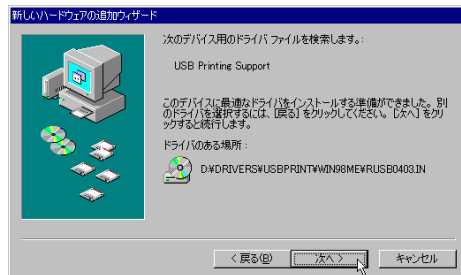
オートランでインストーラーが起動しますので、[終了]をクリックしてください。

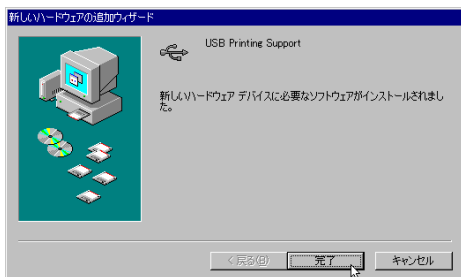
補足

- この手順ではオートランを使用しません。
- オートランを無効にするときは、左側のShiftキーを押しながらCD-ROMを挿入し、パソコンがCD-ROMをアクセスし終わるまで左側のShiftキーを押したままにします。

5 USB Printing Supporの場所を選択し、[次へ]をクリックします。

USB Printing Supportの収録フォルダは、「D:¥DRIVERS¥USBPRINT¥WIN98ME」(CD-ROMドライブがD:¥の場合)です。

6 表示されている[ドライバのある場所]を確認し、[次へ]をクリックします。

USB Printing Supportがインストールされ、メッセージが表示されます。

7 ［完了］をクリックします。

ご使用の機器のプリンタードライバーがすでにインストールされている場合、プラグアンドプレイが働き、「USB001」を［印刷先のポート先］に指定したプリンターが［プリンタ］ウィンドウに作成されます。

補足

- 「USB」に続く数字は、接続しているプリンターの台数によって異なります。
- USB Printing Supportをインストール後に別のプリンターをUSBインターフェースで接続する場合、あらためてUSB Printing Supportをインストールする必要はありません。

プリンタードライバー（USB接続）のインストール

プリンタードライバーをインストールしていない場合は、USB Printing Supportのインストールに続き、プリンターのプラグアンドプレイ画面に従って、プリンタードライバーをインストールします。

プリンタードライバーは本機に同梱のCD-ROMからインストールします。

1 ［次へ］をクリックします。

2 [使用中のデバイスに最適なドライバを検索する（推奨）] を選択し、[次へ] をクリックします。

3 [検索場所の指定] にチェックを付け、[参照] をクリックします。

[フォルダの参照] ダイアログが表示されます。

4 パソコンのCD-ROMドライブに同梱のCD-ROMを挿入します

オートランでインストーラーが起動しますので、[終了] をクリックしてください。

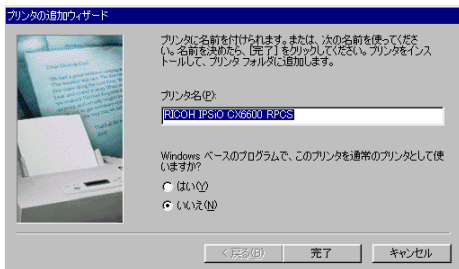
補足

- ❒ この手順ではオートランを使用しません。
- ❒ オートランを無効にするときは、左側のShiftキーを押しながらCD-ROMを挿入し、パソコンがCD-ROMをアクセスし終わるまで左側のShiftキーを押したままにします。

5 プリンタードライバーの場所を選択し、[次へ] をクリックします。

プリンタードライバーの収録フォルダは、「D:¥DRIVERS¥RPCS¥WIN9X_ME」（CD-ROMドライブがD:¥の場合）です。

6 表示されている［ドライバのある場所］を確認し、［次へ］をクリックします。

プリンタの追加ウィザードが表示されます。

7 ［完了］をクリックします。

プリンタードライバーがインストールされます。インストールが正常に終了すると、「USB001」を［印刷先のポート先］に指定したプリンターが［プリンタ］ウィンドウに作成されます。

補足

- 「USB」に続く数字は、接続しているプリンターの台数によって異なります。

IEEE 1394 インターフェースを使う

プリンタードライバー（IEEE 1394 接続）のインストール

ここではIEEE 1394を使用する場合の設定方法を記載しています。

操作の前に

Windows 95/98/98SEには対応していません。Windows Meでご利用いただけます。

Windows MeでIEEE 1394インタフェースを使用する場合、SCSI printで印刷できません。SCSI printを使用しない場合は、SCSI printの設定を無効にしてください。設定方法について詳しくは、使用説明書<オプション設置編>「IEEE 1394を使用するときの設定」を参照してください。

インストールを始める前に全てのアプリケーションを終了し、パソコンが印刷中でないことを確認してください。

重要

- ❒ プリンタードライバーのインストール中に、IEEE 1394ケーブルで接続されている他のプリンターの電源を入れたり、新しいIEEE 1394機器を接続しないで下さい。
- ❒ プリンタードライバーを削除するときは、削除する前にケーブルを抜いてください。

❖ IP over 1394で使う

IP over 1394は、Windows MeではRidoc IO Naviを使用して印刷することができます。プリンタードライバーのインストール方法、Ridoc IO Naviを使用したプリンターへの接続方法は、P.22 「プリントサーバーを使わない場合」を参照してください。

重要

- ❒ 本機の設定で「IP over 1394」を有効にしておく必要があります。設定方法については、使用説明書<オプション設置編>を参照してください。
- ❒ IEEE 1394インターフェースをネットワークに使用している場合、イーサネットインターフェースは同一のネットワーク範囲では使用できません。
- ❒ IEEE 1394インターフェースとイーサネットインターフェースのサブネットマスクの範囲は重ならないように設定してください。

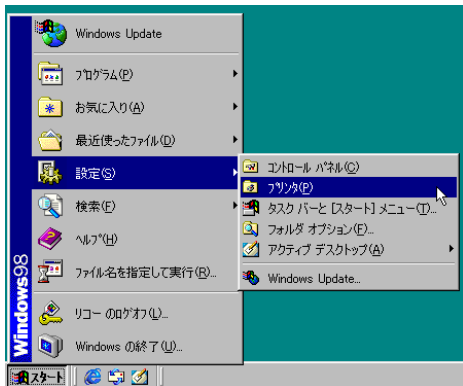
補足

- ❒ 再起動やケーブルの抜き差しをするたびに「新しいハードウェアの追加ウィザード」が起動されてしまう場合には、以下の手順でデバイスを無効にしてください。

  ① 「次の新しいハードウェアが見つかりました」と表示されたら、「(お使いの機種名) IEEE 1394 SBP2 Device 」と表示されていること、「適切なドライバを自動的に検索する(推奨)」が選択されていることを確認し、[次へ] をクリックします。

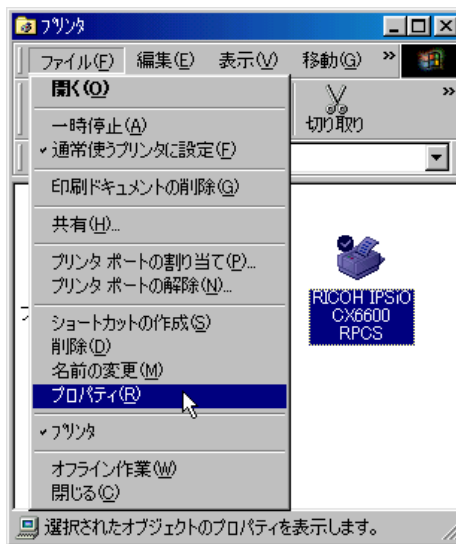
  ② 「このデバイス用のソフトウェアが見つかりませんでした。」と表示されるので、[完了] をクリックします。

オプションを設定する

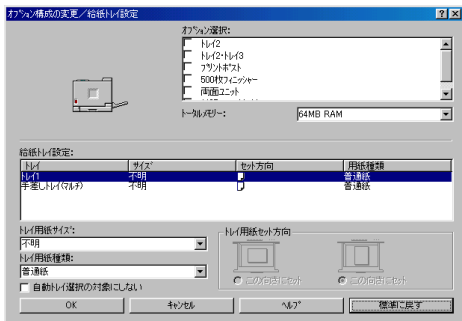
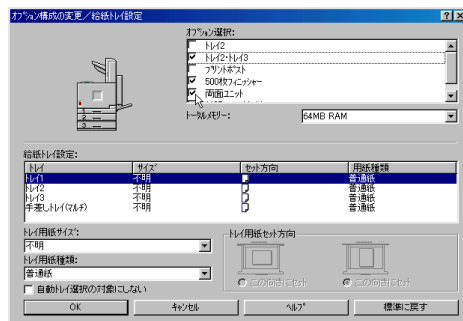
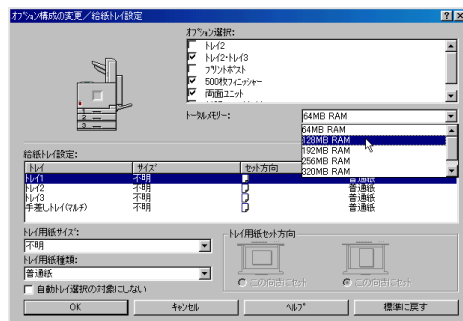
1 [スタート] ボタンをクリックし、[設定] をポイントし、[プリンタ] をクリックします。

[プリンタ] ウィンドウが表示されます。

2 追加したプリンターのアイコンをクリックして反転表示させ、[ファイル] メニューの [プロパティ] をクリックします。

次の画面が表示されます。

補足

- ❒ この画面は、インストール後最初にプリンターのプロパティを表示する場合、または装着しているオプションを設定していない場合に表示されます。それ以外の場合は、プロパティ画面が表示されます。この場合は、[初期設定] タブをクリックし、[オプション構成の変更/給紙トレイ設定] をクリックします。手順4に進んでください。

3 [OK] をクリックします。

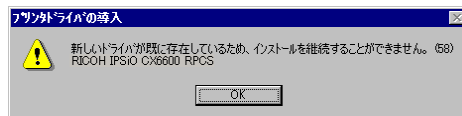
[オプション構成の変更 / 給紙トレイ設定] ダイアログが表示されます。

4 [オプション選択] ボックスで、取り付けたオプションに✓印を付けます。

5 オプションの SDRAM モジュールを増設した場合は、[トータルメモリー:] で増設後の合計メモリー容量を選択します。

6 [給紙トレイ設定] で、設定するトレイをクリックして反転表示させ、[トレイ用紙サイズ]・[トレイ用紙セット方向]・[トレイ用紙種類] を正しく設定し、自動トレイ選択の対象にしない場合は [自動トレイ選択の対象にしない] に✓印を付けます。

7 [OK] をクリックし、[オプション構成の変更/給紙トレイ設定] ダイアログを閉じます。

8 [OK] をクリックし、プリンターのプロパティを閉じます。

補足

❒ [初期設定] タブをクリックして [オプ ション構成の変更/給紙トレイ設定] をク リックすると、手順**4**の画面が表示され ます。

プリンタードライバーのインストール中にメッセージが表示されたとき

上記のメッセージは、インストールしようとしたドライバーよりも新しいドライバーが、すでにインストールされているときに表示されます。

この場合には、オートランプログラムによるインストールはできません。メッセージ中に表示されたドライバーをインストールしたときに使用したドライバーを使って、[プリンタの追加] でインストールし直してください。

① [スタート] ボタンをクリックし、[設定] をポイントし、[プリンタ] をクリックします。

② [プリンタの追加] アイコンをダブルクリックします。

③「プリンタの追加ウィザード」に従ってインストールします。
プリンタードライバーのディスクがCD-ROMの場合、インストール元はCD-ROMの¥DRIVERS¥RPCS¥WIN9X_ME¥DISK1になります。インストーラーが起動したときは [キャンセル] をクリックして終了させます。

双方向通信が働く条件

双方向通信が働いていると、プリンターにセットされている用紙サイズなどの情報が自動的にパソコンに伝わります。またパソコン側からもプリンターの状態を確認することができます。

- 双方向通信はWindows 95/98/Me、Windows 2000、Windows XP/Server 2003、Windows NT 4.0で働く機能です。
- 双方向通信機能が働いていると、[初期設定] ダイアログで［オプション構成の変更 / トレイ用紙設定] ボタンをクリックして表示される [オプション構成の変更/給紙トレイ設定] ダイアログで、使用できない機能がグレー表示されます。

双方向通信が働くには、接続形態により以下の条件をすべて満たしている必要があります。

❖ プリンターとパソコンを直接ケーブルで接続している場合

- パソコンが双方向通信に対応している
- プリンターのプロパティで双方向通信が可能な設定になっている

上記２つの条件のほかに、以下のいずれかの条件を満たしている必要があります。

- プリンターのパラレルコネクターとパソコンのパラレルコネクターが、双方向通信に対応したインターフェースケーブルで接続されている
- プリンターの USB インターフェースコネクターとパソコンのUSBコネクターが、USBケーブルで接続されている （Windows 98SE/Me、Windows 2000、Windows XP/Server 2003の場合）
- 拡張1394ボード（オプション）のコネクターとパソコンのIEEE 1394コネクターが 、ケーブルで接続されている （Windows 2000、Windows XP/Server 2003の場合）

補足

❒ プリンターの操作パネルでIEEE 1394の「SCSI print」が「有効」で「SCSI print双方向」が「する」に設定されている必要があります。

❖ ネットワークで接続している場合

- プリンターのプロパティで双方向通信が可能な設定になっている
- Ridoc IO Naviがインストールされている

上記2つの条件のほかに、以下のいずれかの条件を満たしている必要があります。

- Ridoc IO Naviポートを使用し、プロトコルにTCP/IPを使っている
- 標準 TCP/IP ポートのポート名を変更しないで使っている （Windows 2000、Windows XP/Server 2003の場合）
- Microsoft TCP/IP印刷 IP アドレスを指定して使っている （Windows NT 4.0の場合）
- IPPプロトコル使用時に、ポート名にIPアドレスを含んでいる

補足

- ❒ Ridoc IO Navi**はプリンターに同梱の**CD-ROM**からインストールしてください。**

プリントサーバーを使う場合

Windows 2000、Windows XP/Server 2003、Windows NT 4.0 のプリントサーバーを使う

Windows 2000、Windows XP/Server 2003、Windows NT 4.0をプリントサーバーとして使用する場合のセットアップ方法を説明します。

プリンタードライバーのインストール

操作の前に

プリントサーバーを使う場合は、RPCSプリンタードライバーを「ネットワークプリンタ」を指定してインストールし、Windows 2000、Windows XP/Server 2003、Windows NT 4.0の共有プリンターを選択します。

ここでの説明はクライアント側がWindows 2000、Windows XP/Server 2003、Windows NT 4.0と正しく通信できる環境に設定されていることを前提にしています。設定されていない場合は、クライアント側に必要なソフトウェアを組み込んでからセットアップを行ってください。

制限

❒ Ridoc IO Naviポートで本機を接続しているプリントサーバをお使いの場合、クライアントからの代行印刷、並行印刷を行うことはできません。

補足

❒ プリントサーバがWindows NT 4.0の場合は、プリントサーバに接続する前にプリンタードライバーをインストールしておいてください。

1 本機に付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。

インストーラーが起動します。

補足

❒ システムの設定によってはインストーラーが自動的に起動しないことがあります。その場合は、CD-ROMのルートディレクトリにある「SETUP.EXE」をダブルクリックして起動してください。

2 セットアップ画面が表示されたら、[プリンタードライバー］をクリックします。

3 [使用許諾] ダイアログにソフトウェア使用許諾契約が表示されます。すべての項目をお読みください。同意する場合は、[次へ] をクリックします。

4 [コンポーネントの選択］ダイアログでプリンタードライバーを選択し、[次へ] をクリックします。

5 [プリンタ名] の左のボックスをクリックし、使用する機種を選択します（✓印を付けます）。プリンター名を変更するときは、['プリンタ名'の設定の変更] ボックスで変更します。

6 [プリンタ名] をダブルクリックし、プリンターの設定を展開します。

補足

❒ [コメント：]、[ドライバ：]、[ポート：] は、ご使用のオペレーティングシステム、選択したプリンター機種、使用するポートによって、それに応じた表示となります。

7 [ポート:] を選択し、[追加] をクリックします。

8 [ネットワークプリンタ] を選択し、[OK] をクリックします。

9 ネットワークツリー上で、プリントサーバーとして使用するコンピューターの名前をダブルクリックします。

10 印刷するプリンターを選択し、[OK] をクリックします。

11 [ポート :] に選択したプリンターのパスが表示されていることを確認します。

12 必要に応じて、ユーザーコードの設定や通常使うプリンターの設定をします。

補足

- ❒ 設定項目を選択し、ダイアログ下部の変更ボックスで設定してください。

❖ ユーザーコードの設定

補足

- ❒ ユーザーコードを設定しておくと、各ユーザーごとの印刷枚数の統計をとることができ、Ridoc IO Adminで確認できます。詳細については、Ridoc IO Adminのヘルプを参照してください。
- ❒ 入力できるのは、半角数字最大8桁です。英字や記号はご使用になれません。

❖ 通常使うプリンターの設定

13 ［完了］をクリックします。

プリンタードライバーがインストールされます。

補足

- ❒ インストールの途中で次のメッセージが表示されることがあります。その場合は［はい］をクリックしてインストールを続行してください。

- ❒ 次のメッセージが表示された場合、オートランプログラムでのインストールを続けることができません。P.88「プリンタードライバーのインストール中にメッセージが表示されたとき」を参照してインストールし直してください。
  - 「新しいドライバが既に存在しているため、インストールを継続することができません。」

14 [コンポーネントの選択] ダイアログが表示されたら、[完了] をクリックします。

15 [導入完了] ダイアログが表示されたら、[完了] をクリックします。

補足

❒ ダイアログに「再起動の確認」が表示される場合は、Windowsを再起動してください。

16 プリンタードライバーのインストールが完了したら、オプションを設定します。

補足

❒ プリンターとパソコンが双方向通信していないときは、プリンターに接続したオプション、セットした用紙のサイズ、方向を設定する必要があります。

参照

双方向通信の詳細については、P.89「双方向通信が働く条件」を参照してください。

オプションの設定方法は、P.86「オプションを設定する」を参照してください。

プリントサーバーを使わない場合

プロトコルの準備をする

TCP/IP 印刷、IPP 印刷のための準備

TCP/IPプロトコルまたはIPPを使って印刷する場合は、以下の説明に従ってネットワーク環境を設定してください。

❖ **プリンターの環境設定**

TCP/IPを使って印刷できるように、プリンターのネットワーク環境を設定しておきます。

- TCP/IPプロトコルを有効にする（工場出荷時は有効です）
- IPアドレスなどTCP/IPに関する項目を設定する

参照

設定方法の詳細については、かんたんセットアップの「操作パネルを使って設定する」を参照してください。

DHCPを使用してプリンターのIPアドレスを設定するときは、使用説明書＜システム設定編＞「付録」を参照してください。

補足

❒ IPアドレスを設定したら正しく設定されたかどうかWindows上から確認してください。

① ［スタート］ボタンをクリックし、［プログラム］－［アクセサリ］をポイントし、［コマンドプロンプト］をクリックします。

② 次のように入力して確認します。（IPアドレスが192.168.15.16の場合）

```
C:> ping 192.168.15.16
```

正しく設定されていると次のように表示されます。

```
Reply from 192.168.15.16 : bytes=32
time<10ms TTL=32
```

間違って設定されていると次のように表示されます。

```
Request timed out.
```

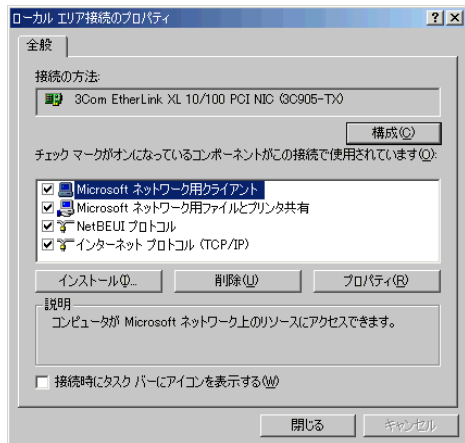
❖ **Windows 2000の環境設定**

Windows 2000に「TCP/IPプロトコル」を組み込み、TCP/IPのプロパティを設定します。

① ［コントロールパネル］の［ネットワークとダイヤルアップ接続］アイコンをダブルクリックします。

② ［ローカルエリア接続］を選択して、［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックします。

③ チェックマークがオンになっているコンポーネントがこの接続で使用されています。ボックスに「インターネットプロトコル（TCP/IP）」が組み込まれていることを確認します。

補足

❒ TCP/IPプロトコルが組み込まれていないときは、［ローカルエリア接続のプロパティ］の［インストール］をクリックして組み込んでください。組み込みの詳しい操作方法についてはWindows 2000のヘルプを参照してください。

④ TCP/IPプロトコルを組み込んだら、プロパティを設定します。
設定内容はネットワーク管理者の方に確認し、正しく設定してください。

⑤ LPRを使って印刷する場合は、「UNIX用印刷サービス」が組み込まれている必要があります。
「UNIX用印刷サービス」が組み込まれていないときは、［ネットワークとダイヤルアップ接続］の［詳細設定］メニューの［オプションネットワークコンポーネント］から組み込んでください。組み込みの詳しい操作方法についてはWindows 2000のヘルプを参照してください。

NetBEUI 印刷のための準備

NetBEUIプロトコルを使って印刷する場合は、以下の説明に従ってネットワーク環境を設定してください。

❖ プリンターの環境設定

NetBEUIプロトコルを使って印刷できるように、プリンターのNetBEUIプロトコルを有効にします（工場出荷時は有効です）。

参照

設定方法の詳細については、かんたんセットアップの「操作パネルを使って設定する」を参照してください。

❖ Windows 2000の環境設定

Windows 2000に「NetBEUIプロトコル」を組み込みます。

① [コントロールパネル] の [ネットワークとダイヤルアップ接続] アイコンをダブルクリックします。

② [ローカルエリア接続] を選択して、[ファイル] メニューの [プロパティ] をクリックします。

③ チェックマークがオンになっているコンポーネントがこの接続で使用されています。ボックスに「NetBEUI」が組み込まれていることを確認します。

補足

❒ NetBEUI プロトコルが組み込まれていないときは、[ローカルエリア接続のプロパティ] の [インストール] をクリックして組み込んでください。組み込みの詳しい操作方法についてはWindows 2000のヘルプを参照してください。

ソフトウェアをインストールする

操作の前に

Ridoc IO Naviをインストールし、RPCSプリンタードライバーを「Ridoc IO Navi」を指定してインストールします。

Ridoc IO Navi のインストール

1 本機に付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。

インストーラーが起動します。

補足

- ❒ システムの設定によってはインストーラーが自動的に起動しないことがあります。その場合は、CD-ROMのルートディレクトリにある「SETUP.EXE」をダブルクリックして起動してください。

2 セットアップ画面が表示されたら、［Ridoc IO Navi］をクリックします。

Ridoc IO Naviのインストーラーが起動します。

3 ［ようこそ］ダイアログが表示されたら、［次へ］をクリックします。

4 ［製品ライセンス契約］ダイアログにソフトウェア使用許諾契約が表示されます。すべての項目をお読みください。同意する場合は、［はい］をクリックします。

5 表示されるメッセージに従ってRidoc IO Naviをインストールします。インストールが完了すると次のメッセージが表示されます。

プリンタードライバーのインストール

1 本機に付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。

インストーラーが起動します。

補足

❒ システムの設定によってはインストーラーが自動的に起動しないことがあります。その場合は、CD-ROMのルートディレクトリにある「SETUP.EXE」をダブルクリックして起動してください。

2 セットアップ画面が表示されたら、［プリンタードライバー］をクリックします。

3 [使用許諾] ダイアログにソフトウェア使用許諾契約が表示されます。すべての項目をお読みください。同意する場合は、[次へ] をクリックします。

4 [コンポーネントの選択] ダイアログでプリンタードライバーを選択し、[次へ] をクリックします。

5 [プリンタ名] の左のボックスをクリックし、使用する機種を選択します（✓印を付けます）。プリンター名を変更するときは、['プリンタ名' の設定の変更] ボックスで変更します。

6 [プリンタ名] をダブルクリックし、プリンターの設定を展開します。

 補足

- [コメント：]、[ドライバ：]、[ポート：] は、ご使用のオペレーティングシステム、選択したプリンター機種、使用するポートによって、それに応じた表示となります。

7 [ポート:] を選択し、[追加] をクリックします。

以下の手順は使用するポートによって異なります。使用するポートを選択してください。

- Ridoc IO Navi
- Standard TCP/IP Port
- LPR Port

Ridoc IO Navi

❶「Ridoc IO Navi」を選択し、[OK] をクリックします。

❷ プロトコルを選択し、印刷するプリンターを選択します。

❖ TCP/IP

① **[TCP/IP] をクリックします。**

② **[機器検索] をクリックします。**

TCP/IPプロトコルで印刷可能なプリンターが検索され、一覧表示されます。

③ 印刷するプリンターをクリックして選択します。

補足

❒ ここにはコンピューターからのブロードキャストに応答したプリンターだけが表示されます。ここに表示されないプリンターに印刷するときは、［アドレス指定］をクリックし、プリンターのIPアドレスまたはホスト名を直接入力してください。

④ ［OK］をクリックします。

❖ NetBEUI

① ［NetBEUI］をクリックします。

② ［機器検索］をクリックします。

NetBEUIプロトコルで印刷可能なプリンターが検索され、一覧表示されます。

③ 印刷するプリンターをクリックして選択します。

補足

- ❒ ここにはコンピューターからのブロードキャストに応答したプリンターだけが表示されます。ここに表示されないプリンターに印刷するときは、[アドレス指定]をクリックし、NetBEUIアドレスを直接入力してください。NetBEUIアドレスは、システム設定リストで確認できます。システム設定リストの印刷方法は、プリンターに同梱の使用説明書を参照してください。システム設定ではNetBEUIアドレスが「¥¥RNPxxxx¥xxx」と表示されています。先頭の「¥¥」を「%%」に変更して入力してください。

- ❒ ルーターを越えたプリンターには印刷できません。

④ [OK] をクリックします。

❖ IPP

① [IPP] をクリックします。
[IPP の設定] ダイアログが表示されます。

② ［プリンタのURL］に印刷するプリンターのIPアドレスを「http://（プリンターのIPアドレス）/printer」のように入力します。

③ 必要に応じて［IPPポート名］にプリンターを区別するための名前を入力します。すでにある他のIPPポート名と違う名前を入力してください。
入力を省略すると、［プリンタのURL］に入力したアドレスがIPPポート名に設定されます。

④ プロキシサーバーやIPPユーザー名などの設定を行う場合は、［詳細設定］をクリックし、必要な項目を設定し、［OK］をクリックします。

詳細設定
IPPユーザー設定
選択したプリンタにIPPユーザー名とIPPパスワードが必要な場合に入力します。
IPPユーザー名(S)
IPPパスワード(A)
プロキシを使用する(E)
プリンタのあるネットワークへの接続にプロキシを使用する場合に設定します。
プロキシのアドレス(R)　ポート(O)　8080
ユーザー名(U)
パスワード(P)
HTTP1.0互換(H)
OK　キャンセル　ヘルプ

補足

❒ 設定項目の詳細については、CD-ROM収録のヘルプを参照してください。

⑤ ［OK］をクリックします。
ポートの追加ダイアログが閉じます。

Standard TCP/IP Port

❶「Standard TCP/IP Port」を選択し、[OK] をクリックします。

補足

- ❒「Standard TCP/IP Port」が表示されない場合は、Windows 2000のヘルプを参照してStandard TCP/IPの設定をしてください。

❷「標準 TCP/IP プリンタポートの追加ウィザード」の開始画面で、[次へ] をクリックします。

❸ [プリンタ名またはIPアドレス] ボックスにプリンター名またはプリンターのIPアドレスを入力し、[次へ] をクリックします。

補足

- ❒ [ポート名] ボックスには自動的にポート名が入力されます。必要があれば変更してください。

❹「標準 TCP/IP プリンタポートの追加ウィザード」の完了画面で、[完了] をクリックします。

プリンタードライバーの導入画面に戻ります。

LPR Port

❶「LPR Port」を選択し、［OK］をクリックします。

補足

❒「LPR Port」が表示されない場合は、「UNIX印刷サービス」が正しく組み込まれていません。［サービス］タブの［追加］をクリックして組み込んでください。組み込みの詳しい操作方法についてはWindows 2000のヘルプを参照してください。

❷［lpdを提供しているサーバーの名前またはアドレス］ボックスに、プリンターのIPアドレスを入力します。

❸［サーバーのプリンタ名またはプリンタキュー名］ボックスに「lp」と入力し、［OK］をクリックします。

8 ［OK］をクリックします。

ポートが追加されます。

9 ［ポート :］に選択したプリンターのポートが表示されていることを確認します。

10 必要に応じて、ユーザーコードの設定や通常使うプリンターの設定をします。

補足

❒ 設定項目を選択し、ダイアログ下部の変更ボックスで設定してください。

❖ ユーザーコードの設定

❖ 通常使うプリンターの設定

補足

- ❒ ユーザーコードを設定しておくと、各ユーザーごとの印刷枚数の統計をとることができ、Ridoc IO Adminで確認できます。詳細については、Ridoc IO Adminのヘルプを参照してください。
- ❒ 入力できるのは、半角数字最大8桁です。英字や記号はご使用になれません。

11 ［完了］をクリックします。

プリンタードライバーがインストールされます。

補足

- ❒ インストールの途中で次のメッセージが表示されることがあります。その場合は［はい］をクリックしてインストールを続行してください。

- ❒ 次のメッセージが表示された場合、オートランプログラムでのインストールを続けることができません。P.88「プリンタードライバーのインストール中にメッセージが表示されたとき」を参照してインストールし直してください。
  - 「新しいドライバが既に存在しているため、インストールを継続することができません。」

12 ［コンポーネントの選択］ダイアログが表示されたら、［完了］をクリックします。

13 ［導入完了］ダイアログが表示されたら、［完了］をクリックします。

補足

- ❒ ダイアログに「再起動の確認」が表示される場合は、Windowsを再起動してください。

14 プリンタードライバーのインストールが完了したら、オプションを設定します。

補足

- ❒ プリンターとパソコンが双方向通信していないときは、プリンターに接続したオプション、セットした用紙のサイズ、方向を設定する必要があります。

参照

双方向通信の詳細については、P.89「双方向通信が働く条件」を参照してください。

オプションの設定方法は、P.86「オプションを設定する」を参照してください。

ポートの設定を変更する

IPPのURLやプロキシサーバーの設定など、Ridoc IO Naviの設定を変更することができます。

補足

- ❒ NetBEUIプロトコルには設定項目がありません。

1 [プリンタ] ウィンドウで、印刷するプリンターのアイコンをクリックして反転表示させ、[ファイル] メニューの [プロパティ] をクリックします。

2 [ポート] タブをクリックし、[ポートの構成] をクリックします。

ポートの設定画面が表示されます。

- TCP/IPプロトコルの場合、代行印刷、並行印刷、タイムアウト、プリンターグループの設定ができます。

補足

- ❒ ［代行印刷/並行印刷］タブの項目を設定できないときは、次のよう操作すると設定できるようになります。
  - ① ［キャンセル］をクリックして、［ポートの設定］ダイアログを閉じます。
  - ② Ridoc IO Naviを起動し、タスクバーのRidoc IO Naviアイコンを右クリックします。
  - ③ ［拡張機能設定］をクリックし、［代行/並行印刷をポート毎に設定する］にチェックをつけます。
  - ④ ［OK］をクリックし、［拡張機能設定］ダイアログを閉じます。
- ❒ 各設定項目の詳細は、Ridoc IO Naviのヘルプを参照してください。

- IPPの場合、IPPユーザー設定やプロキシなどの設定ができます。

補足

- ❒ 詳細は、Ridoc IO Naviのヘルプを参照してください。

パラレルインターフェースを使う

操作の前に

プリンターをパラレル接続して使う場合は、RPCSプリンタードライバーを「ローカルポート」を指定してインストールします。

プリンタードライバー（パラレル接続）のインストール

1 本機に付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。

インストーラーが起動します。

補足

❒ システムの設定によってはインストーラーが自動的に起動しないことがあります。その場合は、CD-ROMのルートディレクトリにある「SETUP.EXE」をダブルクリックして起動してください。

2 セットアップ画面が表示されたら、［プリンタードライバー］をクリックします。

3 ［使用許諾］ダイアログにソフトウェア使用許諾契約が表示されます。すべての項目をお読みください。同意する場合は、［次へ］をクリックします。

4 [コンポーネントの選択] ダイアログでプリンタードライバーを選択し、[次へ] をクリックします。

5 [プリンタ名] の左のボックスをクリックし、使用する機種を選択します（✓印を付けます）。プリンター名を変更するときは、['プリンタ名'の設定の変更] ボックスで変更します。

6 [プリンタ名] をダブルクリックし、プリンターの設定を展開します。

補足

❒ [コメント：]、[ドライバ：]、[ポート：] は、ご使用のオペレーティングシステム、選択したプリンター機種、使用するポートによって、それに応じた表示となります。

7 [ポート:] にプリンターを接続したポート（通常は、LPT1:）が設定されていることを確認します。

8 必要に応じて、ユーザーコードの設定や通常使うプリンターの設定をします。

補足

- ❒ 設定項目を選択し、ダイアログ下部の変更ボックスで設定してください。

❖ ユーザーコードの設定

補足

- ❒ ユーザーコードを設定しておくと、各ユーザーごとの印刷枚数の統計をとることができ、Ridoc IO Adminで確認できます。詳細については、Ridoc IO Adminのヘルプを参照してください。
- ❒ 入力できるのは、半角数字最大8桁です。英字や記号はご使用になれません。

❖ 通常使うプリンターの設定

9 ［完了］をクリックします。

プリンタードライバーがインストールされます。

補足

- ❒ インストールの途中で次のメッセージが表示されることがあります。その場合は［はい］をクリックしてインストールを続行してください。

- ❒ 次のメッセージが表示された場合、オートランプログラムでのインストールを続けることができません。P.88「プリンタードライバーのインストール中にメッセージが表示されたとき」を参照してインストールし直してください。
  - 「新しいドライバが既に存在しているため、インストールを継続することができません。」

10 ［コンポーネントの選択］ダイアログが表示されたら、［完了］をクリックします。

11 ［導入完了］ダイアログが表示されたら、［完了］をクリックします。

補足

- ❒ ダイアログに「再起動の確認」が表示される場合は、Windowsを再起動してください。

12 プリンタードライバーのインストールが完了したら、オプションを設定します。

補足

❒ プリンターとパソコンが双方向通信していないときは、プリンターに接続したオプション、セットした用紙のサイズ、方向を設定する必要があります。

参照

双方向通信の詳細については、P.89「双方向通信が働く条件」を参照してください。

オプションの設定方法は、P.86「オプションを設定する」を参照してください。

USB インターフェースを使う

ここでは、パソコンとプリンターをUSBケーブルで接続し、必要なドライバーをインストールする方法を説明します。

操作の前に

セットアップを始める前にUSBケーブルを接続するパソコンが以下の状態であることを確認してください。

- OS以外のソフトウェアが起動していない
- 印刷を行っていない

制限

❒ Administrator グループのメンバーとしてログインしてください。

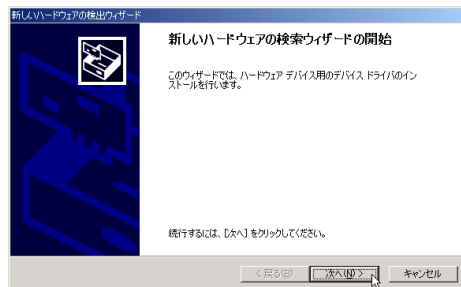
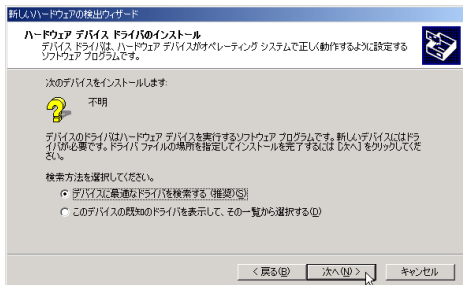
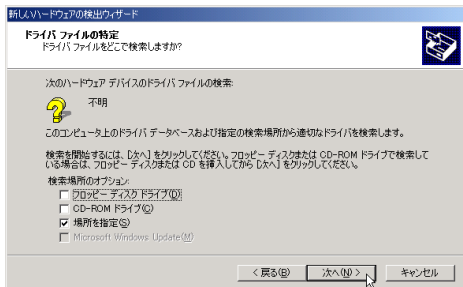
補足

❒ USBケーブルを初めて使用した場合、[新しいハードウェアの検出ウィザード]が表示され、Windows 2000の「USB印刷サポート」が自動的にインストールされます。

❒ ご使用の機器のプリンタードライバーがインストールされている場合、プラグアンドプレイの画面が表示され、[プリンタ] フォルダにUSBケーブルをポート先に指定したプリンターが自動的に追加されます。

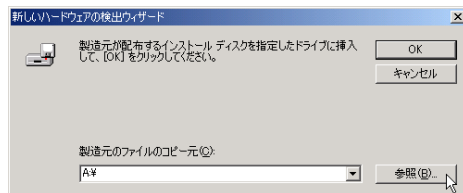
プリンタードライバー（USB 接続）のインストール

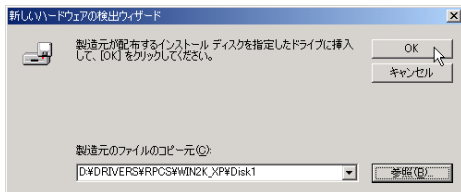
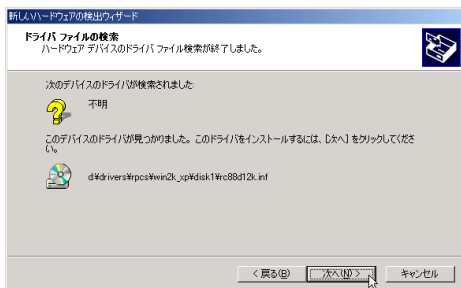
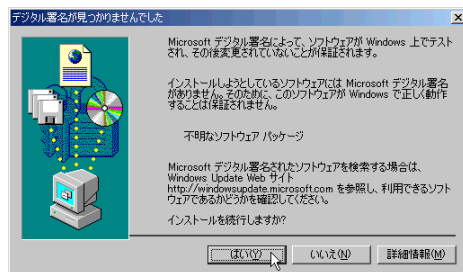
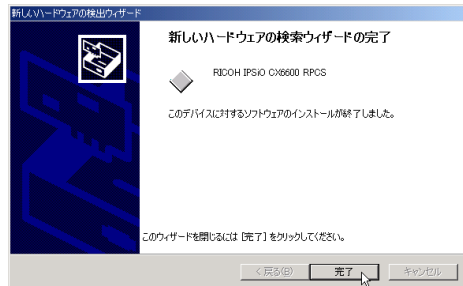
プリンタードライバーがインストールされていない場合は、プリンターのプラグアンドプレイ画面に従って、本機に同梱のCD-ROMからプリンタードライバーをインストールします。

1 [新しいハードウェアの検出ウィザード] 画面で、[次へ] をクリックします。

2 [デバイスに最適なドライバを検索する(推奨)]をチェックし、[次へ] をクリックします。

3 [場所を指定] をチェックし、[次へ] をクリックします。

4 キーボードの左側の【Shift】キーを押しながら、本機の同梱のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブにセットします。

パソコンがCD-ROMを完全に認識するまで左側の【Shift】キーを押し続けます。

CD-ROMのオートランが起動した場合は、[キャンセル] をクリックします。

5 [参照] をクリックし、プリンタードライバーの場所を指定します。

インストールするプリンタードライバーの収録フォルダは、「D:¥DRIVERS¥RPCS¥WIN2K_XP¥DISK1」(CD-ROMドライブがD:¥の場合)です。

6 [製造元のファイルのコピー元] にプリンタードライバーの場所が表示されていることを確認し、[OK] をクリックします。

7 [次へ] をクリックします。

8 次のメッセージが表示されることがあります。その場合は [はい] をクリックします。

9 [完了] をクリックします。

インストールが正常に終了すると、「USB001」を [印刷先のポート先] に指定したプリンターが [プリンタ] ウィンドウに作成されます。

補足

- 「USB」に続く数字は、接続しているプリンターの台数によって異なります。

IEEE 1394 インターフェースを使う

プリンタードライバー（IEEE 1394 接続）のインストール

ここではIEEE 1394を使用する場合の設定方法を記載しています。

操作の前に

Windows 2000でIEEE 1394インタフェースを使用する場合、IP over 1394で印刷できません。IP over 1394を使用しない場合は、IP over 1394の設定を無効にしてください。設定方法について詳しくは、使用説明書＜オプション設置編＞「IEEE 1394を使用するときの設定」を参照してください。

インストールを始める前に全てのアプリケーションを終了し、パソコンが印刷中でないことを確認してください。

重要

❒ プリンタードライバーのインストール中に、IEEE 1394ケーブルで接続されている他のプリンターの電源を入れたり、新しいIEEE 1394機器を接続しないで下さい。

❒ プリンタードライバーを削除するときは、削除する前にケーブルを抜いてください。

④「デバイスに最適なドライバを検索する（推奨）」が選択されていることを確認し、［次へ］

❖ SCSIプリントで印刷する場合

重要

❒ 本機の設定で、「SCSI print」を有効にしておく必要があります。設定方法について詳しくは、使用説明書＜オプション設置編＞「IEEE 1394を使用するときの設定」を参照してください。

補足

❒ 他のパソコンからデータを受信しているときにデータを送ると、他のパソコンからの受信および印刷終了後に、印刷が開始されます。

❒ 作成されたプリンターのアイコンは、ケーブルを抜くと「プリンターをオフラインで使用する」と表示され、ケーブルを接続すると「準備完了」と表示されます。

① 本機とパソコンをIEEE 1394インターフェースケーブルで接続します。
「新しいハードウェアの検出ウィザード」が起動し、「新しいハードウェアの検索ウィザードの開始」が表示されます。

② ［次へ］をクリックします。

③「次のデバイスをインストールします：不明なデバイス」が表示されていることを確認します。

をクリックします。
「ドライバファイルの特定」が表示されます。

⑤ [検索場所のオプション] の [場所を指定] を選択して［次へ］をクリックします。

⑥ キーボードの左側の【Shift】キーを押しながら、本機の同梱のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブにセットします。
パソコンがCD-ROMを完全に認識するまで左側の【Shift】キーを押し続けます。
CD-ROMのオートランが起動した場合は、［キャンセル］をクリックします。

⑦ [参照] をクリックして、使用するドライバーを選択し、[OK］をクリックします。

参照

プリンタードライバーの収録場所については、P.203「CD-ROM収録ソフトウェアについて」を参照してください。

⑧ 画面の指示に従ってインストールします。

補足

❒ インストールの途中で「デジタル署名が見つかりませんでした」という画面が表示されることがありますが、[はい] を選択してインストールを続行してください。

❒ インストールが正常に終了すると、プリンターフォルダ内には「1394_001」を［印刷のポート先］に指定したプリンターのアイコンが作成されます。(「1394_」に続く数字は、接続しているプリンターの台数によって異なります)。

❒ SCSI プリントによる印刷機能をインストールしない場合で、再起動やケーブルの抜き差しをするたびに「新しいハードウェアの検出ウィザード」が表示されるときは、以下の手順でデバイスを無効にしてください。

① 「新しいハードウェアの検索ウィザードの開始」で、［次へ］をクリックします。

② 「ハードウェアデバイスドライバのインストール」で、「デバイスに最適なドライバを検索する（推奨)」が選択されていることを確認し、［次へ］をクリックします。

③ 「ドライバファイルの特定」で、「検索場所のオプション」の全てのチェックを外し、［次へ］をクリックします。

④ 「ドライバファイルの検索」で、「デバイスを無効にする」が選択されていることを確認し、[完了] をクリックします。

オプションを設定する

制限

❒ ［プリンタ］フォルダでプリンタープロパティを変更するには、「プリンタの管理」のアクセス権が必要です。AdministratorsまたはPowerUsersグループのメンバーとしてログオンしてください。

1 ［スタート］ボタンをクリックし、［設定］をポイントし、［プリンタ］をクリックします。

［プリンタ］ウィンドウが表示されます。

2 追加したプリンターのアイコンをクリックして反転表示させ、［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックします。

次の画面が表示されます。

補足

- ❒ この画面は、インストール後最初にプリンターのプロパティを表示する場合、または装着しているオプションを設定していない場合に表示されます。それ以外の場合は、手順4の画面が表示されます。

3 [OK]をクリックします。

4 [オプション構成の変更/給紙トレイ設定]タブをクリックします。

補足

- ❒ [オプション構成の変更/給紙トレイ設定]タブの項目がグレー表示になっていて選択できないときは、双方向通信が働いています。このときオプションの設定は必要ありません。

5 [オプション選択]ボックスで、取り付けたオプションに✓印を付けます。

6 **オプションの SDRAM モジュールを増設した場合は、[トータルメモリー：] で増設後の合計メモリー容量を選択します。**

7 **[給紙トレイ設定] で、設定するトレイをクリックして反転表示させ、[トレイ用紙サイズ]・[トレイ用紙セット方向]・[トレイ用紙種類] を正しく設定し、自動トレイ選択の対象にしない場合は [自動トレイ選択の対象にしない] に✓印を付けます。**

8 **[OK] をクリックし、プリンターのプロパティを閉じます。**

補足

❒ [初期設定] タブをクリックして [オプ ション構成の変更/給紙トレイ設定] をク リックすると、手順**5**の画面が表示され ます。

プリンタードライバーのインストール中にメッセージが表示されたとき

上記のメッセージは、インストールしようとしたドライバーよりも新しいドライバーが、すでにインストールされているときに表示されます。

この場合には、オートランプログラムによるインストールはできません。メッセージ中に表示されたドライバーをインストールしたときに使用したドライバーを使って、[プリンタの追加] でインストールし直してください。

① [スタート] ボタンをクリックし、[設定] をポイントし、[プリンタ] をクリックします。

② [プリンタの追加] アイコンをダブルクリックします。

③ 「プリンタの追加ウィザード」に従ってインストールします。
プリンタードライバーのディスクがCD-ROMの場合、インストール元はCD-ROMの¥DRIVERS¥RPCS¥WIN2K_XP¥DISK1になります。インストーラーが起動したときは [キャンセル] をクリックして終了させます。

双方向通信が働く条件

双方向通信が働いていると、プリンターにセットされている用紙サイズなどの情報が自動的にパソコンに伝わります。またパソコン側からもプリンターの状態を確認することができます。

- 双方向通信はWindows 95/98/Me、Windows 2000、Windows XP/Server 2003、Windows NT 4.0で働く機能です。

双方向通信が働くには、接続形態により以下の条件をすべて満たしている必要があります。

❖ プリンターとパソコンを直接ケーブルで接続している場合

- パソコンが双方向通信に対応している
- プリンターのプロパティで双方向通信が可能な設定になっている

上記２つの条件のほかに、以下のいずれかの条件を満たしている必要があります。

- プリンターのパラレルコネクターとパソコンのパラレルコネクターが、双方向通信に対応したインターフェースケーブルで接続されている
- プリンターのUSBインターフェースコネクターとパソコンのUSBコネクターが、USBケーブルで接続されている（Windows 98SE/Me、Windows 2000、Windows XP/Server 2003の場合）
- 拡張1394ボード（オプション）のコネクターとパソコンのIEEE 1394コネクターが、ケーブルで接続されている（Windows 2000、Windows XP/Server 2003の場合）

補足

❒ プリンターの操作パネルでIEEE 1394の「SCSI print」が「有効」で「SCSI print双方向」が「する」に設定されている必要があります。

❖ ネットワークで接続している場合

- プリンターのプロパティで双方向通信が可能な設定になっている
- Ridoc IO Naviがインストールされている

上記2つの条件のほかに、以下のいずれかの条件を満たしている必要があります。

- Ridoc IO Naviポートを使用し、プロトコルにTCP/IPを使っている
- 標準TCP/IPポートのポート名を変更しないで使っている（Windows 2000、Windows XP/Server 2003の場合）
- Microsoft TCP/IP印刷 IP アドレスを指定して使っている（Windows NT 4.0の場合）
- IPPプロトコル使用時に、ポート名にIPアドレスを含んでいる

補足

❒ Ridoc IO Naviはプリンターに同梱のCD-ROMからインストールしてください。

プリントサーバーを使う場合

Windows 2000、Windows XP/Server 2003、Windows NT 4.0 のプリントサーバーを使う

Windows 2000、Windows XP/Server 2003、Windows NT 4.0をプリントサーバーとして使用する場合のセットアップ方法を説明します。

プリンタードライバーのインストール

操作の前に

プリントサーバーを使う場合は、RPCSプリンタードライバーを「ネットワークプリンタ」を指定してインストールし、Windows 2000、Windows XP/Server 2003、Windows NT 4.0の共有プリンターを選択します。

ここでの説明はクライアント側がWindows 2000、Windows XP/Server 2003、Windows NT 4.0と正しく通信できる環境に設定されていることを前提にしています。設定されていない場合は、クライアント側に必要なソフトウェアを組み込んでからセットアップを行ってください。

制限

❒ Ridoc IO Naviポートで本機を接続しているプリントサーバをお使いの場合、クライアントからの代行印刷、並行印刷を行うことはできません。

補足

❒ プリントサーバがWindows NT 4.0の場合は、プリントサーバに接続する前にプリンタードライバーをインストールしておいてください。

1 本機に付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。

インストーラーが起動します。

補足

❒ システムの設定によってはインストーラーが自動的に起動しないことがあります。その場合は、CD-ROMのルートディレクトリにある「SETUP.EXE」をダブルクリックして起動してください。

2 セットアップ画面が表示されたら、［プリンタードライバー］ をクリックします。

3 ［使用許諾］ダイアログにソフトウェア使用許諾契約が表示されます。すべての項目をお読みください。同意する場合は、［次へ］ をクリックします。

4 ［コンポーネントの選択］ ダイアログでプリンタードライバーを選択し、［次へ］ をクリックします。

5 [プリンタ名] の左のボックスをクリックし、使用する機種を選択します（✓印を付けます）。プリンター名を変更するときは、['プリンタ名'の設定の変更] ボックスで変更します。

6 [プリンタ名] をダブルクリックし、プリンターの設定を展開します。

補足

- [コメント：]、[ドライバ：]、[ポート：] は、ご使用のオペレーティングシステム、選択したプリンター機種、使用するポートによって、それに応じた表示となります。

7 [ポート:] を選択し、[追加] をクリックします。

8 [ネットワークプリンタ] を選択し、[OK] をクリックします。

9 ネットワークツリー上で、プリントサーバーとして使用するコンピューターの名前をダブルクリックします。

10 印刷するプリンターを選択し、[OK] をクリックします。

11 [ポート :] に選択したプリンターのパスが表示されていることを確認します。

12 必要に応じて、ユーザーコードの設定や通常使うプリンターの設定をします。

 補足

- ❒ 設定項目を選択し、ダイアログ下部の変更ボックスで設定してください。

❖ ユーザーコードの設定

補足

- ❒ ユーザーコードを設定しておくと、各ユーザーごとの印刷枚数の統計をとることができ、Ridoc IO Adminで確認できます。詳細については、Ridoc IO Adminのヘルプを参照してください。
- ❒ 入力できるのは、半角数字最大8桁です。英字や記号はご使用になれません。

❖ 通常使うプリンターの設定

13 ［完了］をクリックします。

プリンタードライバーがインストールされます。

補足

- ❒ インストールの途中で次のメッセージが表示されることがあります。その場合は［はい］をクリックしてインストールを続行してください。

- ❒ 次のメッセージが表示された場合、オートランプログラムでのインストールを続けることができません。P.124「プリンタードライバーのインストール中にメッセージが表示されたとき」を参照してインストールし直してください。
    - 「新しいドライバが既に存在しているため、インストールを継続することができません。」

14 [コンポーネントの選択]ダイアログが表示されたら、[完了] をクリックします。

15 [導入完了] ダイアログが表示されたら、[完了] をクリックします。

補足

- ダイアログに「再起動の確認」が表示される場合は、Windowsを再起動してください。

16 プリンタードライバーのインストールが完了したら、オプションを設定します。

補足

- プリンターとパソコンが双方向通信していないときは、プリンターに接続したオプション、セットした用紙のサイズ、方向を設定する必要があります。

参照

双方向通信の詳細については、P.125「双方向通信が働く条件」を参照してください。

オプションの設定方法は、P.122「オプションを設定する」を参照してください。

プリントサーバーを使わない場合

プロトコルの準備をする

TCP/IP 印刷、IPP 印刷のための準備

TCP/IPプロトコルまたはIPPを使って印刷する場合は、以下の説明に従ってネットワーク環境を設定してください。

❖ **プリンターの環境設定**

TCP/IPを使って印刷できるように、プリンターのネットワーク環境を設定しておきます。

- TCP/IPプロトコルを有効にする（工場出荷時は有効です）
- IPアドレスなどTCP/IPに関する項目を設定する

参照

設定方法の詳細については、かんたんセットアップの「操作パネルを使って設定する」を参照してください。

DHCPを使用してプリンターのIPアドレスを設定するときは、使用説明書＜システム設定編＞「付録」を参照してください。

補足

❒ IPアドレスを設定したら正しく設定されたかどうかWindows上から確認してください。

① ［スタート］ボタンをクリックし、［プログラム］－［アクセサリ］をポイントし、［コマンドプロンプト］をクリックします。

② 次のように入力して確認します。（IPアドレスが192.168.15.16の場合）

```
C:> ping 192.168.15.16
```

正しく設定されていると次のように表示されます。

```
Reply from 192.168.15.16 : bytes=32
time<10ms TTL=32
```

間違って設定されていると次のように表示されます。

```
Request timed out.
```

❖ **Windows XP/Server 2003の環境設定**

Windows XP/Server 2003に「TCP/IPプロトコル」を組み込み、TCP/IPのプロパティを設定します。

① ［コントロールパネル］の［ネットワークとダイヤルアップ接続］アイコンをダブルクリックします。

② ［ローカルエリア接続］を選択して、［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックします。

③ チェックマークがオンになっているコンポーネントがこの接続で使用されています。ボックスに「インターネットプロトコル（TCP/IP）」が組み込まれていることを確認します。

補足

- TCP/IPプロトコルが組み込まれていないときは、［ローカルエリア接続のプロパティ］の［インストール］をクリックして組み込んでください。組み込みの詳しい操作方法についてはWindows XP/Server 2003のヘルプを参照してください。

④ TCP/IPプロトコルを組み込んだら、プロパティを設定します。
設定内容はネットワーク管理者の方に確認し、正しく設定してください。

⑤ LPRを使って印刷する場合は、「UNIX用印刷サービス」が組み込まれている必要があります。
「UNIX用印刷サービス」が組み込まれていないときは、［ネットワークとダイヤルアップ接続］の［詳細設定］メニューの［オプションネットワークコンポーネント］から組み込んでください。組み込みの詳しい操作方法についてはWindows XP/Server 2003のヘルプを参照してください。

ソフトウェアをインストールする

操作の前に

Ridoc IO Naviをインストールし、RPCSプリンタードライバーを「Ridoc IO Navi」を指定してインストールします。

Ridoc IO Navi のインストール

1 本機に付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。

インストーラーが起動します。

補足

- システムの設定によってはインストーラーが自動的に起動しないことがあります。その場合は、CD-ROMのルートディレクトリにある「SETUP.EXE」をダブルクリックして起動してください。

2 セットアップ画面が表示されたら、[Ridoc IO Navi] をクリックします。

Ridoc IO Naviのインストーラーが起動します。

3 [ようこそ] ダイアログが表示されたら、[次へ] をクリックします。

4 [製品ライセンス契約]ダイアログにソフトウェア使用許諾契約が表示されます。すべての項目をお読みください。同意する場合は、[はい]をクリックします。

5 表示されるメッセージに従ってRidoc IO Naviをインストールします。インストールが完了すると次のメッセージが表示されます。

補足

❒「Windowsの再起動」ダイアログが表示される場合は、Windowsを再起動してください。

プリンタードライバーのインストール

1 本機に付属のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブにセットします。

インストーラーが起動します。

補足

❒ システムの設定によってはインストーラーが自動的に起動しないことがあります。その場合は、CD-ROMのルートディレクトリにある「SETUP.EXE」をダブルクリックして起動してください。

2 セットアップ画面が表示されたら、[プリンタードライバー] をクリックします。

3 [使用許諾] ダイアログにソフトウェア使用許諾契約が表示されます。すべての項目をお読みください。同意する場合は、[次へ] をクリックします。

4 [コンポーネントの選択] ダイアログでプリンタードライバーを選択し、[次へ] をクリックします。

5 [プリンタ名] の左のボックスをクリックし、使用する機種を選択します（✓印を付けます）。プリンター名を変更するときは、['プリンタ名'の設定の変更] ボックスで変更します。

6 [プリンタ名] をダブルクリックし、プリンターの設定を展開します。

補足

❒ [コメント：]、[ドライバ：]、[ポート：] は、ご使用のオペレーティングシステム、選択したプリンター機種、使用するポートによって、それに応じた表示となります。

7 [ポート:] を選択し、[追加] をクリックします。

以下の手順は使用するポートによって異なります。使用するポートを選択してください。

- Ridoc IO Navi
- Standard TCP/IP Port
- LPR Port

Ridoc IO Navi

❶ 「Ridoc IO Navi」を選択し、[OK] をクリックします。

❷ プロトコルを選択し、印刷するプリンターを選択します。

❖ TCP/IP

① [TCP/IP] をクリックします。

② ［機器検索］をクリックします。

TCP/IPプロトコルで印刷可能なプリンターが検索され、一覧表示されます。

③ 印刷するプリンターをクリックして選択します。

補足

- ❒ ここにはコンピューターからのブロードキャストに応答したプリンターだけが表示されます。ここに表示されないプリンターに印刷するときは、［アドレス指定］をクリックし、プリンターのIPアドレスまたはホスト名を直接入力してください。

④ [OK] をクリックします。

❖ IPP

① [IPP] をクリックします。
[IPPの設定] ダイアログが表示されます。

② [プリンタのURL] に印刷するプリンターのIPアドレスを「http://（プリンターのIPアドレス）/printer」のように入力します。

③ 必要に応じて [IPPポート名] にプリンターを区別するための名前を入力します。すでにある他のIPPポート名と違う名前を入力してください。
入力を省略すると、[プリンタのURL] に入力したアドレスがIPPポート名に設定されます。

④ **プロキシサーバーやIPPユーザー名などの設定を行う場合は、［詳細設定］をクリックし､必要な項目を設定し､[OK]をクリックします。**

補足

❒ **設定項目の詳細については、CD-ROM収録のヘルプを参照してください。**

⑤ **[OK] をクリックします。**
ポートの追加ダイアログが閉じます。

Standard TCP/IP Port

❶ **「Standard TCP/IP Port」を選択し、[OK] をクリックします。**

 補足

❒ **「Standard TCP/IP Port」が表示されない場合は、Windows XP/Server 2003のヘルプを参照してStandard TCP/IPの設定をしてください。**

❷「標準TCP/IPプリンタポートの追加ウィザード」の開始画面で、[次へ]をクリックします。

❸［プリンタ名またはIPアドレス］ボックスにプリンター名またはプリンターのIPアドレスを入力し、［次へ］をクリックします。

補足

❒ [ポート名]ボックスには自動的にポート名が入力されます。必要があれば変更してください。

❹「標準 TCP/IP プリンタポートの追加ウィザード」の完了画面で、[完了]をクリックします。

プリンタードライバーの導入画面に戻ります。

LPR Port

❶「LPR Port」を選択し、［OK］をクリックします。

補足

❒「LPR Port」が表示されない場合は、「UNIX印刷サービス」が正しく組み込まれていません。[サービス]タブの[追加]をクリックして組み込んでください。組み込みの詳しい操作方法についてはWindows XP/Server 2003のヘルプを参照してください。

❷ [lpd を提供しているサーバーの名前またはアドレス]ボックスに、プリンターのIPアドレスを入力します。

❸ [サーバーのプリンタ名またはプリンタキュー名]ボックスに「lp」と入力し、[OK]をクリックします。

8 [OK]をクリックします。

ポートが追加されます。

9 [ポート :]に選択したプリンターのポートが表示されていることを確認します。

10 必要に応じて、ユーザーコードの設定や通常使うプリンターの設定をします。

補足

❒ 設定項目を選択し、ダイアログ下部の変更ボックスで設定してください。

❖ ユーザーコードの設定

補足

- ❒ ユーザーコードを設定しておくと、各ユーザーごとの印刷枚数の統計をとることができ、Ridoc IO Adminで確認できます。詳細については、Ridoc IO Adminのヘルプを参照してください。
- ❒ 入力できるのは、半角数字最大8桁です。英字や記号はご使用になれません。

❖ 通常使うプリンターの設定

11 ［完了］をクリックします。

プリンタードライバーがインストールされます。

補足

- ❒ インストールの途中で次のメッセージが表示されることがあります。その場合は［はい］をクリックしてインストールを続行してください。

- ❒ 次のメッセージが表示された場合、オートランプログラムでのインストールを続けることができません。P.124「プリンタードライバーのインストール中にメッセージが表示されたとき」を参照してインストールし直してください。
  - 「新しいドライバが既に存在しているため、インストールを継続することができません。」

12 [コンポーネントの選択]ダイアログが表示されたら、[完了] をクリックします。

13 [導入完了] ダイアログが表示されたら、[完了] をクリックします。

補足

❒ ダイアログに「再起動の確認」が表示される場合は、Windowsを再起動してください。

14 プリンタードライバーのインストールが完了したら、オプションを設定します。

補足

❒ プリンターとパソコンが双方向通信していないときは、プリンターに接続したオプション、セットした用紙のサイズ、方向を設定する必要があります。

参照

双方向通信の詳細については、P.125「双方向通信が働く条件」を参照してください。

オプションの設定方法は、P.122「オプションを設定する」を参照してください。

ポートの設定を変更する

IPPのURLやプロキシサーバーの設定など、Ridoc IO Naviの設定を変更することができます。

補足

❒ NetBEUIプロトコルには設定項目がありません。

1 [プリンタ] ウィンドウで、印刷するプリンターのアイコンをクリックして反転表示させ、[ファイル] メニューの [プロパティ] をクリックします。

2 [ポート] タブをクリックし、[ポートの構成] をクリックします。

ポートの設定画面が表示されます。

- TCP/IPプロトコルの場合、代行印刷、並行印刷、タイムアウト、プリンターグループの設定ができます。

補足

❒ [代行印刷/並行印刷] タブの項目を設定できないときは、次のよう操作すると設定できるようになります。

① [キャンセル] をクリックして、[ポートの設定] ダイアログを閉じます。

② Ridoc IO Naviを起動し、タスクバーのRidoc IO Naviアイコンを右クリックします。

③ [拡張機能設定] をクリックし、[代行/並行印刷をポート毎に設定する] にチェックをつけます。

④ [OK] をクリックし、[拡張機能設定] ダイアログを閉じます。

❒ 各設定項目の詳細は、Ridoc IO Naviのヘルプを参照してください。

- IPP の場合、IPP ユーザー設定やプロキシなどの設定ができます。

補足

❒ 詳細は、Ridoc IO Naviのヘルプを参照してください。

パラレルインターフェースを使う

操作の前に

プリンターをパラレル接続して使う場合は、RPCSプリンタードライバーを「ローカルポート」を指定してインストールします。

プリンタードライバー（パラレル接続）のインストール

1 本機に付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。

インストーラーが起動します。

補足

❒ システムの設定によってはインストーラーが自動的に起動しないことがあります。その場合は、CD-ROMのルートディレクトリにある「SETUP.EXE」をダブルクリックして起動してください。

2 セットアップ画面が表示されたら、[プリンタードライバー]をクリックします。

3 [使用許諾]ダイアログにソフトウェア使用許諾契約が表示されます。すべての項目をお読みください。同意する場合は、[次へ]をクリックします。

4 [コンポーネントの選択]ダイアログでプリンタードライバーを選択し、[次へ]をクリックします。

5 [プリンタ名]の左のボックスをクリックし、使用する機種を選択します(✓印を付けます)。プリンター名を変更するときは、['プリンタ名'の設定の変更]ボックスで変更します。

6 [プリンタ名]をダブルクリックし、プリンターの設定を展開します。

補足

- [コメント:]、[ドライバ:]、[ポート:]は、ご使用のオペレーティングシステム、選択したプリンター機種、使用するポートによって、それに応じた表示となります。

7 [ポート:]にプリンターを接続したポート(通常は、LPT1:)が設定されていることを確認します。

8 必要に応じて、ユーザーコードの設定や通常使うプリンターの設定をします。

補足

❒ 設定項目を選択し、ダイアログ下部の変更ボックスで設定してください。

❖ ユーザーコードの設定

補足

❒ ユーザーコードを設定しておくと、各ユーザーごとの印刷枚数の統計をとることができ、Ridoc IO Adminで確認できます。詳細については、Ridoc IO Adminのヘルプを参照してください。

❒ 入力できるのは、半角数字最大8桁です。英字や記号はご使用になれません。

❖ 通常使うプリンターの設定

9 [完了]をクリックします。

プリンタードライバーがインストールされます。

補足

- ❒ インストールの途中で次のメッセージが表示されることがあります。その場合は［はい］をクリックしてインストールを続行してください。

- ❒ 次のメッセージが表示された場合、オートランプログラムでのインストールを続けることができません。P.88「プリンタードライバーのインストール中にメッセージが表示されたとき」を参照してインストールし直してください。
  - 「新しいドライバが既に存在しているため、インストールを継続することができません。」

10 ［コンポーネントの選択］ダイアログが表示されたら、［完了］をクリックします。

11 ［導入完了］ダイアログが表示されたら、［完了］をクリックします。

補足

- ❒ ダイアログに「再起動の確認」が表示される場合は、Windowsを再起動してください。

12 **プリンタードライバーのインストールが完了したら、オプションを設定します。**

補足

- ❒ **プリンターとパソコンが双方向通信していないときは、プリンターに接続したオプション、セットした用紙のサイズ、方向を設定する必要があります。**

参照

双方向通信の詳細については、P.89「双方向通信が働く条件」**を参照してください。**

オプションの設定方法は、P.122「オプションを設定する」**を参照してください。**

USB インターフェースを使う

ここでは、パソコンとプリンターをUSBケーブルで接続し、必要なドライバーをインストールする方法を説明します。

操作の前に

セットアップを始める前にUSBケーブルを接続するパソコンが以下の状態であることを確認してください。

- OS以外のソフトウェアが起動していない
- 印刷を行っていない

制限

❒ Administrator グループのメンバーとしてログインしてください。

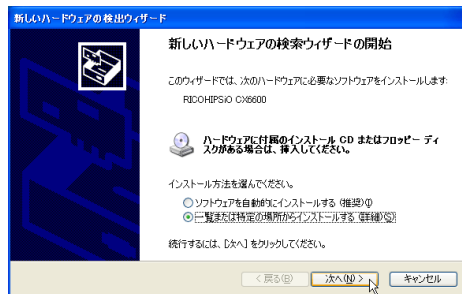
補足

❒ USBケーブルを初めて使用した場合、[新しいハードウェアの検出ウィザード]が表示され、Windows 2000の「USB印刷サポート」が自動的にインストールされます。

❒ ご使用の機器のプリンタードライバーがインストールされている場合、プラグアンドプレイの画面が表示され、[プリンタ] フォルダにUSBケーブルをポート先に指定したプリンターが自動的に追加されます。

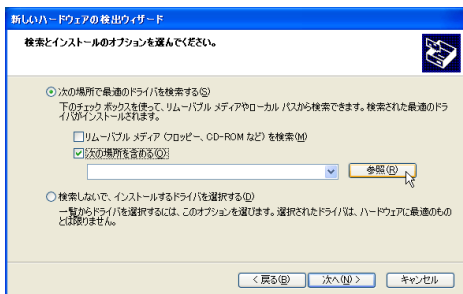
プリンタードライバー（USB 接続）のインストール

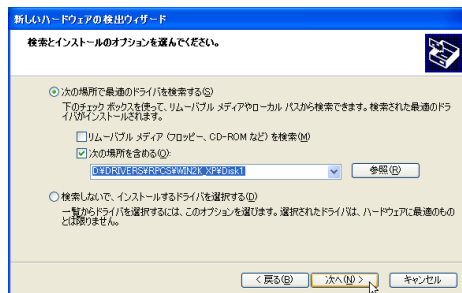
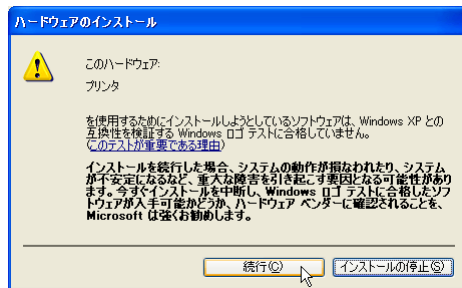
プリンタードライバーがインストールされていない場合は、プリンターのプラグアンドプレイ画面に従って、本機に同梱のCD-ROMからプリンタードライバーをインストールします。

1 [新しいハードウェアの検出ウィザード] 画面で [一覧または特定の場所からインストールする(推奨)] をチェックし、[次へ] をクリックします。

2 キーボードの左側の【Shift】キーを押しながら、本機の同梱のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブにセットします。

パソコンがCD-ROMを完全に認識するまで左側の【Shift】キーを押し続けます。

CD-ROMのオートランが起動した場合は、[キャンセル］をクリックします。

3 [次の場所で最適のドライバを検索する］の［次の場所を含める］をチェックし、[参照］をクリックしてプリンタードライバーの場所を指定します。

インストールするプリンタードライバーの収録フォルダは、「D:¥DRIVERS¥RPCS¥WIN2K_XP¥DISK1」（CD-ROMドライブがD:¥の場合）です。

4 プリンタードライバーの場所が表示されていることを確認し、[次へ］をクリックします。

5 [続行］をクリックします。

6 ［完了］をクリックします。

インストールが正常に終了すると、「USB001」を［印刷先のポート先］に指定したプリンターが［プリンタ］ウィンドウに作成されます。

補足

- 「USB」に続く数字は、接続しているプリンターの台数によって異なります。

IEEE 1394 インターフェースを使う

プリンタードライバー（IEEE 1394 接続）のインストール

ここではIEEE 1394を使用する場合の設定方法を記載しています。

操作の前に

インストールを始める前に全てのアプリケーションを終了し、パソコンが印刷中でないことを確認してください。

重要

- ❒ プリンタードライバーのインストール中に、IEEE 1394ケーブルで接続されている他のプリンターの電源を入れたり、新しいIEEE 1394機器を接続しないで下さい。
- ❒ プリンタードライバーを削除するときは、削除する前にケーブルを抜いてください。

❖ SCSIプリントで印刷する場合

重要

- ❒ 本機の設定で、「SCSI print」を有効にしておく必要があります。設定方法について詳しくは、使用説明書<オプション設置編>「IEEE 1394を使用するときの設定」を参照してください。

補足

- ❒ 他のパソコンからデータを受信しているときにデータを送ると、他のパソコンからの受信および印刷終了後に、印刷が開始されます。
- ❒ 作成されたプリンターのアイコンは、ケーブルを抜くと「プリンターをオフラインで使用する」と表示され、ケーブルを接続すると「準備完了」と表示されます。

① 本機とパソコンをIEEE 1394インターフェースケーブルで接続します。
「新しいハードウェアの検出ウィザード」が起動し、「このウィザードでは、次のハードウェアに必要なソフトウェアをインストールします：(プリンターの名前)」が表示されます。

② [一覧または特定の場所からインストールする］を選択し、[次へ］をクリックします。

③ 「検索とインストールのオプションを選んでください。」が表示されたら、「次の場所で最適のドライバを検索する」を選択し、[次の場所を含める］を選択します。

④ キーボードの左側の【Shift】キーを押しながら、本機の同梱のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブにセットします。
パソコンがCD-ROMを完全に認識するまで左側の【Shift】キーを押し続けます。
CD-ROMのオートランが起動した場合は、[キャンセル］をクリックします。

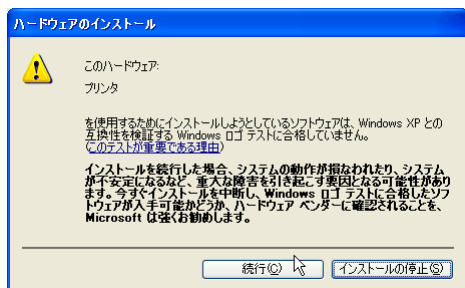
⑤ ［参照］をクリックして、使用するドライバーを選択し、［OK］をクリックします。

参照

プリンタードライバーの収録場所については、P.203「CD-ROM収録ソフトウェアについて」を参照してください。

⑥ 画面の指示に従ってインストールします。

補足

❒ インストールの途中で以下の画面が表示されることがありますが、［続行］を選択してインストールを続行してください。

❒ インストールが正常に終了すると、［プリンタとFAX］フォルダ内には、「1394_001」を［印刷のポート先］に指定したプリンターのアイコンが作成されます（「1394_」に続く数字は、接続しているプリンターの台数によって異なります）。

❒ SCSIプリントによる印刷機能をインストールしない場合で、再起動やケーブルの抜き差しをするたびに「新しいハードウェアの検出ウィザード」が表示されるときは、以下の手順でデバイスを無効にしてください。

① 「新しいハードウェアの検索ウィザードの開始」で、［次へ］をクリックします。

② 「検索とインストールのオプションを選んでください。」が表示されたら、「次の場所で最適のドライバを検索する」を選択し、［リムーバブルメディア（フロッピー、CD-ROMなどを検索）］、［次の場所を含める］にチェックが付いていないことを確認し、［完了］をクリックします。

③ ［このソフトウェアをインストールする確認を今後表示しない］にチェックが付いていることを確認し、［完了］をクリックします。

❖ IP over 1394で印刷する場合

IP over 1394は、Ridoc IO NaviおよびStandard TCP/IP Portを使用して印刷することができます。プリンタードライバーのインストール方法、Ridoc IO Naviを使用したプリンターへの接続方法は、P.96「プリントサーバーを使わない場合」を参照してください。

重要

- ❒ 本機の設定で「IP over 1394」を有効にしておく必要があります。設定方法については、設定方法について詳しくは、使用説明書＜オプション設置編＞「IEEE 1394を使用するときの設定」を参照してください。
- ❒ IEEE 1394インターフェースをネットワークに使用している場合、イーサネットインターフェースは同一のネットワーク範囲では使用できません。
- ❒ IEEE 1394インターフェースとイーサネットインターフェースのサブネットマスクの範囲は重ならないように設定してください。

オプションを設定する

制限

- [プリンタ] フォルダでプリンタープロパティを変更するには、「プリンタの管理」のアクセス権が必要です。AdministratorsまたはPowerUsersグループのメンバーとしてログオンしてください。

1 [スタート] ボタンから、[プリンタとFAX] ウィンドウを表示させます。

[プリンタ] ウィンドウが表示されます。

2 追加したプリンターのアイコンをクリックして反転表示させ、[ファイル] メニューの [プロパティ] をクリックします。

次の画面が表示されます。

補足

- この画面は、インストール後最初にプリンターのプロパティを表示する場合、または装着しているオプションを設定していない場合に表示されます。それ以外の場合は、手順4の画面が表示されます。

3 [OK] をクリックします。

4 ［オプション構成の変更/給紙トレイ設定］タブをクリックします。

補足

- ❒ ［オプション構成の変更/給紙トレイ設定］タブの項目がグレー表示になっていて選択できないときは、双方向通信が働いています。このときオプションの設定は必要ありません。

5 ［オプション選択］ボックスで、取り付けたオプションに✓印を付けます。

6 オプションの SDRAM モジュールを増設した場合は、［トータルメモリー：］で増設後の合計メモリー容量を選択します。

7 [給紙トレイ設定] で、設定するトレイをクリックして反転表示させ、[トレイ用紙サイズ]・[トレイ用紙セット方向]・[トレイ用紙種類]を正しく設定し、自動トレイ選択の対象にしない場合は [自動トレイ選択の対象にしない] に✓印を付けます。

8 [OK]をクリックし、プリンターのプロパティを閉じます。

補足

❒ [初期設定] タブをクリックして [オプション構成の変更/給紙トレイ設定] をクリックすると、手順**5**の画面が表示されます。

プリンタードライバーのインストール中にメッセージが表示されたとき

上記のメッセージは、インストールしようとしたドライバーよりも新しいドライバーが、すでにインストールされているときに表示されます。

この場合には、オートランプログラムによるインストールはできません。メッセージ中に表示されたドライバーをインストールしたときに使用したドライバーを使って、[プリンタの追加] でインストールし直してください。

① [スタート] ボタンをクリックし、[設定] をポイントし、[プリンタ] をクリックします。

② [プリンタの追加] アイコンをダブルクリックします。

③「プリンタの追加ウィザード」に従ってインストールします。
プリンタードライバーのディスクがCD-ROMの場合、インストール元はCD-ROMの¥DRIVERS¥RPCS¥WIN2K_XP¥DISK1になります。インストーラーが起動したときは [キャンセル] をクリックして終了させます。

双方向通信が働く条件

双方向通信が働いていると、プリンターにセットされている用紙サイズなどの情報が自動的にパソコンに伝わります。またパソコン側からもプリンターの状態を確認することができます。

- 双方向通信はWindows 95/98/Me、Windows 2000、Windows XP/Server 2003、Windows NT 4.0で働く機能です。

双方向通信が働くには、接続形態により以下の条件をすべて満たしている必要があります。

❖ プリンターとパソコンを直接ケーブルで接続している場合

- パソコンが双方向通信に対応している
- プリンターのプロパティで双方向通信が可能な設定になっている

上記２つの条件のほかに、以下のいずれかの条件を満たしている必要があります。

- プリンターのパラレルコネクターとパソコンのパラレルコネクターが、双方向通信に対応したインターフェースケーブルで接続されている
- プリンターのUSBインターフェースコネクターとパソコンのUSBコネクターが、USBケーブルで接続されている（Windows 98SE/Me、Windows 2000、Windows XP/Server 2003の場合）
- 拡張1394ボード （オプション）のコネクターとパソコンのIEEE 1394コネクターが 、ケーブルで接続されている（Windows 2000、Windows XP/Server 2003の場合）

補足

❒ プリンターの操作パネルでIEEE 1394の「SCSI print」が「有効」で「SCSI print双方向」が 「する」に設定されている必要があります。

❖ ネットワークで接続している場合

- プリンターのプロパティで双方向通信が可能な設定になっている
- Ridoc IO Naviがインストールされている

上記2つの条件のほかに、以下のいずれかの条件を満たしている必要があります。

- Ridoc IO Naviポートを使用し、プロトコルにTCP/IPを使っている
- 標準 TCP/IP ポートのポート名を変更しないで使っている（Windows 2000、Windows XP/Server 2003の場合）
- Microsoft TCP/IP印刷 IP アドレスを指定して使っている（Windows NT 4.0の場合）
- IPPプロトコル使用時に、ポート名にIPアドレスを含んでいる

補足

❒ Ridoc IO Naviはプリンターに同梱のCD-ROMからインストールしてください。

プリントサーバーを使う場合

Windows 2000、Windows XP/Server 2003、Windows NT 4.0 のプリントサーバーを使う

Windows 2000、Windows XP/Server 2003、Windows NT 4.0をプリントサーバーとして使用する場合のセットアップ方法を説明します。

プリンタードライバーのインストール

操作の前に

プリントサーバーを使う場合は、RPCS　プリンタードライバーを「ネットワークプリンタ」を指定してインストールし、Windows 2000、Windows XP/Server 2003、Windows NT 4.0の共有プリンターを選択します。

ここでの説明はクライアント側がWindows 2000、Windows XP/Server 2003、Windows NT 4.0と正しく通信できる環境に設定されていることを前提にしています。設定されていない場合は、クライアント側に必要なソフトウェアを組み込んでからセットアップを行ってください。

制限

- Ridoc IO Naviポートで本機を接続しているプリントサーバをお使いの場合、クライアントからの代行印刷、並行印刷を行うことはできません。
- Windows XP/Server 2003をプリントサーバとした場合、クライアントに印刷通知を行うことはできません。

1 本機に付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。

インストーラーが起動します。

補足

- システムの設定によってはインストーラーが自動的に起動しないことがあります。その場合は、CD-ROMのルートディレクトリにある「SETUP.EXE」をダブルクリックして起動してください。

2 セットアップ画面が表示されたら、[プリンタードライバー］をクリックします。

3 [使用許諾] ダイアログにソフトウェア使用許諾契約が表示されます。すべての項目をお読みください。同意する場合は、[次へ] をクリックします。

4 [コンポーネントの選択] ダイアログでプリンタードライバーを選択し、[次へ] をクリックします。

5 [プリンタ名] の左のボックスをクリックし、使用する機種を選択します（✓印を付けます）。プリンター名を変更するときは、['プリンタ名'の設定の変更] ボックスで変更します。

6 [プリンタ名] をダブルクリックし、プリンターの設定を展開します。

補足

❒ [コメント：]、[ドライバ：]、[ポート：] は、ご使用のオペレーティングシステム、選択したプリンター機種、使用するポートによって、それに応じた表示となります。

7 [ポート:] を選択し、[追加] をクリックします。

8 [ネットワークプリンタ] を選択し、[OK] をクリックします。

9 ネットワークツリー上で、プリントサーバーとして使用するコンピューターの名前をダブルクリックします。

10 印刷するプリンターを選択し、[OK] をクリックします。

11 [ポート :] に選択したプリンターのパスが表示されていることを確認します。

12 必要に応じて、ユーザーコードの設定や通常使うプリンターの設定をします。

補足

❒ 設定項目を選択し、ダイアログ下部の変更ボックスで設定してください。

❖ ユーザーコードの設定

補足

- ❒ ユーザーコードを設定しておくと、各ユーザーごとの印刷枚数の統計をとることができ、Ridoc IO Adminで確認できます。詳細については、Ridoc IO Adminのヘルプを参照してください。
- ❒ 入力できるのは、半角数字最大8桁です。英字や記号はご使用になれません。

❖ 通常使うプリンターの設定

13 ［完了］をクリックします。

プリンタードライバーがインストールされます。

補足

- ❒ 次のメッセージが表示された場合、オートランプログラムでのインストールを続けることができません。P.153「プリンタードライバーのインストール中にメッセージが表示されたとき」を参照してインストールし直してください。
  - 「新しいドライバが既に存在しているため、インストールを継続することができません。」
  - 「Service Pack 4では導入できないドライバが存在します。」

14 ［コンポーネントの選択］ダイアログが表示されたら、［完了］をクリックします。

15 **[導入完了]ダイアログが表示されたら、[完了]をクリックします。**

補足

- ❒ ダイアログに「再起動の確認」が表示される場合は、Windowsを再起動してください。

16 **プリンタードライバーのインストールが完了したら、オプションを設定します。**

補足

- ❒ プリンターとパソコンが双方向通信していないときは、プリンターに接続したオプション、セットした用紙のサイズ、方向を設定する必要があります。

参照

双方向通信の詳細については、P.154「双方向通信が働く条件」を参照してください。

オプションの設定方法は、P.151「オプションを設定する」を参照してください。

プロトコルの準備をする

TCP/IP 印刷、IPP 印刷のための準備

TCP/IPプロトコルまたはIPPを使って印刷する場合は、以下の説明に従ってネットワーク環境を設定してください。

❖ **プリンターの環境設定**

TCP/IPを使って印刷できるように、プリンターのネットワーク環境を設定しておきます。

- TCP/IPプロトコルを有効にする（工場出荷時は有効です）
- IPアドレスなどTCP/IPに関する項目を設定する

参照

設定方法の詳細については、かんたんセットアップの「操作パネルを使って設定する」を参照してください。

DHCPを使用してプリンターのIPアドレスを設定するときは、使用説明書＜システム設定編＞「付録」を参照してください。

補足

❒ IPアドレスを設定したら正しく設定されたかどうかWindows上から確認してください。

① ［スタート］ボタンをクリックし、［プログラム］をポイントし、［コマンドプロンプト］をクリックします。

② 次のように入力して確認します。（IPアドレスが192.168.15.16の場合）

```
C:> ping 192.168.15.16
```

正しく設定されていると次のように表示されます。

```
Reply from 192.168.15.16 : bytes=32
time<10ms TTL=32
```

間違って設定されていると次のように表示されます。

```
Request timed out.
```

❖ **Windows NTの環境設定**

Windows NTに「TCP/IPプロトコル」と「Microsoft TCP/IP印刷」ソフトウェアを組み込み、TCP/IPのプロパティを設定します。

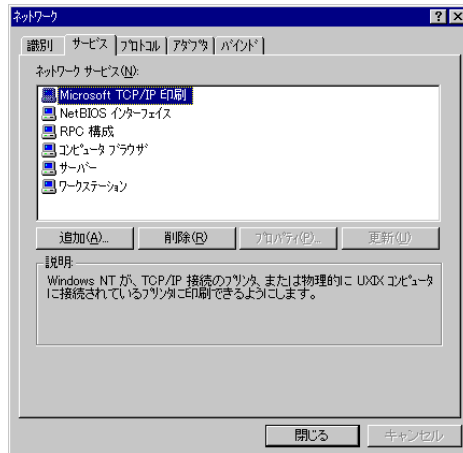
① ［コントロールパネル］の［ネットワーク］アイコンをダブルクリックします。

② ［プロトコル］タブの［ネットワークプロトコル］ボックスに「TCP/IPプロトコル」が組み込まれていることを確認します。

補足

❒ TCP/IPプロトコルが組み込まれていないときは、［プロトコル］タブの［追加］をクリックして組み込んでください。組み込みの詳しい操作方法についてはWindows NTのヘルプを参照してください。

③ TCP/IPプロトコルを組み込んだら、プロパティを設定します。
設定内容はネットワーク管理者の方に確認し、正しく設定してください。

④ LPRを使って印刷する場合は、［サービス］タブをクリックし、ネットワークサービスとして「Microsoft TCP/IP印刷」が組み込まれていることを確認します。

「Microsoft TCP/IP印刷」が組み込まれていないときは、［サービス］タブの［追加］をクリックして組み込んでください。組み込みの詳しい操作方法についてはWindows NTのヘルプを参照してください。

NetBEUI 印刷のための準備

NetBEUIプロトコルを使って印刷する場合は、以下の説明に従ってネットワーク環境を設定してください。

❖ プリンターの環境設定

NetBEUIプロトコルを使って印刷できるように、プリンターのNetBEUIプロトコルを有効にします(工場出荷時は有効です)。

参照

設定方法の詳細については、かんたんセットアップの「操作パネルを使って設定する」を参照してください。

❖ Windows NTの環境設定

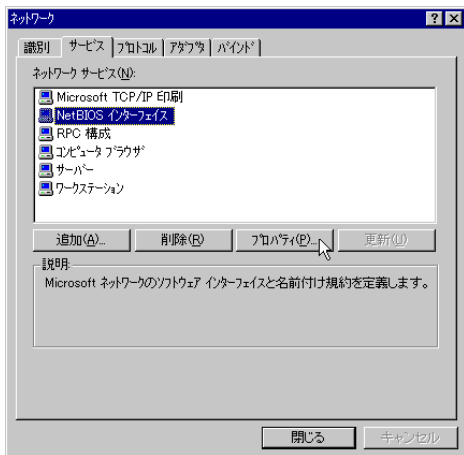
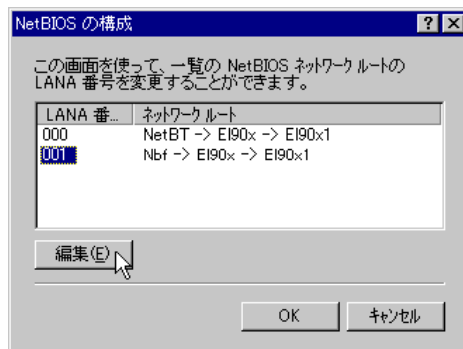
Windows NTに「NetBEUIプロトコル」を組み込み、LANアダプタ(LANA)番号を変更します。

① [コントロールパネル] の [ネットワーク] アイコンをダブルクリックます。

② [プロトコル] タブの [ネットワークプロトコル] ボックスに「NetBEUIプロトコル」が組み込まれていることを確認します。

補足

❒ NetBEUI プロトコルが組み込まれていないときは、[プロトコル] タブの [追加] をクリックして組み込んでください。組み込みの詳しい操作方法についてはWindows NTのヘルプを参照してください。

③ LANA番号を変更します。[サービス] タブをクリックし、[ネットワークサービス] ボックスの「NetBIOSインターフェイス」をクリックして反転表示させ、[プロパティ] をクリックします。

④ [ネットワークルート] 見出しの「Nbfプロトコル」に対応したLANA番号をクリックして反転表示させ、[編集] をクリックします。

⑤ LANA番号として「0」を入力します。

補足

- ❒ 他のプロトコルの LANA 番号が 0 に設定されているときは、そのプロトコルを 0 以外に変更してください。

⑥ [OK] をクリックします。

⑦ [閉じる] をクリックし、[ネットワーク] ダイアログを閉じます。

⑧ 再起動するかどうか確認するメッセージが表示されるので、[はい] をクリックします。

補足

- ❒ LANA 番号を変更したときは必ず再起動してください。

ソフトウェアをインストールする

操作の前に

Ridoc IO Naviをインストールし、RPCSプリンタードライバーを「Ridoc IO Navi」を指定してインストールします。

Ridoc IO Navi のインストール

1 本機に付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。

インストーラーが起動します。

補足

❒ システムの設定によってはインストーラーが自動的に起動しないことがあります。その場合は、CD-ROMのルートディレクトリにある「SETUP.EXE」をダブルクリックして起動してください。

2 セットアップ画面が表示されたら、［Ridoc IO Navi］をクリックします。

Ridoc IO Naviのインストーラーが起動します。

3 ［ようこそ］ダイアログが表示されたら、［次へ］をクリックします。

4 [製品ライセンス契約] ダイアログにソフトウェア使用許諾契約が表示されます。すべての項目をお読みください。同意する場合は、[はい] をクリックします。

5 表示されるメッセージに従ってRidoc IO Naviをインストールします。インストールが完了すると次のメッセージが表示されます。

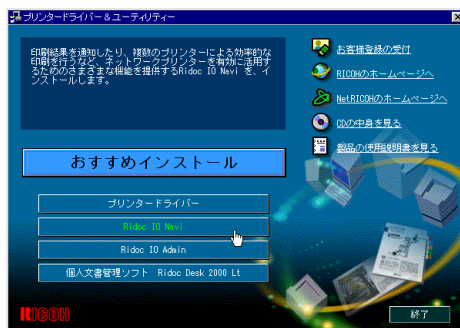
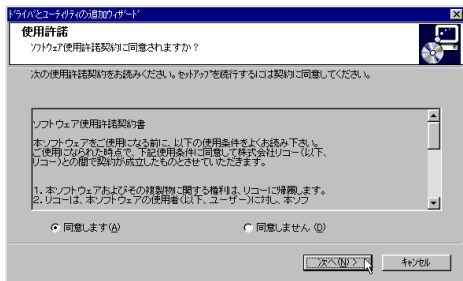
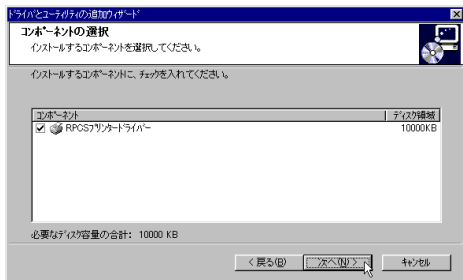
プリンタードライバーのインストール

1 本機に付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。

インストーラーが起動します。

補足

- システムの設定によってはインストーラーが自動的に起動しないことがあります。その場合は、CD-ROMのルートディレクトリにある「SETUP.EXE」をダブルクリックして起動してください。

2 セットアップ画面が表示されたら、[プリンタードライバー] をクリックします。

3 [使用許諾] ダイアログにソフトウェア使用許諾契約が表示されます。すべての項目をお読みください。同意する場合は、[次へ] をクリックします。

4 [コンポーネントの選択] ダイアログでプリンタードライバーを選択し、[次へ] をクリックします。

5 [プリンタ名] の左のボックスをクリックし、使用する機種を選択します（チェックマークを付けます）。プリンター名を変更するときは、['プリンタ名'の設定の変更] ボックスで変更します。

6 [プリンタ名] をダブルクリックし、プリンターの設定を展開します。

補足

- ❒ [コメント：]、[ドライバ：]、[ポート：] は、ご使用のオペレーティングシステム、選択したプリンター機種、使用するポートによって、それに応じた表示となります。

7 ［ポート:］を選択し、［追加］をクリックします。

以下の手順は使用するポートによって異なります。使用するポートを選択してください。

- Ridoc IO Navi
- LPR Port

Ridoc IO Navi

❶「Ridoc IO Navi」を選択し、［OK］をクリックします。

❷ プロトコルを選択し、印刷するプリンターを選択します。

❖ TCP/IP

① ［TCP/IP］をクリックします。

② ［機器検索］をクリックします。

TCP/IPプロトコルで印刷可能なプリンターが検索され、一覧表示されます。

③ 印刷するプリンターをクリックして選択します。

補足

❒ ここにはコンピューターからのブロードキャストに応答したプリンターだけが表示されます。ここに表示されないプリンターに印刷するときは、［アドレス指定］をクリックし、プリンターのIPアドレスまたはホスト名を直接入力してください。

アドレス指定-TCP/IP

TCP/IPホスト名またはIPアドレスを入力して下さい。

IPアドレス(I) 192 . 168 . 15 . 16

ホスト名(H)

OK キャンセル ヘルプ

④ ［OK］をクリックします。

❖ NetBEUI

① ［NetBEUI］をクリックします。

② ［機器検索］をクリックします。

NetBEUIプロトコルで印刷可能なプリンターが検索され、一覧表示されます。

③ 印刷するプリンターをクリックして選択します。

補足

- ここにはコンピューターからのブロードキャストに応答したプリンターだけが表示されます。ここに表示されないプリンターに印刷するときは、[アドレス指定] をクリックし、NetBEUIアドレスを直接入力してください。NetBEUIアドレスは、システム設定リストで確認できます。システム設定リストの印刷方法は、プリンターに同梱の使用説明書を参照してください。システム設定リストではNetBEUIアドレスが「¥¥RNPxxxx¥xxx」と表示されています。先頭の「¥¥」を「%%」に変更して入力してください。

- ルーターを越えたプリンターには印刷できません。

④ [OK] をクリックします。

❖ IPP

① [IPP] をクリックします。
[IPPの設定] ダイアログが表示されます。

② [プリンタのURL] に印刷するプリンターのIPアドレスを「http://(プリンターのIPアドレス) /printer」のように入力します。

③ 必要に応じて [IPPポート名] にプリンターを区別するための名前を入力します。すでにある他のIPPポート名と違う名前を入力してください。
入力を省略すると、[プリンタのURL] に入力したアドレスがIPPポート名に設定されます。

④ プロキシサーバーやIPPユーザー名などの設定を行う場合は、[詳細設定] をクリックし、必要な項目を設定し、[OK] をクリックします。

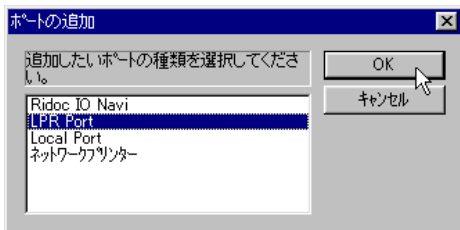
補足

❒ 設定項目の詳細については、CD-ROM収録のヘルプを参照してください。

⑤ [OK] をクリックします。
ポートの追加ダイアログが閉じます。

LPR Port

❶「LPR Port」を選択し、[OK] をクリックします。

補足

❒「LPR Port」が表示されない場合は、「Microsoft TCP/IP印刷」が正しく組み込まれていません。[サービス] タブの [追加] をクリックして組み込んでください。組み込みの詳しい操作方法についてはWindows NTのヘルプを参照してください。

❷ [lpd を提供しているサーバーの名前またはアドレス] ボックスに、プリンターのIPアドレスを入力します。

❸ [サーバーのプリンタ名またはプリンタキュー名] ボックスに「lp」と入力し、[OK] をクリックします。

8 [OK] をクリックします。

ポートが追加されます。

9 [ポート :] に選択したプリンターのポートが表示されていることを確認します。

10 必要に応じて、ユーザーコードの設定や通常使うプリンターの設定をします。

補足

❒ 設定項目を選択し、ダイアログ下部の変更ボックスで設定してください。

❖ ユーザーコードの設定

補足

❒ ユーザーコードを設定しておくと、各ユーザーごとの印刷枚数の統計をとることができ、Ridoc IO Adminで確認できます。詳細については、Ridoc IO Adminのヘルプを参照してください。

❒ 入力できるのは、半角数字最大8桁です。英字や記号はご使用になれません。

❖ 通常使うプリンターの設定

11 ［完了］をクリックします。

プリンタードライバーがインストールされます。

補足

❒ 次のメッセージが表示された場合、オートランプログラムでのインストールを続けることができません。P.153「プリンタードライバーのインストール中にメッセージが表示されたとき」を参照してインストールし直してください。

- 「新しいドライバが既に存在しているため、インストールを継続することができません。」
- 「Service Pack 4では導入できないドライバが存在します。」

12 [コンポーネントの選択]ダイアログが表示されたら、[完了] をクリックします。

13 [導入完了] ダイアログが表示されたら、[完了] をクリックします。

補足

- ❒ ダイアログに「再起動の確認」が表示される場合は、Windowsを再起動してください。

14 プリンタードライバーのインストールが完了したら、オプションを設定します。

補足

- ❒ プリンターとパソコンが双方向通信していないときは、プリンターに接続したオプション、セットした用紙のサイズ、方向を設定する必要があります。

参照

双方向通信の詳細については、P.154「双方向通信が働く条件」を参照してください。

オプションの設定方法は、P.151「オプションを設定する」を参照してください。

ポートの設定を変更する

IPPのURLやプロキシサーバーの設定など、Ridoc IO Naviの設定を変更することができます。

補足

- ❒ NetBEUIプロトコルには設定項目がありません。

1 [プリンタ] ウィンドウで、印刷するプリンターのアイコンをクリックして反転表示させ、[ファイル] メニューの [プロパティ] をクリックします。

2 [ポート] タブをクリックし、[ポートの構成] をクリックします。

ポートの設定画面が表示されます。

- TCP/IP プロトコルの場合、代行印刷、並行印刷、タイムアウト、プリンターグループの設定ができます。

補足

❒ ［代行印刷/並行印刷］タブの項目を設定できないときは、次のよう操作すると設定できるようになります。

① ［キャンセル］をクリックして、［ポートの設定］ダイアログを閉じます。

② Ridoc IO Naviを起動し、タスクバーのRidoc IO Naviアイコンを右クリックします。

③ ［拡張機能設定］をクリックし、［代行/並行印刷をポート毎に設定する］にチェックをつけます。

④ ［OK］をクリックし、［拡張機能設定］ダイアログを閉じます。

❒ 各設定項目の詳細は、Ridoc IO Naviのヘルプを参照してください。

- IPP の場合、IPP ユーザー設定やプロキシなどの設定ができます。

補足

❒ 詳細は、Ridoc IO Naviのヘルプを参照してください。

パラレルインターフェースを使う

操作の前に

プリンターをパラレル接続して使う場合は、RPCSプリンタードライバーを「ローカルポート」を指定してインストールします。

プリンタードライバー（パラレル接続）のインストール

1 本機に付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。

インストーラーが起動します。

補足

❒ システムの設定によってはインストーラーが自動的に起動しないことがあります。その場合は、CD-ROMのルートディレクトリにある「SETUP.EXE」をダブルクリックして起動してください。

2 セットアップ画面が表示されたら、［プリンタードライバー］をクリックします。

3 ［使用許諾］ダイアログにソフトウェア使用許諾契約が表示されます。すべての項目をお読みください。同意する場合は、［次へ］をクリックします。

4 [コンポーネントの選択] ダイアログでプリンタードライバーを選択し、[次へ] をクリックします。

5 [プリンタ名] の左のボックスをクリックし、使用する機種を選択します（✓印を付けます）。プリンター名を変更するときは、['プリンタ名'の設定の変更] ボックスで変更します。

6 [プリンタ名] をダブルクリックし、プリンターの設定を展開します。

補足

- ❒ [コメント：]、[ドライバ：]、[ポート：] は、ご使用のオペレーティングシステム、選択したプリンター機種、使用するポートによって、それに応じた表示となります。

7 [ポート:] にプリンターを接続したポート（通常は、LPT1:）が設定されていることを確認します。

8 必要に応じて、ユーザーコードの設定や通常使うプリンターの設定をします。

補足

❒ 設定項目を選択し、ダイアログ下部の変更ボックスで設定してください。

❖ ユーザーコードの設定

補足

❒ ユーザーコードを設定しておくと、各ユーザーごとの印刷枚数の統計をとることができ、Ridoc IO Adminで確認できます。詳細については、Ridoc IO Adminのヘルプを参照してください。

❒ 入力できるのは、半角数字最大8桁です。英字や記号はご使用になれません。

❖ 通常使うプリンターの設定

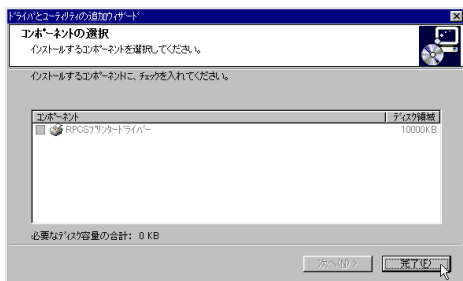
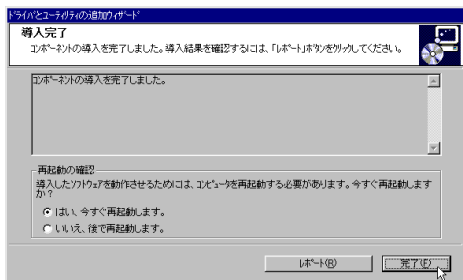
9 ［完了］をクリックします。

プリンタードライバーがインストールされます。

補足

❒ 次のメッセージが表示された場合、オートランプログラムでのインストールを続けることができません。P.153「プリンタードライバーのインストール中にメッセージが表示されたとき」を参照してインストールし直してください。

- 「新しいドライバが既に存在しているため、インストールを継続することができません。」
- 「Service Pack 4では導入できないドライバが存在します。」

10 [コンポーネントの選択] ダイアログが表示されたら、[完了] をクリックします。

11 [導入完了] ダイアログが表示されたら、[完了] をクリックします。

補足

- ❒ ダイアログに「再起動の確認」が表示される場合は、Windowsを再起動してください。

12 プリンタードライバーのインストールが完了したら、オプションを設定します。

補足

- ❒ プリンターとパソコンが双方向通信していないときは、プリンターに接続したオプション、セットした用紙のサイズ、方向を設定する必要があります。

参照

双方向通信の詳細については、P.154「双方向通信が働く条件」を参照してください。

オプションの設定方法は、P.151「オプションを設定する」を参照してください。

オプションを設定する

制限

❒ ［プリンタ］フォルダでプリンタープロパティを変更するには、「フルコントロール」のアクセス権が必要です。AdministratorsまたはPowerUsersグループのメンバーとしてログオンしてください。

1 ［スタート］ボタンをクリックし、［設定］をポイントし、［プリンタ］をクリックします。

［プリンタ］ウィンドウが表示されます。

2 追加したプリンターのアイコンをクリックして反転表示させ、［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックします。

次の画面が表示されます。

補足

❒ この画面は、インストール後最初にプリンターのプロパティを表示する場合、または装着しているオプションを設定していない場合に表示されます。それ以外の場合は、手順4の画面が表示されます。

3 ［OK］をクリックします。

4 ［オプション構成の変更/給紙トレイ設定］タブをクリックします。

補足

- ［オプション構成の変更/給紙トレイ設定］タブの項目がグレー表示になっていて選択できないときは、双方向通信が働いています。このときオプションの設定は必要ありません。

5 ［オプション選択］ボックスで、取り付けたオプションに✓印を付けます。

6 オプションのSDRAMモジュールを増設した場合は、［トータルメモリー：］で増設後の合計メモリー容量を選択します。

7 [給紙トレイ設定] で、設定するトレイをクリックして反転表示させ、[トレイ用紙サイズ]・[トレイ用紙セット方向]・[トレイ用紙種類]を正しく設定し、自動トレイ選択の対象にしない場合は [自動トレイ選択の対象にしない] に✓印を付けます。

8 [OK]をクリックし、プリンターのプロパティを閉じます。

補足

- [初期設定] タブをクリックして [オプション構成の変更/給紙トレイ設定] をクリックすると、手順5の画面が表示されます。

プリンタードライバーのインストール中にメッセージが表示されたとき

上記のメッセージは、インストールしようとしたドライバーよりも新しいドライバーが、すでにインストールされているときに表示されます。

この場合には、オートランプログラムによるインストールはできません。メッセージ中に表示されたドライバーをインストールしたときに使用したドライバーを使って、[プリンタの追加] でインストールし直してください。

① [スタート] ボタンをクリックし、[設定] をポイントし、[プリンタ] をクリックします。

② [プリンタの追加] アイコンをダブルクリックします。

③ 「プリンタの追加ウィザード」に従ってインストールします。
プリンタードライバーのディスクがCD-ROMの場合、インストール元はCD-ROMの¥DRIVERS¥RPCS¥NT4¥DISK1になります。インストーラーが起動したときは [キャンセル] をクリックして終了させます。

双方向通信が働く条件

双方向通信が働いていると、プリンターにセットされている用紙サイズなどの情報が自動的にパソコンに伝わります。またパソコン側からもプリンターの状態を確認することができます。

- 双方向通信はWindows 95/98/Me、Windows 2000、Windows XP/Server 2003、Windows NT 4.0で働く機能です。

双方向通信が働くには、接続形態により以下の条件をすべて満たしている必要があります。

❖ プリンターとパソコンを直接ケーブルで接続している場合

- パソコンが双方向通信に対応している
- プリンターのプロパティで双方向通信が可能な設定になっている

上記２つの条件のほかに、以下のいずれかの条件を満たしている必要があります。

- プリンターのパラレルコネクターとパソコンのパラレルコネクターが、双方向通信に対応したインターフェースケーブルで接続されている
- 拡張1394ボード（オプション）のコネクターとパソコンのIEEE 1394コネクターが、ケーブルで接続されている（Windows 2000、Windows XP/Server 2003の場合）

補足

❒ プリンターの操作パネルでIEEE 1394の「SCSI print」が「有効」で「SCSI print双方向」が「する」に設定されている必要があります。

❖ ネットワークで接続している場合

- プリンターのプロパティで双方向通信が可能な設定になっている
- Ridoc IO Naviがインストールされている

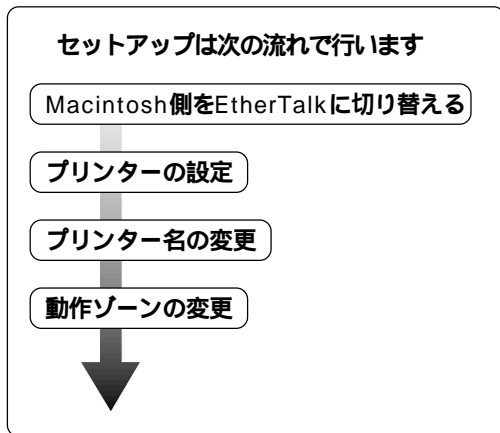
上記2つの条件のほかに、以下のいずれかの条件を満たしている必要があります。

- Ridoc IO Naviポートを使用し、プロトコルにTCP/IPを使っている
- 標準TCP/IPポートのポート名を変更しないで使っている（Windows 2000、Windows XP/Server 2003の場合）
- Microsoft TCP/IP印刷 IP アドレスを指定して使っている（Windows NT 4.0の場合）
- IPPプロトコル使用時に、ポート名にIPアドレスを含んでいる

補足

❒ Ridoc IO Naviはプリンターに同梱のCD-ROMからインストールしてください。

セットアップ

MacintoshのEtherTalk環境でネットワークプリンターを使用する場合の設定のしかたを説明します。

制限

- ❒ 対象となるMac OSのバージョンは8.6以上、Mac OS Xのバージョンはv10.1以上です。
- ❒ Macintoshから印刷するにはPostScript 3を含むモジュール（オプション）がプリンターに増設されている必要があります。
- ❒ Mac OSで使用するためには、PostScript 3を含むモジュールに同梱のCDに収録されている、Adobe PSプリンタードライバー 8.7.2が必要です。また、MacOS Xで使用するためには、PostScript 3を含むモジュールに同梱のCD に収録されている、PPDファイルが必要です。

EtherTalk への切り替え

EtherTalkを使用するには、次の手順でネットワークの接続方式を切り替えます。

参照

EtherTalkに必要なソフトウェアのインストールについては、Macintoshのマニュアルを参照してください。

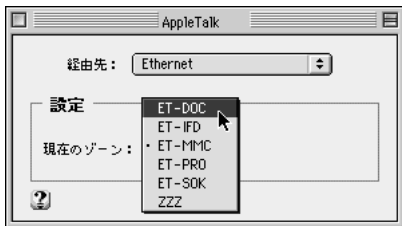
Mac OS

Macintoshの操作方法は使用しているOSのバージョンによって多少異なります。ここではMac OS 9.1を例に説明します。その他のバージョンをお使いの方は、本書の説明内容を参考に、それぞれのマニュアルを参照して設定してください。

1 ［コントロールパネル］を開き、［AppleTalk］アイコンをダブルクリックします。

AppleTalk

2 [経由先] ポップアップメニューから「Ethernet」を選択します。

3 ゾーンを変更するときは、[現在のゾーン] ポップアップメニューから使用するゾーンの名前を選択します。

4 [AppleTalk] コントロールパネルを閉じます。

5 Macintoshを再起動します。

Mac OS X

補足

- ❒ 一般ユーザーの場合、ゾーンの変更にはユーザ名とパスワードが必要です。管理者にお問い合わせください。

1 [System Preference] を開き、[ネットワーク] アイコンをダブルクリックします。

2 [AppleTalk] タブをクリックします。

3 ゾーンを変更する場合には、[AppleTalkゾーン:] ポップアップメニューから使用するゾーンの名前を選択します。

4 設定が完了したら、[今すぐ適用] をクリックしてください。

プリンターの設定

プリンター側でAppleTalkプロトコルを有効にします(工場出荷時は有効です)。

参照

設定方法については、使用説明書＜システム設定編＞「操作パネルを使用する」を参照してください。

プリンター名の変更

同じネットワーク上に同機種のプリンターを複数台接続するときは、必ずプリンター名を変更してください。同じプリンター名があると、Macintoshの [セレクタ] 上ではPRINTER0、PRINTER1のようにプリンター名の後に「0」「1」などの番号が付いて表示されます。MacintoshのEtherTalk環境でプリンター名を変更するには、PostScript 3を含んだモジュールに付属の「PS3設定ユーティリティー」を使用します。

参照

プリンター名の変更のしかたについての詳細は、PostScript 3 使用説明書を参照してください。

ゾーンの変更

ネットワーク上にゾーンを設定している場合は、必要に応じてプリンターが所属するゾーンを変更します。

ゾーンを変更するには、PostScript 3を含んだモジュールに付属の「PS3設定ユーティリティー」を使用します。

参照

ゾーンの変更のしかたについての詳細は、PostScript 3 使用説明書を参照してください。

USB インターフェースを使う

ここでは、プリンターをUSB接続で使用する場合の設定方法を説明します。

操作の前に

PostScript 3インストールガイドを参照して、必要なファイルをインストールしてください。

かんたんセットアップを参照して、Macintoshとプリンターを USBケーブルで接続してください。

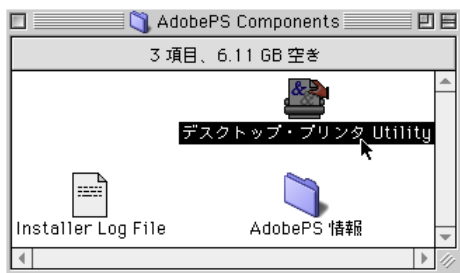
制限

- ❒ Macintosh では本体標準の USB ポートのみ対応しています。
- ❒ Macintoshから印刷するにはPostScript 3を含むモジュール(オプション)がプリンターに増設されている必要があります。
- ❒ MacintoshとUSB接続で印刷する場合、エミュレーションが自動では切り替わりません。プリンターの操作パネルから、エミュレーションを「PS3」に切り替えてから印刷を行ってください。操作パネルの設定方法の詳細については、使用説明書<システム設定編>「操作パネルを設定する」を参照してください。

Mac OS

Macintoshの操作方法は使用しているOSのバージョンによって多少異なります。ここではMac OS 9.1を例に説明します。その他のバージョンをお使いの方は、本書の説明内容を参考に、それぞれのマニュアルを参照して設定してください。

1 ハードディスクの［AdobePS Components］フォルダを開きます。

2 [デスクトップ・プリンタUtility] をダブルクリックします。

3 [プリンタ：] ポップアップメニューから [AdobePS] を選択し、[デスクトップに作成...] から [プリンタ (USB)] を選択して、[OK] をクリックします。

4 [PostScript™プリンタ記述 (PPD) ファイル] の [変更] をクリックします。

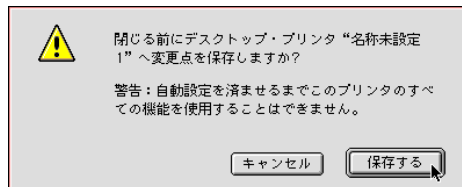
5 接続したプリンターの PPD ファイルを選択し、[選択] をクリックします。

6 [USBプリンタの選択：] で、[変更] をクリックします。

7 [USBプリンタの選択：] で、接続したプリンターを選択し、[OK] をクリックします。

8 [作成] をクリックします。

メッセージが表示されます。

9 [保存する] をクリックします。

10 保存先と名称を指定し、[保存]をクリックします。

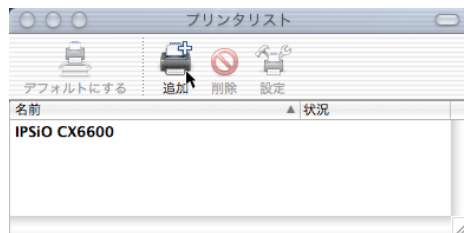
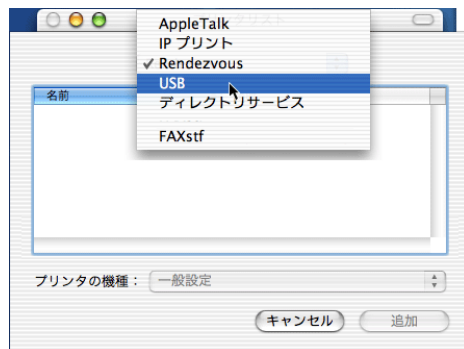
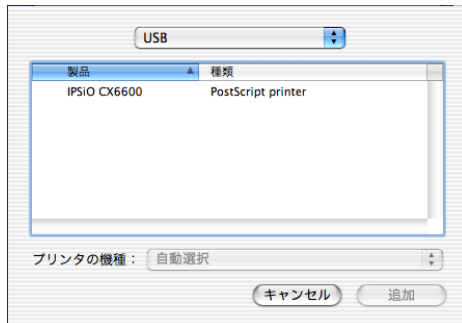
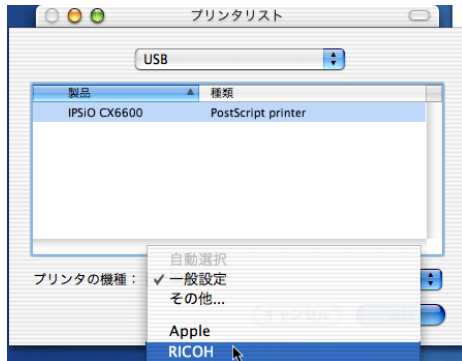
デスクトップにプリンターアイコンが表示されます。

11 [デスクトップ・プリンタUtility]を終了します。

Mac OS X

操作方法は、使用しているOSのバージョンによって多少異なります。ここではMac OS X 10.2.4を例に説明します。その他のバージョンをお使いの方は、本書の説明内容を参考に、それぞれのマニュアルを参照して設定してください。

1 プリントセンターを起動します。

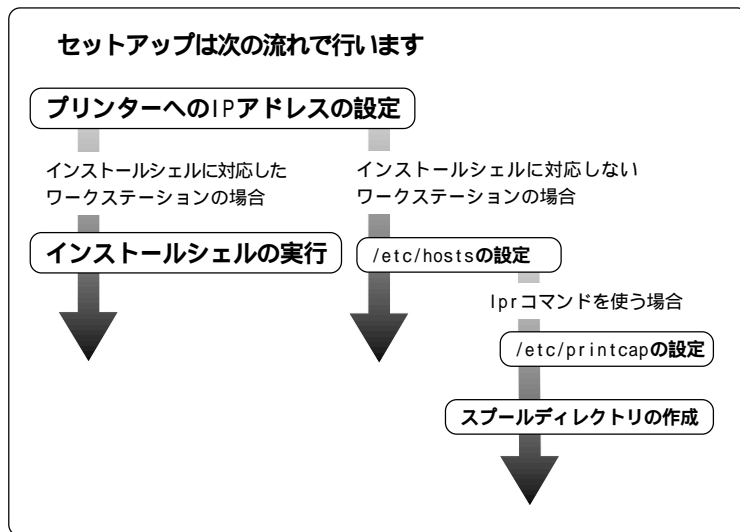
2 [追加]をクリックします。

3 ポップアップメニューから[USB]を選択します。

接続しているプリンターが表示されます。

4 プリンターを選択し、［プリンタの機種］ポップアップメニューから［RICOH］を選択します。

機種名の一覧が表示されます。

5 機種名の一覧から接続しているプリンターの機種名を選択し、［追加］をクリックします。

6 プリンタリストを閉じ、プリントセンターを終了します.

UNIXでネットワークプリンターを使用する場合のセットアップとプリンターの状態表示のしかたを説明します。

セットアップ

セットアップの作業を簡単に行えるようにインストールシェルが用意されています。インストールシェルは通常のリモートプリンターのセットアップ作業(/etc/hostsの設定、/etc/printcapの設定、スプールディレクトリの作成)をシェルスクリプトにより自動化して行います。

操作の前に

インストールシェルは次の6種類のワークステーションに対応しています。これ以外のワークステーションの場合はインストールシェルを使わないでセットアップしてください。

- SunOS 4.x.x
- Solaris 2.x (SunOS 5.x)、Solaris7、Solaris8

- HP-UX 8.07、9.x、10.x、11.x
- RedHat Linux 5.2、6.2、7、7.1
- UnixWare 7.1.1
- OpenServer 5.06

RedHat7.1以降では、インストール時のセキュリティ設定によりrsh/telnetが使用できないことがあります。セキュリティレベルをrsh/telnetで使用できるレベルに変更しておいてください。変更方法についてはRedHatの使用説明書を参照してください。

NIS(Network Information Service)やDNSを使用している場合は、あらかじめサーバ側の設定をしてからインストールシェルを実行してください。

付属のプリンター設定ツールでも同様の設定ができるものがあります。それらを使用するときは各ツールのマニュアルを参照してください。

IP アドレスの設定

操作の前に

あらかじめプリンターのネットワーク環境を設定しておきます。

- TCP/IPプロトコルを有効にする（工場出荷時は有効です）。
- IPアドレスなどTCP/IPに関する項目を設定する。

参照

設定方法の詳細については、かんたんセットアップ「操作パネルを使って設定する」を参照してください。

IP アドレスの確認

IPアドレスを設定したら正しく設定されたかどうかワークステーション側から確認してください。

1 次のように入力して確認します。（IPアドレスが192.168.15.16の場合）

```
# ping 192.168.15.16
```

正しく設定されていると次のように表示されます。

```
192.168.15.16 is alive
```

間違って設定されていると次のように表示されます。

```
no answer from 192.168.15.16
```

補足

- ❒ NISを使用している場合はマスターサーバー上の/etc/hostsに、DNSを使用している場合はネームサーバー上のデータファイルにIPアドレスとホスト名を追加します。追加後、ホスト名を使って正しく設定されたか確認してください。

  ```
  # ping ホスト名
  ```

- ❒ サーバーに登録したホスト名はIPアドレスの代わりに使用できます。

インストールシェルの実行

プリンターにIPアドレスを設定したら、インストールシェルを使ってワークステーションの印刷環境をセットアップします。

補足

❒ インストールシェルはftpを使ってプリンターから取り出します。

1 プリンターを使用するワークステーションにrootでログインします。

補足

❒ rootでログインしないとインストールシェルが起動しません。

2 インストールシェルをプリンターから取り出します。

❶ インストールシェルをコピーするディレクトリに移動します。

❷ ftpコマンドで、設定したIPアドレスに接続します。

```
# ftp 192.168.15.16
Connected to 192.168.15.16
220 printer FTP server ready.
Name (192.168.15.16:root:)
```

❸ ユーザー名の入力待ち画面では何も入力しないでReturnキーを押します。

```
331 Password required for root.
Password:
```

❹ パスワードの入力待ち画面では何も入力しないでReturnキーを押します。

```
230 User root logged in.
ftp>
```

❺ インストールシェルを取り出します。

```
ftp> get install
```

❻ ftpを終了します。

```
ftp> bye
221 Goodbye.
#
```

3 インストールシェルを起動します。

```
# sh ./install
```

❒ カレントディレクトリであることを示すピリオド（.）を付けてください。

4 使用しているワークステーションを数字で指定します。

```
Network printer install shell
 Copyright RICOH CO.,LTD. 1994-2001
 Select your workstation OS type.
  1. SunOS 4.x.x
  2. Solaris 2.x, Solaris 7-8(SunOS5.x)
  3. HP-UX
  4. UnixWare
  5. Linux
  6. OpenServer
  7. Quit
Enter <1-7>:
1
```

❒「7」を指定するとインストールシェルは終了します。

5 プリンターのIPアドレスを入力します。

```
Enter Printer host IP address <xxx.xxx.xxx.xxx> [return=skip]:
192.168.15.16
```

補足

- ❒ ここで入力したIPアドレスが/etc/hostsに設定されます。⇒ P.170 「/etc/hostsへのIPアドレスとホスト名の追加」
- ❒ すでにプリンターのホスト名が登録されているときは、何も入力しないでReturnキーを押します。このとき/etc/hostsには何も追加されません。

6 プリンターのホスト名を入力します。

```
Enter Printer host name :
ricoh
```

補足

- ❒ ここで入力した名前が/etc/hostsと/etc/printcapに設定されます。ただし、手順5でIPアドレスを入力しなかったとき、/etc/hostsには何も追加されません。

7 プリンターの名前を設定します。

```
Enter logical printer name [default ricoh_prn]:
```

そのままReturnキーを押すと「default」に表示されている名前に設定されます。この名前を変更したいときは新しい名前を入力します。

補足

- ❒ ここで入力した名前が/etc/printcapに設定されます。⇒ P.171 「/etc/printcapへのエントリーの追加」
- ❒ 「default」には手順6で入力したホスト名に_prnを付けた名前が表示されます。手順6でホスト名を入力しなかったときはricoh_prnと表示されます。

8 印刷時のオプションを指定します。

オプションを指定しないときはそのままReturnキーを押します。

```
Enter remote printer name [default lp]:
filetype=RPS
hosts file is modified
#
```

インストールシェルによるセットアップが終了します。

参照

指定できるオプションについて詳しくは、P.179「オプション指定」を参照してください。

補足

- ここでオプションを指定すると、入力した文字列が/etc/printcapのrpケーパビリティに設定されます（⇒P.170）。lprで印刷すると、このオプションを使って印刷されます。
- 同じプリンターに対して異なるオプションを指定して印刷するときは、インストールシェルをもう一度実行し、オプションごとにエントリーを作成してください。

9 テスト印刷してみます。

```
# lpr -Pricoh_prn ファイル名
```

インストールシェルの実行結果

インストールシェルを実行すると印刷環境が自動的にセットアップされます。

ここでは、SunOS 4.x**でインストールシェルを実行した場合にセットアップされる内容について説明します。**

補足

- ❒ **インストールシェルを使わないでセットアップする場合は、ここでの説明を参考に各ワークステーションのマニュアルを参照してください。**

/etc/hosts への IP アドレスとホスト名の追加

/etc/hosts**に次の行が追加されます。**

```
192.168.15.16  ricoh  # Network Printer
```

- 192.168.15.16**は**IP**アドレス、**ricoh**はプリンターのホスト名、**#**から行末まではコメントです。**

補足

- ❒ /etc/hosts**はネットワーク内で通信するすべてのホストの**IP**アドレスとホスト名を登録するファイルです。それぞれの項目はスペースかタブで区切られ、**1**行で入力されます。**
- ❒ NIS **や** DNS **を使用していない場合は、ネットワークプリンターを使用するすべてのワークステーション上の**/etc/hosts**に追加が必要です。**

/etc/printcap へのエントリーの追加

/etc/printcapに次のエントリーが追加されます。

これはlprコマンドを使って印刷するための設定です。lprコマンドを使って印刷するには、/etc/hostsファイルの設定に加え、/etc/printcapにネットワークプリンターのためのエントリーを追加し、スプールディレクトリを作成する必要があります。

```
ricoh_prn|Ricoh Network Printer:\
        :rm=ricoh:\
        :rp=filetype=RPS:\
        :sd=/usr/spool/ricoh_prnd:\
        :lf=/usr/adm/ricoh_prnd-errs:\
        :mx#0:
```

補足

- ❒ /etc/printcapはプリンターの名前や属性を登録するファイルです。ネットワークプリンターを使用するすべてのワークステーションの/etc/printcapに、ネットワークプリンターのためのエントリーが必要です。
- ❒ 同じプリンターに対し異なるオプションを指定して印刷するときは、オプションごとにエントリーを作成してください。
- ❒ １つのエントリーはコロン（：）で複数のフィールドに区切られています。読みやすくするために途中に改行を入れることができ、その場合は改行の前にバックスラッシュ（\）を入力します。
- ❒ 1行目のフィールドはプリンターの名前です。ワークステーションからネットワークプリンターを指定するときに、この名前を使います。名前を「|」で区切ることにより複数の名前を定義できます。

❒ 2行目以降のフィールドはプリンターの属性です。プリンターの属性はケーパビリティと呼ばれる2文字の名前で表されます。ケーパビリティについて詳しくは次の表を参照してください。

ケーパビリティ	説明	ネットワークプリンターのための設定値
lp	プリンターのデバイス名	何も指定しない
rm	プリンターのホスト名	/etc/hostsに登録したホスト名
rp	オプション指定	印刷時のオプションを指定します。指定できるオプションについては、P.179「オプション指定」を参照してください。
sd	スプールディレクトリのパス名	作成するスプールディレクトリのパス名
lf	ログファイル名のパス名	ログを格納するファイルのパス名 たとえば/usr/adm/lpd-errs
mx	スプールディレクトリにコピー可能なファイルの最大サイズ。0を指定すると無制限、指定しないと1024kバイト。	指定しない、または適当な値

スプールディレクトリの作成

/usr/spool/ディレクトリにスプールディレクトリが作成されます。名前はプリンターの名前の最後にdを付けた名前です。

補足

- スプールディレクトリは、印刷を行うデータファイルの一時的なコピーが作成されるなど、印刷ジョブを制御するために使われます。ネットワークプリンターを使用するすべてのワークステーション上に、ネットワークプリンターのためのスプールディレクトリが必要です。
- スプールディレクトリは /etc/printcap に書き込まれたネットワークプリンターのエントリーごとに作成します。
- スプールディレクトリは通常/usr/spoolの下に作成します。スプールディレクトリは、/etc/printcapの中のsdケーパビリティで指定したパス名と一致させ、オーナーとグループをdaemon、許可モードを775に設定します。以下はスプールディレクトリとして/usr/spool/ricoh_prndを作成するときのコマンド入力例です。

```
# cd /usr/spool
# mkdir ricoh_prnd
# chown daemon ricoh_prnd
# chgrp daemon ricoh_prnd
# chmod 775 ricoh_prnd
```

ログファイルの作成

/usr/admディレクトリにエラーのログファイルが作成されます。名前はプリンターの名前の最後にd-errsを付けた名前です。

印刷方法

使用しているワークステーションに応じ、以下のようにコマンド入力します。

❖ BSD系UNIXワークステーションの場合

`% lpr -Pプリンターの名前 ファイル名 [ファイル名...]`

名前がricoh_prnのプリンターに、名前がfile1とfile2のファイルを印刷する場合のコマンド例は次のとおりです。

```
% lpr -Pricoh_prn file1 file2
```

❖ Solaris、HP-UXの場合

`% lp -dプリンターの名前 ファイル名 [ファイル名...]`

名前がricoh_prnのプリンターに、名前がfile1とfile2のファイルを印刷する場合のコマンド例は次のとおりです。

```
% lp -dricoh_prn file1 file2
```

補足

- ❒ プリンターの名前は、インストールシェル実行時に入力したプリンターの名前です。
- ❒ ファイル名には「*」や「?」のワイルドカードを使用できます。
- ❒ 印刷するファイルのデータ形式とプリンターのエミュレーションモードを合わせてください。
- ❒ タブコードや漢字コードがプリンターと合っていないと正常に印刷されません。タブ制御や漢字での印刷を行う場合は、使用するエミュレーションモードとデータの設定を一致させてください。
- ❒「print requests full」のメッセージが表示されたときは、印刷要求がフルの状態です（最大5セッション）。印刷要求が4セッション以下になってから印刷し直してください。

rsh、rcp、ftp コマンドによる印刷

rsh、rcp、ftpコマンドを使って印刷することもできます。

補足

- ❒ 印刷するファイルのデータ形式とプリンターのエミュレーションモードを合わせてください。
- ❒ タブコードや漢字コードがプリンターと合っていないと正常に印刷されません。タブ制御や漢字での印刷を行う場合は、使用するエミュレーションモードとデータの設定を一致させてください。
- ❒「print requests full」のメッセージが表示されたときは、印刷要求がフルの状態です。下表に示すセッション数以下になってから印刷し直してください。

コマンド/本体搭載メモリー	64MB以上
rcp、rsh	5
ftp	3

rsh

```
% rsh プリンターのホスト名 print [オプション] < ファイル名
```

補足

- ❒ プリンターのホスト名は、インストールシェル実行時に入力したプリンターのホスト名です。
- ❒ オプションは、プリンター固有のものを指定できます。詳しくはP.179「オプション指定」を参照してください。

rcp

❖ ファイルを指定して印刷する場合

```
% rcp [-b] ファイル名 [ファイル名...] プリンターのホスト名:[オプション]
```

❖ ディレクトリすべてのファイルを印刷する場合

```
% rcp -r ディレクトリ名 プリンターのホスト名:[オプション]
```

補足

- ❒ プリンターのホスト名は、インストールシェル実行時に入力したプリンターのホスト名です。
- ❒ オプションは、プリンター固有のものを指定できます。詳しくはP.179「オプション指定」を参照してください。
- ❒ ファイル名には「*」や「?」のワイルドカードを使用できます。
- ❒ バイナリーファイルを印刷する場合は -b オプションを付けてください。

ftp

印刷するファイル数に応じてputまたはmputコマンドを使います。

制限

- ❒ ファイル名に「=」、「,」、「_」および「;」は使用できません。ファイル名をオプション文字列と判断してしまいます。

❖ 印刷するファイルが1つの場合

```
ftp> put ファイル名 [オプション]
```

❖ 印刷するファイルが複数の場合

```
ftp> mput ファイル名 [ファイル名...]
```

制限

❒ mputコマンドではオプションを指定できません。

補足

❒ mputコマンドではファイル名に「*」や「?」のワイルドカードを使用できます。

ftpを起動してから印刷するまでの手順は次のようになります。

1 プリンターのIPアドレス（またはホスト名）を引数にしてftpコマンドを起動します。

```
% ftp プリンターのIPアドレス
```

補足

❒ ホスト名はインストールシェル実行時に入力したプリンターのホスト名です。

2 必要に応じてユーザー名を入力し、パスワードは何も入力しないでReturnキーを押します。

```
Name:
Password:
```

3 バイナリーファイルを印刷するときはファイルのモードをバイナリーモードにします。

```
ftp> bin
```

補足

❒ バイナリーファイルをアスキーモードで印刷すると、印刷データが変更され正しく印刷されないことがあります。

4 印刷するファイルを指定します。

補足

- ❒ file1という名前のファイルをRPCSで印刷する例

```
ftp> put file1 filetype=RCS
```

- ❒ file1とfile2という名前のファイルを印刷する例

```
ftp> mput file1 file2
```

5 ftpを終了します。

```
ftp> bye
```

オプション指定

以下に示すオプションを使うことにより、プリンター固有の機能を使った印刷ができます。

制限

- ❒ プリンターが認識できるオプション文字列は最大512バイトです。
- ❒ PostScript 3をご使用の場合のオプション文字列は、最大256バイトです。
- ❒ OSによってはオプションとして入力できる文字数に制限があります。オプションの省略形を使っても文字数の制限を超えてしまう場合は、プリンターのプログラム登録を使ってください。

補足

- ❒ 複数のオプションを指定するときはカンマ（,）で区切って入力します。
- ❒ Solaris2.6以上でオプションを指定するときはイコール（=）の代わりにアンダーライン（_）を使用します。複数のオプションを指定するときはカンマ（,）の代わりにセミコロン（;）を使用します。
- ❒ 印刷するファイルの中にオプション指定を制御するコマンドが含まれている場合は、その内容が優先します。
- ❒ lprで印刷するときのオプションはインストールシェル実行時に入力します。一度設定したオプションを変更する方法については、P.190「オプション指定の変更方法」を参照してください。
- ❒ イコール（=）を含まないオプションを単独で指定するときは、オプションの先頭にカンマ（,）を追加します。

エミュレーションとプログラム

印刷時に使用するエミュレーションまたはプログラムを指定します。

filetype（またはfil）=エミュレーションの指定値（またはプログラム登録番号の指定値）

エミュレーション	RPCS	RPDL	R98	R16	R55	RP-GL/2	PostScript 3	RTIFF
指定値	RCS	R00	R98	R16	R55	RGL	RPS	RTF

*搭載していないエミュレーションは指定しても無効です。

プログラム登録番号	プログラム 1	プログラム 2	プログラム 3	プログラム 4	プログラム 5	プログラム 6	プログラム 7	プログラム 8
指定値	P01	P02	P03	P04	P05	P06	P07	P08
プログラム登録番号	プログラム 9	プログラム 10	プログラム 11	プログラム 12	プログラム 13	プログラム 14	プログラム 15	プログラム 16
指定値	P09	P10	P11	P12	P13	P14	P15	P16

* プログラム機能のない機種の場合は無効です。

PostScript 3で印刷する場合のコマンド例は次のとおりです。（プリンターのホスト名ricoh、ファイル名file1）

```
<rsh>   % rsh ricoh print filetype=RPS < file1
<rcp>   % rcp file1 ricoh:filetype=RPS
<ftp>   ftp> put file1 filetype=RPS
```

cdコマンドによるオプションの指定

ftpで印刷する場合は、cdコマンドを使ってオプションを指定することができます。これにより、putまたはmputコマンド使用時にそのオプションが有効になります。

```
ftp> cd オプション
```

補足

❒ 現在設定されているオプションを表示するにはpwdコマンドを使います。

```
ftp> pwd
```

漢字フィルター

漢字フィルターを使用すると、作成したテキストファイルと同じ漢字コードで印刷できます。

制限

- ❒ エミュレーションが RPDL のときだけ有効です。漢字フィルターを指定するときはエミュレーションとして RPDL（filetype=R00）を指定します。

filter（またはflt）=漢字コードの指定値

漢字コード	EUC	JIS	シフトJIS
指定値（省略値）	EUC（E）	JIS（J）	SJIS（S）

EUC　漢字コードのテキストファイルを印刷する場合のコマンド例は次のとおりです。（プリンターのホスト名ricoh、ファイル名file1）

```
<rsh>   % rsh ricoh print filetype=R00,filter=EUC < file1
<rcp>   % rcp file1 ricoh:filetype=R00,filter=EUC
<ftp>   ftp> put file1 filetype=R00,filter=EUC
```

給紙トレイ

給紙トレイを指定します。

制限

- ❒ エミュレーションがRPDLまたはPostScript 3のときだけ有効です。
- ❒ 増設していないトレイを指定しても無効です。

❖ RPDL
tray=給紙トレイの指定値

給紙トレイ	給紙トレイ1	給紙トレイ2	給紙トレイ3	マルチトレイ	手差しトレイ（マルチ）
指定値	1	2	3	M	T

補足

- ❒ 給紙トレイの指定値はプリンター情報（例:ftpのls info）で得られる給紙トレイ番号に対応しています。プリンター情報については、使用説明書＜システム設定編＞の「付録」を参照してください。

給紙トレイ2の用紙に印刷する場合のコマンド例は次のとおりです。（プリンターのホスト名ricoh、ファイル名file1）

```
<rsh>   % rsh ricoh print tray=2 < file1
<rcp>   % rcp file1 ricoh:tray=2
<ftp>   ftp> put file1 tray=2
```

❖ PostScript 3
tray=給紙トレイの指定値

給紙トレイ	給紙トレイ1	給紙トレイ2	給紙トレイ3	手差しトレイ（マルチ）	自動トレイ選択
指定値	tray1	tray2	tray3	bypass	all

トレイ2の用紙に印刷する場合のコマンド例は次のとおりです。（プリンターのホスト名ricoh、ファイル名file1）

```
<rsh>   % rsh ricoh print tray=tray2 < file1
<rcp>   % rcp file1 ricoh:tray=tray2
<ftp>   ftp> put file1 tray=tray2
```

用紙サイズ

用紙サイズを指定します。

制限

- ❒ エミュレーションがRPDLまたはPostScript 3のときだけ有効です。
- ❒ 存在しない用紙サイズは指定しても無効です。

paper=用紙サイズの指定値

RPDLの指定値
A3R（A3横）、A4（A4縦）、A4R（A4横）、A5（A5縦）、A5R（A5横）、A6RまたはA6（A6横）、B4R（B4横）、B5（B5縦）、B5R（B5横）、B6RまたはB6（B6横）、DLRまたはDLT（11×17横）、LTR（Letter横）、LT（Letter縦）、HLR（5 1/2×8 1/2横）、HLT（5 1/2×8 1/2縦）、LGRまたはLG（Legal横）、PCR（はがき横）

PostScript 3の指定値
a3（A3）、a4（A4）、a5（A5）、a6（A6）、jisb4（B4）、jisb5（B5）、jisb6（B6）、ledger（11×17）、letter（8 1/2×11）、halfletter（5 1/2×8 1/2）、legal（8 1/2×14）、jpost（はがき）、custom（不定形サイズ）

A3の用紙に印刷する場合のRPDLでのコマンド例は次のとおりです。（プリンターのホスト名ricoh、ファイル名file1）

```
<rsh>   % rsh ricoh print paper=A3R < file1
<rcp>   % rcp file1 ricoh:paper=A3R
<ftp>   ftp> put file1 paper=A3R
```

用紙種類

用紙の種類を指定します。

制限

- ❒ エミュレーションがPostScript 3のときだけ有効です。
- ❒ 存在しない用紙種類は指定しても無効です。

mediatype=用紙種類の指定値

指定値
plain（普通紙）、letterhead（レターヘッド付き用紙）、transparency（OHP フィルム）、labels（ラベル）、recycled（再生紙）、color（色紙）、special（特殊紙）、thick（厚紙）、plainduplexbackside（普通紙裏面印刷）、thickduplexbackside（厚紙裏面印刷）

再生紙の用紙に印刷する場合のコマンド例は次のとおりです。（プリンターのホスト名ricoh、ファイル名file1）

```
<rsh>   % rsh ricoh print mediatype=recycled < file1
<rcp>   % rcp file1 ricoh:mediatype=recycled
<ftp>   ftp> put file1 mediatype=recycled
```

排紙トレイ

排紙トレイを指定します。

制限

- ❒ エミュレーションがRPDLまたはPostScript 3のときだけ有効です。
- ❒ 存在しないトレイは指定しても無効です。

❖ RPDL

bin=排紙トレイの指定値

補足

- ❒ 排紙トレイの指定値はプリンター情報（例:ftpのls info）で得られる排紙トレイ番号に対応しています。プリンター情報については、使用説明書＜システム設定編＞の「付録」を参照してください。
- ❒ 排紙トレイ番号以外にアルファベットで指定することもできます。詳しくは使用説明書＜システム設定編＞「付録」を参照してください。

排紙トレイ番号 2 のトレイに排紙する場合のコマンド例は次のとおりです。（プリンターのホスト名 ricoh、ファイル名file1）

```
<rsh>   % rsh ricoh print bin=2 < file1
<rcp>   % rcp file1 ricoh:bin=2
<ftp>   ftp> put file1 bin=2
```

❖ PostScript 3
outbin=排紙トレイの指定値

排紙トレイ	本体排紙トレイ	500枚フィニッシャー排紙トレイ	４ビンプリントポスト 上トレイ1〜4
指定値	upperまたはoptionaloutputbin1	finishershift	optionaloutputbin2〜5

４ビンプリントポスト　上トレイ1に排紙する場合のコマンド例は次のとおりです。（プリンターのホスト名ricoh、ファイル名file1）

```
<rsh>   % rsh ricoh print outbin=optionaloutputbin2 < file1
<rcp>   % rcp file1 ricoh:outbin=optionaloutputbin2
<ftp>   ftp> put file1 outbin=optionaloutputbin2
```

印刷部数

印刷部数を指定します。

制限

- ❒ エミュレーションがRPDLまたはPostScript 3のときだけ有効です。
- ❒ 漢字フィルターを指定すると、印刷部数の指定は無効になります。
- ❒ PostScript 3の場合、「qty」と同時に指定しないでください。

copies=印刷部数（1〜999）

10部印刷する場合のコマンド例は次のとおりです。（プリンターのホスト名ricoh、ファイル名file1）

```
<rsh>   % rsh ricoh print copies=10 < file1
<rcp>   % rcp file1 ricoh:copies=10
<ftp>   ftp> put file1 copies=10
```

ソート部数

ソートする印刷部数を指定します。

制限

- ❒ エミュレーションがPostScript 3のときだけ有効です。
- ❒「copies」と同時に指定しないでください。

qty=ソート部数（1〜999）

10部ソートして印刷する場合のコマンド例は次のとおりです。（プリンターのホスト名ricoh、ファイル名file1）

```
<rsh>   % rsh ricoh print qty=10 < file1
<rcp>   % rcp file1 ricoh:qty=10
<ftp>   ftp> put file1 qty=10
```

両面印刷

用紙の両面に印刷できます。

制限

- ❒ エミュレーションがRPDLまたはPostScript 3のときだけ有効です。
- ❒ プリンター側にオプションの両面印刷ユニットが必要です。

❖ RPDL

```
bothside または bothleft （左とじ）
bothright （右とじ）
flip （上とじ）
singleside （両面印刷の解除:片面印刷）
```

補足

- ❒ 印刷オプションに漢字フィルターを指定している場合、両面印刷されないことがあります。このようなときは、漢字フィルターの指定をしないでください。
- ❒ 印刷データによって印刷したあと両面印刷が解除されないことがあります。次の印刷時にも両面印刷されるときはsinglesideを指定してください。

左とじで両面印刷する場合のコマンド例は次のとおりです。（プリンターのホスト名ricoh、ファイル名file1）

```
<rsh>   % rsh ricoh print bothside < file1
<rcp>   % rcp file1 ricoh:bothside
<ftp>   ftp> put file1 bothside
```

❖ PostScript 3

duplex=両面印刷の指定値,binding=とじ位置の指定値

両面印刷	する	しない
指定値	on	off

とじ方向	左とじ	上とじ	右とじ	短辺でとじる	長辺でとじる
指定値	left	top	right	shortedge	longedge

両面印刷でとじ位置を長辺にする場合のコマンド例は次のとおりです（プリンターのホスト名ricoh、ファイル名file1）。

```
<rsh>   % rsh ricoh print duplex=on,binding=longedge < file1
<rcp>   % rcp file1 ricoh:duplex=on,binding=longedge
<ftp>   ftp> put file1 duplex=on,binding=longedge
```

ステープル

印刷物をステープルでとじるときに指定します。

制限

- ❒ **エミュレーションがPostScript 3のときだけ有効です。**
- ❒ **プリンター側にオプションの500枚フィニッシャーが必要です。**
- ❒ **ステープル位置は、画像に対する位置を指定します。**

staple=ステープル位置の指定値

ステープル位置	左上1ヵ所	右上1ヵ所
指定値	lefttop	righttop

左上1ヵ所をステープルでとじる場合のコマンド例は次のとおりです。（プリンターのホスト名ricoh、ファイル名file1）

```
<rsh>   % rsh ricoh print staple=lefttop < file1
<rcp>   % rcp file1 ricoh:staple=lefttop
<ftp>   ftp> put file1 staple=lefttop
```

参照

とじ位置の詳細については、P.276「ステープルについて」を参照してください。

オプション指定の変更方法

lprで印刷するときにはインストールシェル実行時に指定したオプションが使われます。一度設定したオプションを変更したい場合は、使用しているワークステーションに応じて次のように操作します。

❖ BSD系UNIXワークステーション

/etc/printcapから変更するプリンターのエントリーを削除し、インストールシェルを使ってもう一度セットアップします（(⇒ P.166)）。セットアップの際に、新しいオプションを指定します。
または、/etc/printcapから変更するプリンターのエントリーを探し、そのrpケーパビリティを新しいオプション指定に変更します（⇒ P.171 「/etc/printcapへのエントリーの追加」）。

❖ Solaris、HP-UX

変更するプリンターのエントリーを削除し、インストールシェルを使ってもう一度セットアップします（⇒ P.166 「インストールシェルの実行」）。セットアップの際に、新しいオプションを指定します。プリンターのエントリーを削除するには、以下のように操作します。

① スケジューラを停止します。

```
# /usr/sbin/lpshut
```

② プリンターを削除します。

```
# /usr/sbin/lpadmin -x プリンターの名前
```

③ スケジューラを再起動します。

```
# /usr/lib/lp/lpsched
```

プリンターの状態表示

BSD系UNIXワークステーションの場合、以下のコマンドを使ってプリンターの状態や情報を表示したりファイルにコピーすることができます。

表示する場合

lpqコマンドを使ってプリンターの状態（ステータス）とプリントジョブ情報を表示できます。

```
% lpq -Pプリンター名
```

rshコマンドまたはftpを使って、指定したパラメータに応じた内容を表示できます。

```
% rsh プリンターのホスト名 パラメータ
```

```
% ftp プリンターのホスト名
User: ユーザー名
password:
ftp> get パラメータ -
```

rsh、rcp、ftpで指定できるパラメータには次の種類があります。

パラメータ	表示またはコピーできる内容	参照先
stat	プリンターの状態（ステータス）	⇒使用説明書<システム設定編>「付録」
	印刷ジョブの情報（プリントジョブ情報）	
info	給紙トレイ、排紙トレイ、搭載しているエミュレーション	
prnlog	これまでに印刷した16件分の記録（プリントログ情報）	
syslog	イーサネットボードに関して発生したメッセージの記録（システムログ情報）	

ファイルにコピーする場合

rcpコマンドまたはftpを使って、指定したパラメータに応じた内容をファイルにコピーできます。

補足

- ❒ パラメータの種類は表示する場合と同じです。

```
% rcp プリンターのホスト名：パラメータ ファイル名
```

```
% ftp プリンターのホスト名
User: ユーザー名
password:
ftp> get パラメータ ファイル名
```

NetWareのプリントサーバーを使用する場合のクライアント側のセットアップ方法を説明します。

補足

- ここでの説明はクライアントにNetWareクライアントソフトウェアがインストールされ、NetWareのサーバーと正しく通信できる環境に設定されていることを前提にしています。設定されていない場合は、クライアント側に必要なソフトウェアを組み込んでからセットアップを行ってください。
- 操作例は次の条件で設定しています。
  - NetWareのバージョン…4.1J
  - ファイルサーバーの名前…CAREE
  - キューの名前…R-QUEUE

Windows 95/98/Me のセットアップ

プリンタードライバーをインストールしたあと、印刷先のポートをNetWareのキューに変更します。

操作の前に

NetWareのファイルサーバーにログインした状態で操作してください。

1 P.37「パラレルインターフェースを使う」を参照して、RPCSプリンタードライバーを「ローカルポート」を指定してインストールします。

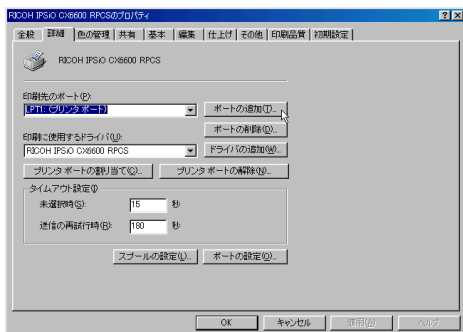
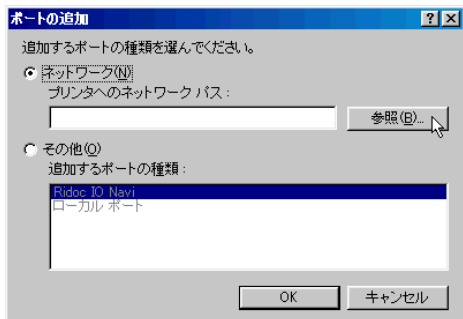
補足

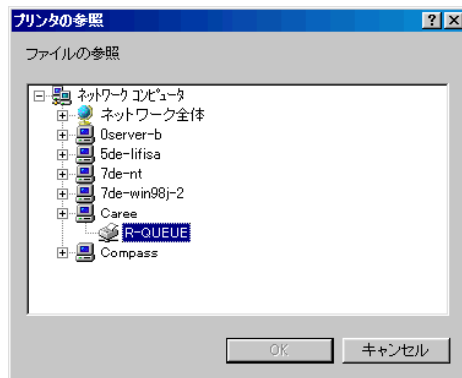
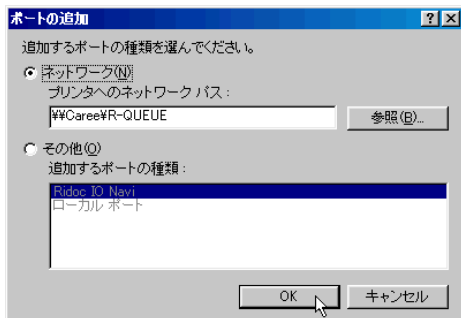
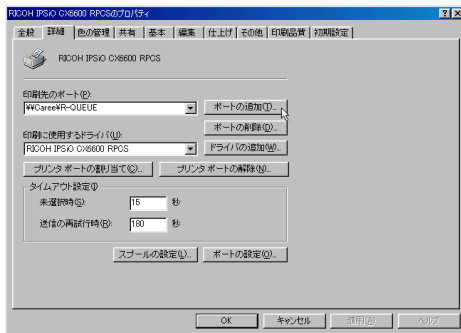
- インストールの途中でプリンターが使用するポートを選択しますが、どのポートを選んでもかまいません。通常は「LPT1」を選んでください。

2 [スタート] ボタンをクリックし、[設定] をポイントし、[プリンタ] をクリックします。

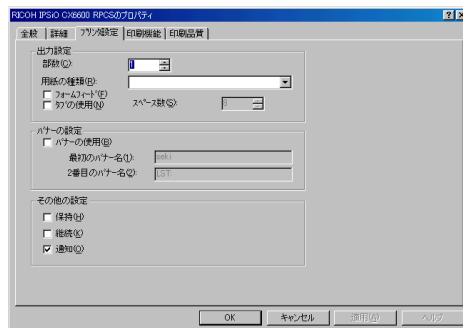
3 [プリンタ] ウィンドウで、印刷するプリンターのアイコンをクリックして反転表示させ、[ファイル] メニューの [プロパティ] をクリックします。

4 ［詳細］タブをクリックし、［ポートの追加］をクリックします。

5 ［ネットワーク］をクリックし、［参照］をクリックします。

6 ネットワークツリー上で、NetWareのファイルサーバーの名前をダブルクリックします。

作成されているキューが展開されます。

7 印刷するキューをクリックして反転表示させ、［OK］をクリックします。

8 [OK] をクリックします。

[印刷先のポート] ボックスにプリンターへのネットワークパスが入力されます。

9 [OK] をクリックしてプリンターのプロパティを閉じたあと、もう一度プリンターのプロパティを開きます。

10 [プリンタ設定] タブをクリックします。

11 [フォームフィード] と [バナーの使用] のチェックを両方とも外します。

補足

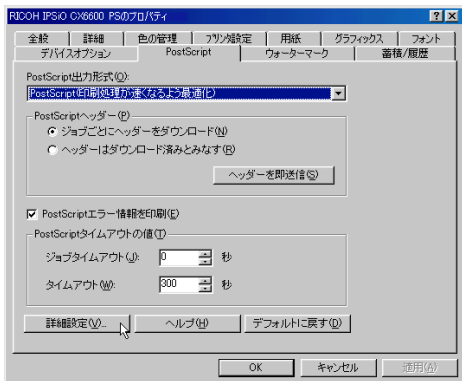
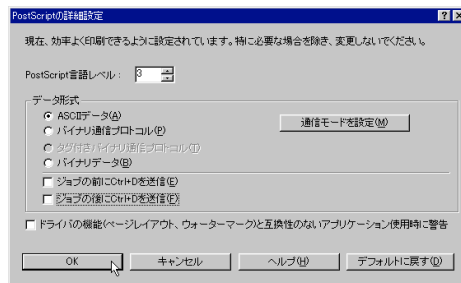
- ❒ Windowsのプリンタードライバーで改ページの制御を行っているので、フォームフィード（用紙送り）をNetWare上で設定する必要はありません。設定していると正しく印刷できない場合があります。

PostScript印刷するとき

PostScript 3を含んだモジュールを使ってPostScript印刷するときは、次の設定をします。

❶ ［OK］をクリックしてプリンターのプロパティを閉じたあと、もう一度プリンターのプロパティを開きます。

❷ ［PostScript］タブをクリックします。

❸ ［詳細設定］をクリックします。

❹ ［ジョブの前にCtrl+Dを送信］と［ジョブの後にCtrl+Dを送信］のチェックを両方とも外し、［OK］をクリックします。

⓬ ［OK］をクリックし、プロパティを閉じます。

Windows 2000 のセットアップ

操作の前に

NetWareのファイルサーバーにログインした状態で操作してください。

1 P.53「プリントサーバーを使う場合」を参照して、Ridoc IO Naviをインストールし、RPCSプリンタードライバーを「ネットワークプリンタ」を指定してインストールします。

2 [スタート] ボタンをクリックし、[設定] をポイントし、[プリンタ] をクリックします。

[プリンタ] ウィンドウが表示されます。

3 追加したプリンターのアイコンをクリックして反転表示させ、[ファイル] メニューの [プロパティ] をクリックします。

プリンターのプロパティが表示されます。

制限

- [プリンタ] フォルダでプリンタープロパティを変更するには、「プリンタの管理」のアクセス権が必要です。AdministratorsまたはPowerUsersグループのメンバーとしてログオンしてください。

4 ［NetWare設定］タブをクリックします。

5 ［フォームフィード］と［バナーの使用］のチェックを両方とも外し、［OK］をクリックします。

補足

❒ Windowsのプリンタードライバーで改ページの制御を行っているので、フォームフィード（用紙送り）をNetWare上で設定する必要はありません。設定していると正しく印刷できない場合があります。

PostScript印刷するとき

PostScript 3を含んだモジュールを使ってPostScript印刷するときは、次の設定をします。

❶ ［デバイスの設定］タブをクリックします。

❷ [ジョブの前にCtrl+Dを送信] と [ジョブの後にCtrl+Dを送信] で [いいえ] を選択し、[OK] をクリックします。

6 [OK] をクリックし、プリンターのプロパティを閉じます。

Windows NT 4.0 のセットアップ

操作の前に

NetWareのファイルサーバーにログインした状態で操作してください。

1 P.126「プリントサーバーを使う場合」を参照して、Ridoc IO Naviをインストールし、RPCSプリンタードライバーを「ネットワークプリンタ」を指定してインストールします。

2 [スタート] ボタンをクリックし、[設定] をポイントし、[プリンタ] をクリックします。

[プリンタ] ウィンドウが表示されます。

3 追加したプリンターのアイコンをクリックして反転表示させ、[ファイル] メニューの [プロパティ] をクリックします。

プリンターのプロパティが表示されます。

制限

❒ [プリンタ] フォルダでプリンタープロパティを変更するには、「フルコントロール」のアクセス権が必要です。Administrators または PowerUsersグループのメンバーとしてログオンしてください。

4 [NetWare設定] タブをクリックします。

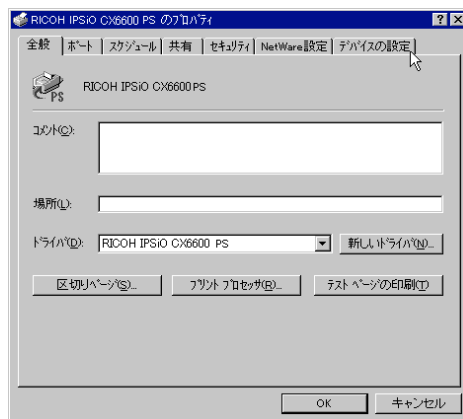
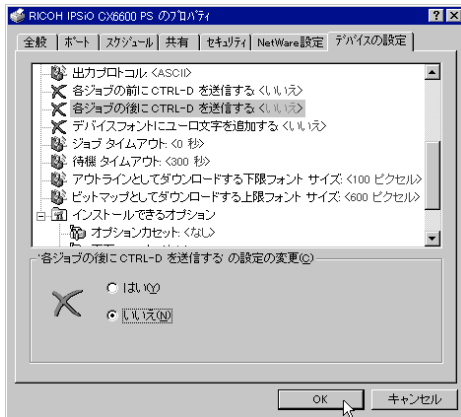
5 ［フォームフィード］と［バナーの使用］のチェックを両方とも外し、［OK］をクリックします。

補足

❒ Windowsのプリンタードライバーで改ページの制御を行っているので、フォームフィード（用紙送り）をNetWare上で設定する必要はありません。設定していると正しく印刷できない場合があります。

PostScript印刷するとき

PostScript 3を含んだモジュールを使ってPostScript印刷するときは、次の設定をします。

❶ ［デバイスの設定］タブをクリックします。

❷ [ジョブの前にCtrl+Dを送信する] と [ジョブの後にCtrl+Dを送信する] で [いいえ] をチェックし、[OK] をクリックします。

6 [OK] をクリックし、プリンターのプロパティを閉じます。

ファイル一覧

CD-ROM	SETUP.EXE Windows 95/98/Me、Windows 2000、Windows XP/Server 2003、Windows NT 4.0で動作する、プリンタードライバーやユーティリティのインストーラーです。何らかの要因でオートランが働かない場合は、このプログラムを起動します。			
	DRIVERS ⇒ P.205	RPCS	WIN9X_ME	Windows 95/98/Me用プリンタードライバー
			NT4	Windows NT 4.0用プリンタードライバー
			WIN2K_XP	Windows 2000、Windows XP/Server 2003用プリンタードライバー
		USBPRINT	WIN98ME	USB Printing Supportドライバー
	NETWORK	RIDOCIO	NAVI ⇒ P.209	Ridoc IO Navi
			ADMIN ⇒ P.207	Ridoc IO Admin
	UTILITY	RIDOCDSK ⇒ P.212	Ridoc Desk 2000 Lt	
		1394 ⇒ P.214	拡張1394ボード（オプション用）ツール	
	ICM	プリンター用カラープロファイルデータ		
	FONTS ⇒ P.215	WIN95NT	TrueTypeWorld Windows 版	
	MANUAL ⇒ P.222	JAPANESE	各種マニュアル（PDFファイル）	
	HELP ⇒ P.222	WSMHLP	JA	Webブラウザによる管理（日）
			EN	Webブラウザによる管理（英）

CD-ROMの内容は次の手順で見ることができます。

1 本機に付属のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブにセットします。

インストーラーが起動します。

補足

- システムの設定によってはインストーラーが自動的に起動しないことがあります。その場合は、CD-ROMのルートディレクトリにある「SETUP.EXE」をダブルクリックして起動してください。

2 ［CDの中身を見る］をクリックします。

エクスプローラーが起動し、CD-ROMの内容が表示されます。

プリンタードライバー

プリンタードライバーは、Windowsから印刷するために必要なソフトウェアです。印刷するためには、必ずインストールする必要があります。

❖ **ファイル格納場所**
付属のCD-ROM内の次のフォルダに格納されています。

- Windows 95/98/Me用プリンタードライバー

  DRIVERS\RPCS\WIN9X_ME

  ❒ Windows 98/Me用のプリンタードライバーは、Windows 95用と共通です。

- Windows 2000、Windows XP/Server 2003用プリンタードライバー

  DRIVERS\RPCS\WIN2K_XP

- Windows NT 4.0用プリンタードライバー

  DRIVERS\RPCS\NT4

❖ プリンタードライバーの動作環境

- **パソコン**
  対象OSが問題なく動作する、PC/AT互換機、NEC PC-9821シリーズ

制限

❒ Windows NTで使用する場合、RISCベースのプロセッサ（MIPS Rシリーズ、Alpha AXP、Power PC）環境では動作しません。

- **対象OS**
  Microsoft Windows 95 日本語版
  Microsoft Windows 98 日本語版
  Microsoft Windows Me 日本語版
  Microsoft Windows 2000 Server 日本語版
  Microsoft Windows 2000 Advanced Server 日本語版
  Microsoft Windows 2000 Professional 日本語版
  Microsoft Windows XP Home Edition 日本語版
  Microsoft Windows XP Professional 日本語版
  Microsoft Windows Server 2003 日本語版
  Microsoft Windows NT Server 4.0 日本語版
  Microsoft Windows NT Workstation 4.0 日本語版
- **ディスプレイ解像度**
  800×600ドット以上

Ridoc IO Admin

Ridoc IO AdminはTCP/IPプロトコル、IPX/SPXプロトコルを使ってネットワーク上のプリンターを監視するソフトウェアです。IPアドレスを持つ複数のネットワークプリンターの管理が可能です。ネットワーク管理者の方がお使いになることをお勧めします。

❖ ファイル格納場所

付属のCD-ROM内の次のフォルダに格納されています。

NETWORK\RIDOCIO\ADMIN

対象OS	プロトコルスタック
Microsoft Windows 95/98/Me 日本語版	Windows 95/98/Meに付属のTCP/IPプロトコル Windows 95/98/Meに付属のIPX/SPX互換プロトコル Windows 95/98/Meに付属のNetWare ネットワーククライアント NetWare Client32 for Windows 95 IntranetWare Client for Windows 95 Novell Client for Windows 95/98
Microsoft Windows 2000 日本語版	Windows 2000に付属のTCP/IPプロトコル Windows 2000に付属のIPX/SPXトランスポート Windows 2000に付属のNetWare用クライアント
Microsoft Windows XP/Server 2003 日本語版	Microsoft Windows XP/Server 2003に付属のTCP/IPプロトコル Microsoft Windows XP/Server 2003に付属のIPX/SPXトランスポート Microsoft Windows XP/Server 2003に付属のNetWare用クライアント

対象OS	プロトコルスタック
Microsoft Windows NT 4.0 日本語版	Windows NT 4.0に付属のTCP/IPプロトコル Windows NT 4.0に付属のIPX/SPX互換プロトコル Windows NT 4.0に付属のClient Service for NetWare NetWare Client32 for Windows NT IntranetWare Client for Windows NT Novell Client for Windows NT/2000

補足

❒ プロトコルスタックは、ご使用のOSに最適なものを選択してください。

❖ どんなことができるのか？

Ridoc IO Adminでは以下の操作ができます。

- 機器の操作パネルからの設定を制限し、一部の項目を変更できないようにします。
- 機器にセットされている用紙の種類を設定できます。
- 省エネモードへの切り替え、復帰などを設定できます。
- 印刷中、用紙切れなどの情報をパソコン上で確認できます。
- 同時に複数のプリンターを監視できます。プリンターの台数が多いときはグループを作り、管理しやすいようにプリンターを分類できます。
- プリンター本体のネットワークに関する設定や、装備に関する詳しい情報を確認できます。
- プリンターで印刷したページ数をユーザーコード別に確認できます。
- パソコンから行ったジョブの結果を確認できます。
- ユーザーコードを使った各ユーザーごとの印刷枚数を確認できます。

参照

管理者向けの操作については、使用説明書＜システム設定編＞「Ridoc IO Adminを使う」を参照してください。

Ridoc IO Adminの使いかたについては、ヘルプを参照してください。

Ridoc IO Navi

Ridoc IO Naviは以下のような機能を備えたソフトウェアです。プリンターをご使用になるすべての方がインストールされることをお勧めします。

- Windows 95/98/Me、Windows 2000、Windows XP/Server 2003、Windows NT 4.0からTCP/IPプロトコル、NetBEUI、IPPを使用して、Peer-to-Peerネットワークで印刷する機能を提供します。
- TCP/IPプロトコル、IPX/SPXプロトコルを使用してネットワークにある機器の状態を常に監視できる機能を提供します。

❖ ファイル格納場所

付属のCD-ROM内の次のフォルダに格納されています。

`NETWORK\RIDOCIO\NAVI`

対象OS	プロトコルスタック
Microsoft Windows 95/98/Me 日本語版	Windows 95/98/Meに付属のTCP/IPプロトコル Windows 95/98/Meに付属のNetBEUIプロトコル Windows 95/98/Meに付属のIPX/SPXプロトコル NetWare Client32 for Windows 95 Intranetware Client for Windows 95 Novell Client for Windows 95/98
Microsoft Windows 2000 日本語版	Windows 2000に付属のTCP/IPプロトコル Windows 2000に付属のNetBEUIプロトコル Windows 2000に付属のIPX/SPXトランスポート
Microsoft Windows XP/Server 2003 日本語版	Microsoft Windows XP/Server 2003に付属のTCP/IPプロトコル Microsoft Windows XP/Server 2003に付属のIPX/SPXトランスポート Microsoft Windows XP/Server 2003に付属のNetWare用クライアント

対象OS	プロトコルスタック
Microsoft Windows NT 4.0 日本語版	Windows NT 4.0に付属のTCP/IPプロトコル Windows NT 4.0に付属のNetBEUIプロトコル Windows NT 4.0に付属のIPX/SPXトランスポート NetWare Client for Windows NT Intranetware Client for Windows NT Novell Client for Windows NT/2000

 補足

❒ プロトコルスタックは、ご使用のOSに最適なものを選択してください。

❖ どんなことができるのか？

Ridoc IO Naviでは以下の操作ができます。

- Peer-to-Peerプリント機能
  - プリントサーバが無くても、直接ネットワークプリンターに印刷できます。
  - 指定したプリンターにジョブがたまっていたり、エラーが発生して印刷できないとき、代わりのプリンターに印刷できます（代行印刷）。
  - 複数部数の印刷を複数のプリンターに割り振って印刷できます（並行印刷）。
  - 並行/代行印刷に指定するプリンターをあらかじめグループ登録できます。
- プリンター本体のネットワークに関する設定や、装備に関する詳しい情報を確認できます。
- 印刷データを転送中または印刷中に指定したプリンターにエラーが発生した場合、エラーメッセージを通知させることができます。
- 機器監視機能
  - 印刷中、用紙切れなど機器の情報をパソコン上で確認できます。
  - 複数台の機器を使い分けているときは、それらを同時に監視できます。
  - 機器のネットワークに関する設定や、装備に関する詳しい情報を確認できます。
  - ユーザー IDを使ったジョブの履歴を確認できます。
- 印刷が完了したときに、[印刷通知] ウィンドウを表示して、印刷の完了を通知することができます。また代行印刷したときだけ表示させるなど、印刷条件により通知するかどうかを設定することができます。

制限

- ❒ 代行印刷 / 並行印刷するプリンターと印刷指示をするプリンターのオプション構成を一致させてください。印刷に必要なオプション（例えばオプションの給紙テーブルなど）が代行プリンターに装着されていない場合、オプションを使用する機能は無効になります。
- ❒ 代行印刷 / 並行印刷するプリンターと印刷指示をするプリンターに同じサイズの用紙をセットしてください。特定の給紙トレイを指定して印刷するときは、同じトレイに同じサイズの用紙をセットしてください。
- ❒ 代行印刷 / 並行印刷するプリンターと印刷指示をするプリンターの機種や装備が違う場合、印刷結果が同じにならないことがあります。
- ❒ 試し印刷や機密印刷をする場合、代行印刷/並行印刷はできません。

参照

Ridoc IO Naviの使いかたについては、ヘルプを参照してください。

Ridoc Desk 2000 Lt

Ridoc Desk 2000 Ltは、アプリケーションソフトで作成したファイル、スキャナで入力した画像データ、既存のイメージファイルなど、多様なデータを1つの文書として管理・印刷することができます。

Ridoc Desk 2000 Ltのインストールと同時にJob Binder機能もインストールされます。Job Binder機能では、複数のアプリケーションで作成したファイルやRidoc Desk 2000 Lt文書を、Ridoc Desk 2000 LtのJobBinderフォルダに保存しておき、1つの文書として印刷したり、プレビュー機能で仕上がり状態を確認しながら保存した印刷データを後でステープル、両面などの指示をかけて印刷することができます。また、印刷する順番を後で変更することもできます。

❖ ファイル格納場所

付属のCD-ROM内の次のフォルダに格納されています。

`UTILITY\RIDOCDSK`

❖ Ridoc Desk 2000 Ltの動作環境

- **パソコン**
  対象OSが問題なく動作するPC/AT互換機

  制限

  ❒ NEC PC-9800シリーズ、PC-9821シリーズ、PC98-NXシリーズでは動作しません。

  ❒ Windows NTで使用する場合、RISCベースのプロセッサ（MIPS Rシリーズ、Alpha AXP、Power PC）環境では動作しません。

- **対象OS**
  Microsoft Windows 95 OSR2以上 日本語版
  Microsoft Windows 98、98SE 日本語版
  Windows Me 日本語版
  Windows 2000 Professional 日本語版（Service Pack 1以上）
  Windows 2000 Server 日本語版（Service Pack 1以上）
  Windows 2000 AdvancedServer 日本語版

Windows XP Home Edition 日本語版
Windows XP Professional 日本語版
Windows NT WorkStation 4.0 日本語版（Service Pack 5以上）
Windows NT Server 4.0 日本語版（Service Pack 5以上）

- **ディスプレイ解像度**
  SVGA　800×600ドット以上

参照

Ridoc Desk 2000 Ltの使い方については、ヘルプを参照してください。

拡張 1394 ボード（オプション）用ツール

オプションの拡張1394ボード用ツールです。詳しくはReadmeファイルまたは拡張1394ボードに付属の使用説明書を参照してください。

❖ **ファイル格納場所**
付属のCD-ROM内の次のフォルダに格納されています。

UTILITY\1394

❖ **対象OS**
Microsoft Windows 2000日本語版
Windows XP Home Edition 日本語版
Windows XP Professional 日本語版
Windows Server 2003 日本語版

TrueTypeWorld

❖ **ファイル格納場所**
付属のCD-ROM**内の次のフォルダに格納されています。**

- TrueTypeWorld Windows 95**版**

  FONTS\WIN95NT

参照
インストール対象のOS**については、**P.218 **「基本仕様」****を参照してください。**

❖ 書体見本

以下のTrueTypeフォント20書体が収録されています。

羽衣L
愛の広がる美しいフォント

羽衣E
愛の広がる美しいフォント

高橋隷書体
愛の広がる美しいフォント

江戸文字勘亭流
愛の広がる美しいフォント

行刻
愛の広がる美しいフォント

半古印体
愛の広がる美しいフォント

行書体
愛の広がる美しいフォント

祥南行書体
愛の広がる美しいフォント

正楷書体
愛の広がる美しいフォント

創英角ポップ体
愛の広がる美しいフォント

創英丸ポップ体
愛の広がる美しいフォント

白洲ペン楷書体
愛の広がる美しいフォント

白洲行草書体
愛の広がる美しいフォント

白洲太楷書体
愛の広がる美しいフォント

平成角ゴシック体™ W3
愛の広がる美しいフォント

平成角ゴシック体™ W9
愛の広がる美しいフォント

平成丸ゴシック体™ W4
愛の広がる美しいフォント

平成丸ゴシック体™ W8
愛の広がる美しいフォント

平成明朝体™ W3
愛の広がる美しいフォント

平成明朝体™ W9
愛の広がる美しいフォント

各書体のフォント名、字母メーカーは以下のとおりです。

フォント名	書体名	字母メーカー名
HG～（注）	羽衣L	株式会社大谷デザイン研究所
HG～（注）	羽衣E	株式会社大谷デザイン研究所
HG～（注）	高橋隷書体	株式会社ブリッジ
HG～&HGP～＆HGS～	江戸文字勘亭流	株式会社晃文堂
HG～&HGP～＆HGS～	行刻	株式会社シイアンドジィ
HG～&HGP～＆HGS～	半古印体	株式会社シイアンドジィ
HG～&HGP～＆HGS～	行書体	株式会社リコー
HG～&HGP～＆HGS～	祥南行書体	有澤祥南
HG～&HGP～＆HGS～	正楷書体	日本活字工業株式会社
HG～&HGP～＆HGS～	創英角ポップ体	株式会社創英企画
HG～&HGP～＆HGS～	創英丸ポップ体	株式会社創英企画
HG～&HGP～＆HGS～	白洲ペン楷書体	日本書技研究所
HG～&HGP～＆HGS～	白洲行草書体	日本書技研究所
HG～&HGP～＆HGS～	白洲太楷書体	日本書技研究所
HG～&HGP～＆HGS～	平成角ゴシック体™ W3	（財）日本規格協会
HG～&HGP～＆HGS～	平成角ゴシック体™ W9	（財）日本規格協会
HG～&HGP～＆HGS～	平成丸ゴシック体™ W4	（財）日本規格協会
HG～&HGP～＆HGS～	平成丸ゴシック体™ W8	（財）日本規格協会
HG～&HGP～＆HGS～	平成明朝体 W3	（財）日本規格協会
HG～&HGP～＆HGS～	平成明朝体 W9	（財）日本規格協会

※フォント名の『～』の個所には書体名が入ります。『HG～』のみの場合は和文プロポーショナルに対応していません。

（注）Windows3.1のフォーマットで収録しています。

基本仕様

7,602文字（MS標準キャラクタセットに準拠、JIS漢字第一水準、第二水準を含む）

フォーマット/Microsoft Windows 95日本語版準拠のTrueType Collection形式（拡張子: ttc）

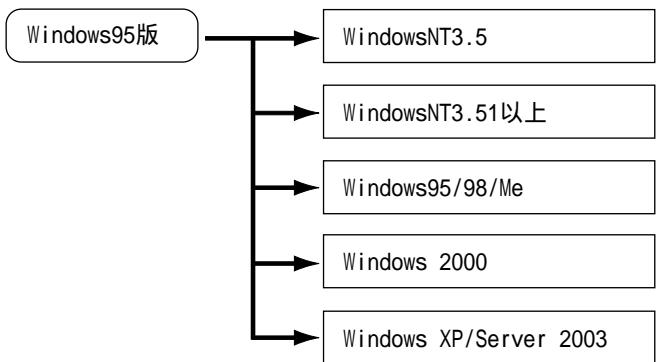
補足

- ❒ Windows 95以降で和文プロポーショナルフォントを使用できるようになります。
- ❒ フォントファイルに組み込まれたフォント情報によって書体表示名が異なります。

「HGP～」	半角文字・非漢字についてプロポーショナルピッチの情報を格納
「HGS～」	半角文字についてプロポーショナルピッチの情報を格納
「HG～」	固定ピッチ情報のみ格納

- ❒ 和文プロポーショナル機能を使用するには、TrueType Collectionに対応しているアプリケーションが必要です。
- ❒ 羽衣L、羽衣E、高橋隷書体は、Windows3.1版のフォーマットで収録されています。

❖ インストール対応図

Windows 95版は、以下のOSに対してインストールすることができます。

Windows へのインストール

ここでは、操作例としてWindows 95/98/Meへのインストール方法を説明しています。その他のOSへのインストール方法については、OSに付属の説明書を参照してください。

制限

- ❒ インストールされているフォント数が多いとシステムが不安定になる恐れがあります。
- ❒ リモートドライブ（ネットワーク上のドライブ）にインストールしないでください。アプリケーションからフォントを選択するときに他のフォントが見えなくなるなどの障害が発生する恐れがあります。

補足

- ❒ Windowsをインストールしたハードディスクに、1書体当たり約２～８MB（書体によって異なります）の空き容量が必要です。
- ❒ インストール後、フォント名は、Windows 95版フォントでは３つの書体名「HG～」、「HGP～」、「HGS～」と表示されます。たとえば「行書体」の場合、コントロールパネルのフォントフォルダの中では、フォント名が「HG行書体＆HGP行書体＆HGS行書体」と表示されます。

1. ［スタート］ボタンをクリックし、［設定］をポイントし、［コントロールパネル］をクリックします。
2. ［コントロールパネル］の［フォント］をダブルクリックします。
3. ［ファイル］メニューの［新しいフォントのインストール］をクリックします。
4. 本機に付属のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブにセットします。
5. ［ドライブ］ボックスのドロップダウンメニューからCD-ROMドライブを選択します。
6. ［フォルダ］ボックスで、［Fonts］→［Win95nt］の順にフォルダを開きます。
7. ［フォントの一覧］ボックスにフォント名が表示されるので、インストールするフォントをクリックして反転表示させます。

8 ［フォントフォルダにフォントをコピーする］に✓印が付いていることを確認し、［OK］をクリックします。

これでインストールは終了です。

オンラインマニュアル

本説明書をはじめとする、各種のオンラインマニュアルがPDFファイル形式、ヘルプファイル形式で収められています。

❖ **ファイル格納場所**
付属のCD-ROM内の次のフォルダに格納されています。

- **各種使用説明書**

  MANUAL\JAPANESE

- **Webブラウザによる管理**
  - **日本語版**

    HELP\WSMHLP\JA

  - **英語版**

    HELP\WSMHLP\EN

補足

❒ **Webブラウザによるイーサネットボードの設定方法がHTML形式で格納されています。**

❒ **Internet Explorer3.02以上またはNetscape Navigator3.0以上のWebブラウザを起動し、「index.html」を開いてお読みください。**

2 種類の操作画面

プリンタードライバーの設定画面は「機能別ウィンドウ」と「ワンクリック設定」の２つの表示タイプがあります。

本書では「機能別ウィンドウ」の画面例を使用しています。表示タイプの切り替え方について詳しくはヘルプの「プリンタードライバーのウィンドウタイプを切り替える」を参照してください。

❖ **機能別ウィンドウ**

印刷のたびに設定を変更することが多く、さまざまな印刷をする方に向いているウィンドウタイプです。

❖ **ワンクリック設定**

あまり印刷条件を変えず、いつも決まった印刷のしかたをする方に向いているウィンドウタイプです。

補足

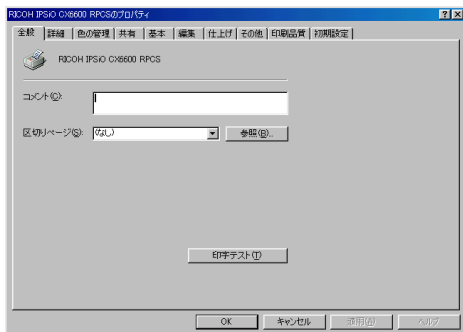
❒ **ワンクリック設定の表示はオプションの装着状態によって変化することがあります。**

Windows 95/98/Me の場合

プリンタードライバーの設定画面を表示する

Windows 95/98/Meには、プリンタードライバーの設定画面を表示させる方法が２種類あります。

❖ ［プリンタ］ウィンドウから表示させる

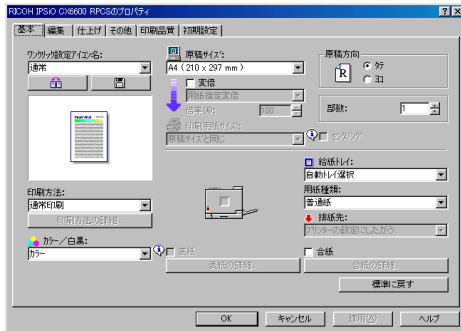
［プリンタ］ウィンドウからプリンターのプロパティを表示させると、［全般］または［情報］、［詳細］、［色の管理］、［共有］、［基本］、［編集］、［仕上げ］、［その他］、［印刷品質］、［初期設定］タブが表示されます。表示方法について詳しくはP.227「印刷の初期値を設定する」を参照してください。

［全般］または［情報］、［詳細］、［色の管理］、［共有］タブはWindows 95/98/Meが追加するタブで、Windows 95/98/Meの機能に関する設定を行います。

［基本］、［編集］、［仕上げ］、［その他］、［印刷品質］、［初期設定］タブはプリンタードライバーの印刷に関する設定を行うタブです。このタブで行った設定が、すべてのアプリケーションで印刷するときの設定の初期値になります。

制限

- ❒ Windows 95をお使いの場合、［色の管理］タブは表示されません。

❖ アプリケーションから表示させる

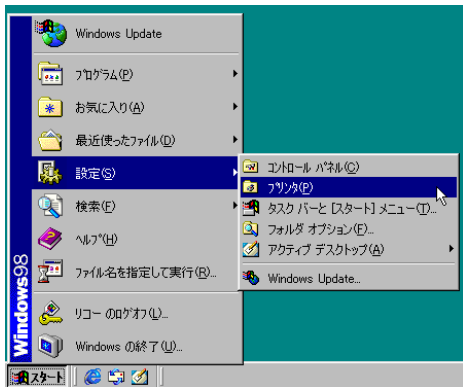
アプリケーションからプリンターのプロパティを表示させると、[基本]、[編集]、[仕上げ]、[その他]、[印刷品質]、[初期設定] タブが表示されます。表示方法について詳しくはP.228「アプリケーションごとに設定する」を参照してください。

[プリンタ] ウィンドウから表示させたプリンターのプロパティで設定した内容が初期値として表示されますので、アプリケーションからの印刷時は必要な項目を変更して印刷します。

補足

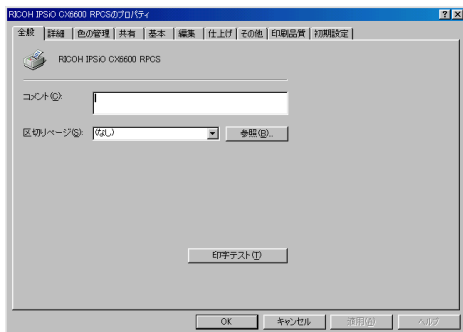
- ❒ ここでの設定は印刷するアプリケーションでのみ有効な設定です。
- ❒ アプリケーションによっては印刷の初期値を変更するものもあります。

印刷の初期値を設定する

アプリケーションから印刷するときの初期値を設定するには、プリンターのプロパティを［プリンタ］ウィンドウから表示させて設定します。

1 ［スタート］ボタンをクリックし、［設定］をポイントし、［プリンタ］をクリックします。

2 初期値を設定するプリンターのアイコンをクリックして反転表示させ、［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックします。

プリンターのプロパティが表示されます。

参照

設定のしかたの詳細は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

アプリケーションごとに設定する

印刷を行うアプリケーションだけに有効な設定をするには、プリンターのプロパティをアプリケーションから表示させて設定します。ここではWindows 98に付属の「ワードパッド」を例に説明します。

補足

❒ 実際の表示の手順はアプリケーションによって多少異なります。詳細はアプリケーションの説明書やヘルプを参照してください。

1 [ファイル]メニューの[印刷]をクリックします。

[印刷]ダイアログが表示されます。

補足

❒ 印刷部数や印刷範囲など基本的な項目は、プリンターのプロパティを開かなくても、このダイアログで指定できます。

2 ［プロパティ］をクリックします。

プリンターのプロパティが表示されます。

参照

設定のしかたの詳細は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

印刷を中止する

印刷を中止する場合は、本機とパソコン両方から行います。中止する方法は印刷データの状態によって異なりますので、状況を確認し、以下の手順で操作してください。

1 印刷を中止したいデータが、現在プリンターから印刷されているか確認します。

データが印刷されていなくても、データインランプが点滅・点灯していればプリンターはデータを受信しています。

2 印刷を中止します。

中止したいデータが印刷されているとき

❶ オンラインランプが点灯していることを確認し、【リセット】キーを押します。

操作パネルのディスプレイに「ジョブリセットチュウ（給紙トレイ名）」と表示され、印刷データがキャンセルされます。

補足

- ❒ 印刷を中止したデータが再び印刷される場合は、インターフェース設定の「I/F切り替え時間」を長く設定してください。

中止したいデータが印刷されていないとき

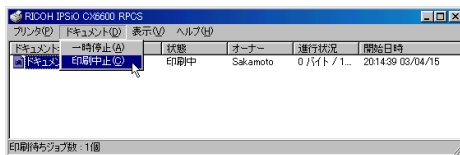
❶ Windowsのタスクバーのプリンターアイコンをダブルクリックします。

印刷中のプリンターのウィンドウが開くので、印刷を中止する文書の状態を確認します。

補足

- ❒ 印刷中のプリンターのウィンドウを開くには、［プリンタ］ウィンドウでプリンターのアイコンをダブルクリックする方法もあります。

❷ 印刷を中止する文書のドキュメント名をクリックして反転表示させます。

❸ ［ドキュメント］メニューの［印刷中止］をクリックします。

印刷が中止されます。

補足

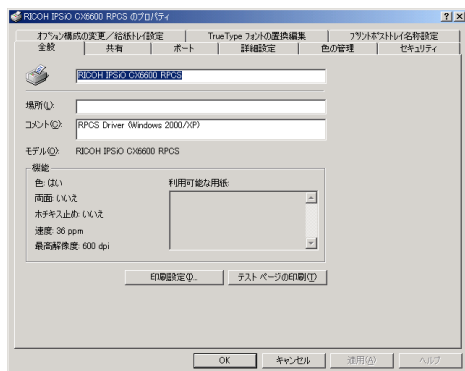
- ❒ ネットワークプリンターとしてご使用の場合、他のユーザーのドキュメントをローカルのパソコンから削除することはできません。
- ❒ ［プリンタ］メニューの［印刷ドキュメントの削除］をクリックすると、印刷待ち状態のすべてのドキュメントが削除されます。ただし、ネットワークプリンターとしてご使用の場合、他のユーザーのドキュメントをローカルのパソコンから削除することはできません。
- ❒ 手順❷で選択したドキュメントの印刷が開始している場合は、プリンターのウィンドウからドキュメント名が消えるまで、多少時間がかかります。

Windows 2000 の場合

プリンタードライバーの設定画面を表示する

Windows 2000には、プリンタードライバーの設定画面を表示させる方法が3種類あります。

❖ [プリンタ] ウィンドウから表示させる（プロパティ）

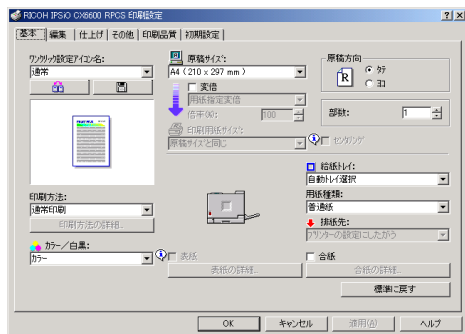
[プリンタ] ウィンドウからプリンターのプロパティを表示させると、[全般]、[共有]、[ポート]、[詳細設定]、[色の管理]、[セキュリティ]、[オプション構成の変更／給紙トレイ設定]、[TrueTypeフォントの置換編集]、[プリントポスト名称設定] [*1] タブが表示されます。表示方法について詳しくはP.234「印刷の初期値を設定する（プロパティ）」を参照してください。

[全般]、[共有]、[ポート]、[詳細設定]、[色の管理]、[セキュリティ] タブはWindows 2000が追加するタブで、Windows 2000の機能に関する設定を行います。
[オプション構成の変更]、[TrueTypeフォントの置換編集]、[プリントポストトレイ名称設定] [*1] タブはプリンターに関する設定を行うタブです。

[*1] 4ビンプリントポスト装着時のみ表示されます。

制限

- ❒ プリンターのプロパティの内容を変更するには「プリンタの管理」のアクセス権が必要です。内容を変更するときは、AdministratorsまたはPower Usersグループのメンバーとしてログオンしてください。
- ❒ プリンターのプロパティの設定をユーザーごとに変えることはできません。プリンタープロパティで行った設定が、このプリンタードライバーを使って印刷するすべてのユーザーの設定になります。
- ❒ アプリケーションによっては、ここで設定した初期値が反映されない場合があります。

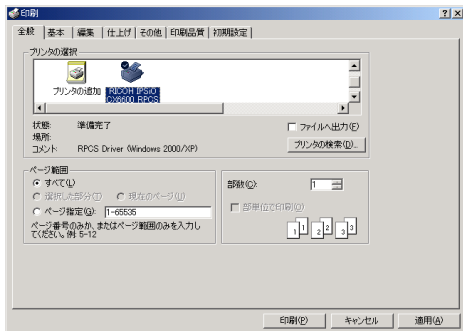
❖ [プリンタ] ウィンドウから表示させる（印刷設定）

[プリンタ] ウィンドウから印刷設定を表示させると、[基本]、[編集]、[仕上げ]、[その他]、[印刷品質]、[初期設定] タブが表示されます。表示方法について詳しくはP.235「印刷の初期値を設定する（印刷設定）」を参照してください。

[基本]、[編集]、[仕上げ]、[その他]、[印刷品質] タブはプリンタードライバーの印刷に関する設定を行うタブです。このタブで行った設定が、すべてのアプリケーションで印刷するための設定の初期値になります。

制限

- ❒ 印刷設定の内容を変更するときは、Administrators、Power Users、またはUsersグループのメンバーとしてログオンしてください。
- ❒ 印刷設定をユーザーごとに変えることはできません。印刷設定で行った設定が、このプリンタードライバーを使って印刷するすべてのユーザーの初期値になります。
- ❒ アプリケーションによっては、ここで設定した初期値が反映されない場合があります。

❖ アプリケーションから表示させる

アプリケーションから印刷ダイアログを表示させると、[全般]、[基本]、[編集]、[仕上げ]、[その他]、[印刷品質]、[初期設定] タブが表示されます。表示方法について詳しくはP.236 「アプリケーションごとに設定する」を参照してください。

[全般] タブはWindows 2000が追加するタブで、Windows 2000の機能に関する設定を行います。
[基本]、[編集]、[仕上げ]、[その他]、[印刷品質] タブには [プリンタ] ウィンドウから表示させた印刷設定の内容が初期値として表示されますので、アプリケーションからの印刷時は必要な項目を変更して印刷します。

補足

- ❒ ここでの設定は印刷するアプリケーションでのみ有効な設定です。
- ❒ アプリケーションによっては印刷の初期値を変更するものもあります。

印刷の初期値を設定する（プロパティ）

制限

- ❒ ［プリンタ］フォルダでプリンタープロパティを変更するには「プリンタの管理」のアクセス権が必要です。AdministratorsまたはPower Usersグループのメンバーとしてログオンしてください。

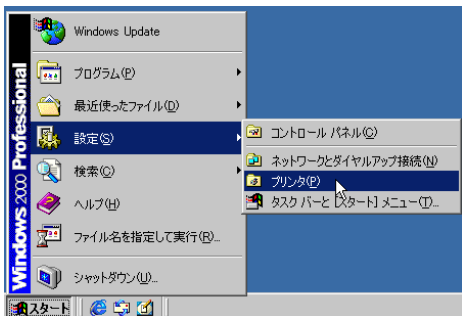
1 ［スタート］ボタンをクリックし、［設定］をポイントし、［プリンタ］をクリックします。

2 初期値を設定するプリンターのアイコンをクリックして反転表示させ、［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックします。

プリンターのプロパティが表示されます。

参照

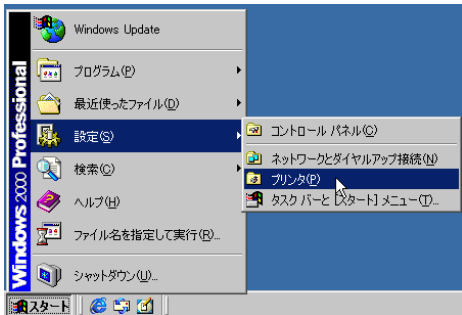
設定のしかたの詳細は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

補足

❒ ここでの設定が、すべてのアプリケーションでの設定の初期値になります。

印刷の初期値を設定する（印刷設定）

制限

❒ ［プリンタ］フォルダで印刷設定を変更するときは、Administrators、Power Users、またはUsersグループのメンバーとしてログオンしてください。

1 ［スタート］ボタンをクリックし、［設定］をポイントし、［プリンタ］をクリックします。

2 初期値を設定するプリンターのアイコンをクリックして反転表示させ、［ファイル］メニューの［印刷設定］をクリックします。

印刷設定が表示されます。

参照

設定のしかたの詳細は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

補足

❒ ここでの設定がアプリケーションから印刷するときに必要な設定の初期値になります。

アプリケーションごとに設定する

印刷を行うアプリケーションだけに有効な設定をするには、プリンターのプロパティをアプリケーションから表示させて設定します。ここではWindows 2000に付属の 「ワードパッド」を例に説明します。

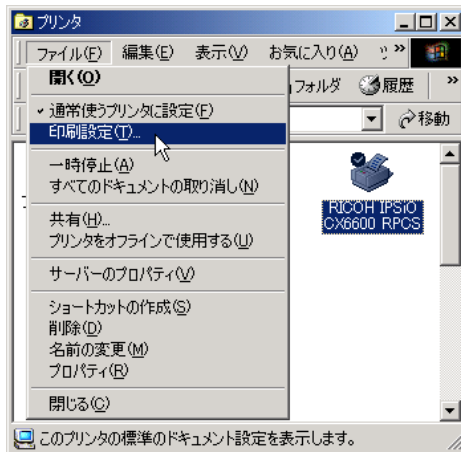
補足

❒ 実際の表示の手順はアプリケーションによって多少異なります。詳細はアプリケーションの説明書やヘルプを参照してください。

❒ アプリケーションの［印刷］ダイアログから表示したプロパティは、一般ユーザーでも変更することができます。

1 ［ファイル］メニューの［印刷］をクリックします。

［印刷］ダイアログが表示されます。

補足

- ❒ 印刷部数や印刷範囲など基本的な項目は、プリンターのプロパティを開かなくても、このダイアログで指定できます。

2 プリンターを選択します。

プリンターのプロパティが表示されます。

参照

設定のしかたの詳細は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

印刷を中止する

印刷を中止する場合は、本機とパソコン両方から行います。中止する方法は印刷データの状態によって異なりますので、状況を確認し、以下の手順で操作してください。

1 印刷を中止したいデータが、現在プリンターから印刷されているか確認します。

データが印刷されていなくても、データインランプが点滅・点灯していればプリンターはデータを受信しています。

2 印刷を中止します。

中止したいデータが印刷されているとき

❶ オンラインランプが点灯していることを確認し、【リセット】キーを押します。

操作パネルのディスプレイに「ジョブリセットチュウ(給紙トレイ名)」と表示され、印刷データがキャンセルされます。

補足

- ❒ 印刷を中止したデータが再び印刷される場合は、インターフェース設定の「I/F切り替え時間」を長く設定してください。

中止したいデータが印刷されていないとき

❶ Windowsのタスクバーのプリンターアイコンをダブルクリックします。

印刷中のプリンターのウィンドウが開くので、印刷を中止する文書の状態を確認します。

補足

- ❒ 印刷中のプリンターのウィンドウを開くには、[プリンタ] ウィンドウでプリンターのアイコンをダブルクリックする方法もあります。

❷ 印刷を中止する文書のドキュメント名をクリックして反転表示させます。

❸ [ドキュメント] メニューの [キャンセル] をクリックします。

印刷が中止されます。

補足

- ❒ [プリンタ] メニューの [すべてのドキュメントの取り消し]をクリックすると、印刷待ち状態のすべてのドキュメントが削除されます。ただし、[すべてのドキュメントの取り消し] を使って印刷を中止するには、「プリンタの管理」のアクセス権が必要です。
- ❒ 手順❷で選択したドキュメントの印刷が開始している場合は、プリンターのウィンドウからドキュメント名が消えるまで、多少時間がかかります。

Windows XP/Server 2003 の場合

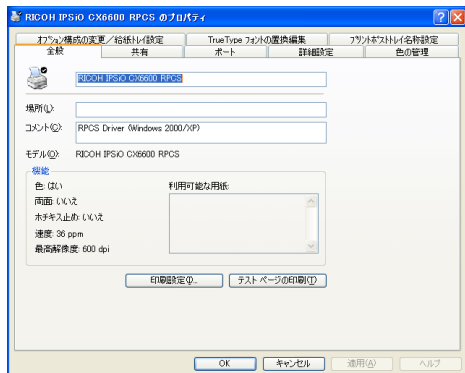
プリンタードライバーの設定画面を表示する

Windows XP/Server 2003には、プリンタードライバーの設定画面を表示させる方法が3種類あります。

補足

❒ 本文中の説明では、Windows XPの画面を使用しています。

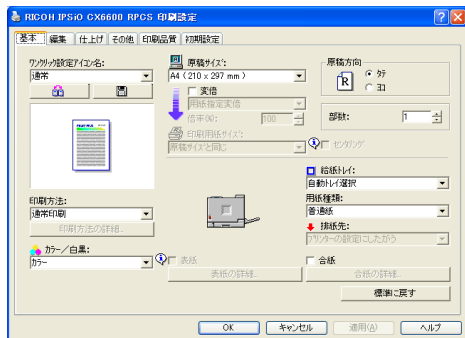
❖ ［プリンタとFAX］ウィンドウから表示させる（プロパティ）

［プリンタとFAX］ウィンドウからプリンターのプロパティを表示させると、Windows XPでは［全般］、［共有］、［ポート］、［詳細設定］、［色の管理］、［オプション構成の変更／給紙トレイ設定］、［TrueTypeフォントの置換編集］タブが表示されます。
Windows Server 2003では［全般］、［共有］、［ポート］、［詳細設定］、［色の管理］、［セキュリティ］、［オプション構成の変更／給紙トレイ設定］、［TrueTypeフォントの置換編集］タブが表示されます。
表示方法について詳しくはP.242「印刷の初期値を設定する（プロパティ）」を参照してください。

［全般］、［共有］、［ポート］、［詳細設定］、［色の管理］、［セキュリティ］タブはWindows XP/Server 2003が追加するタブで、Windows XP/Server 2003の機能に関する設定を行います。
［オプション構成の変更／給紙トレイ設定］、［TrueTypeフォントの置換編集］タブはプリンターに関する設定を行うタブです。

制限

- Windows XP ProfessionalおよびWindows Server 2003でご使用の場合、プリンターのプロパティの内容を変更するには「プリンタの管理」のアクセス権が必要です。内容を変更するときは、AdministratorsまたはPower Usersグループのメンバーとしてログオンしてください。
- プリンターのプロパティの設定をユーザーごとに変えることはできません。プリンタープロパティで行った設定が、このプリンタードライバーを使って印刷するすべてのユーザーの設定になります。
- アプリケーションによっては、ここで設定した初期値が反映されない場合があります。

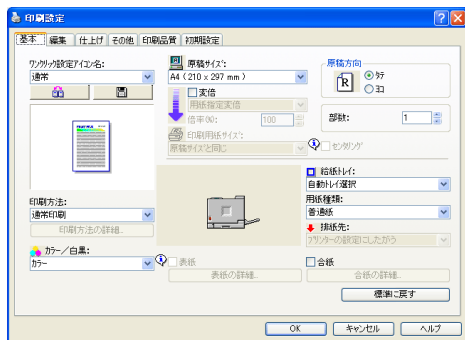
❖ ［プリンタとFAX］ウィンドウから表示させる（印刷設定）

［プリンタとFAX］ウィンドウから印刷設定を表示させると、［基本］、［編集］、［仕上げ］、［その他］、［印刷品質］、［初期設定］タブが表示されます。表示方法について詳しくはP.243 「印刷の初期値を設定する（印刷設定）」を参照してください。

これらのタブはプリンタードライバーの印刷に関する設定を行うタブです。このタブで行った設定が、すべてのアプリケーションで印刷するための設定の初期値になります。

制限

- ❒ Windows XP ProfessionalおよびWindows Server 2003でご使用の場合、印刷設定の内容を変更するには「プリンタの管理」のアクセス権が必要です。内容を変更するときは、AdministratorsまたはPower Usersグループのメンバーとしてログオンしてください。
- ❒ 印刷設定をユーザーごとに変えることはできません。印刷設定で行った設定が、このプリンタードライバーを使って印刷するすべてのユーザーの初期値になります。
- ❒ アプリケーションによっては、ここで設定した初期値が反映されない場合があります。

❖ アプリケーションから表示させる

アプリケーションから印刷ダイアログを表示させると、[基本]、[編集]、[仕上げ]、[その他]、[印刷品質]、[初期設定] タブが表示されます。表示方法について詳しくはP.244「アプリケーションごとに設定する」を参照してください。

これらのタブには [プリンタとFAX] ウィンドウから表示させた印刷設定の内容が初期値として表示されますので、アプリケーションからの印刷時は必要な項目を変更して印刷します。

補足

- ❒ ここでの設定は印刷するアプリケーションでのみ有効な設定です。
- ❒ アプリケーションによっては印刷の初期値を変更するものもあります。

印刷の初期値を設定する（プロパティ）

制限

- ❒ Windows XP ProfessionalおよびWindows Server 2003でご使用の場合、[プリンタとFAX] フォルダでプリンタープロパティを変更するには「プリンタの管理」のアクセス権が必要です。AdministratorsまたはPower Usersグループのメンバーとしてログオンしてください。

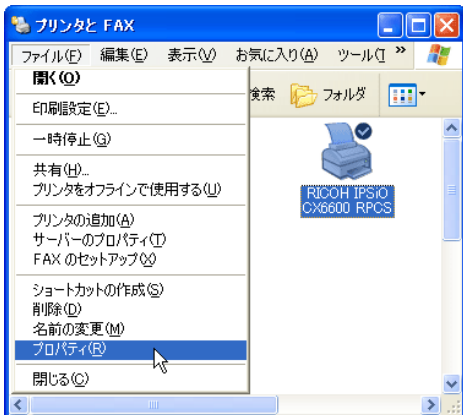
1 タスクバーの［スタート］ボタンから、[プリンタとFAX］ウィンドウを表示します。

2 初期値を設定するプリンターのアイコンをクリックして反転表示させ、[ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックします。

プリンターのプロパティが表示されます。

参照

設定のしかたの詳細は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

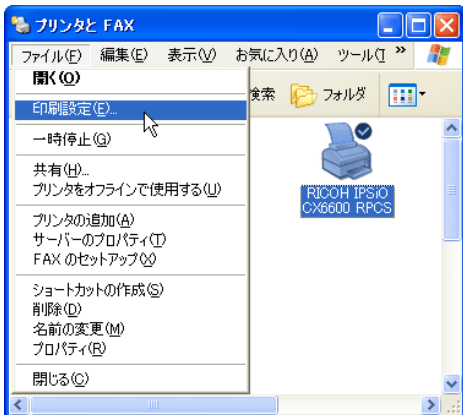
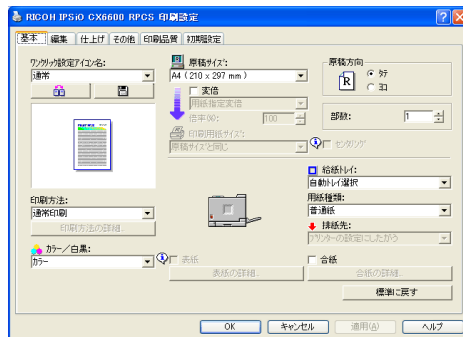
補足

- ❒ ここでの設定が、すべてのアプリケーションでの設定の初期値になります。

印刷の初期値を設定する（印刷設定）

制限

- ❒ Windows XP ProfessionalおよびWindows Server 2003でご使用の場合、[プリンタとFAX] フォルダで印刷設定を変更するには「プリンタの管理」のアクセス権が必要です。AdministratorsまたはPower Users グループのメンバーとしてログオンしてください。

1 タスクバーの［スタート］ボタンから、[プリンタとFAX］ウィンドウを表示します。

2 初期値を設定するプリンターのアイコンをクリックして反転表示させ、[印刷設定の選択］をクリックします。

印刷設定が表示されます。

参照

設定のしかたの詳細は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

補足

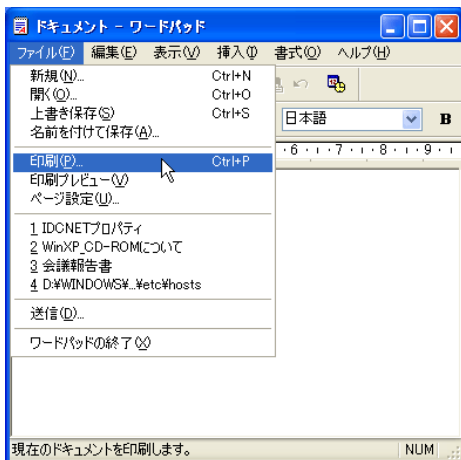
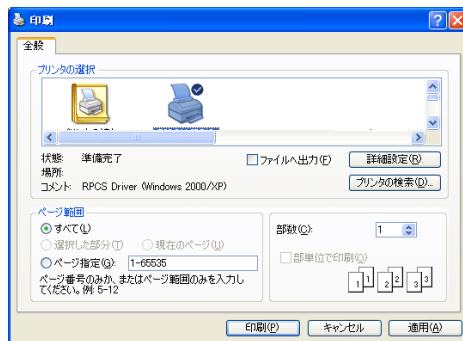
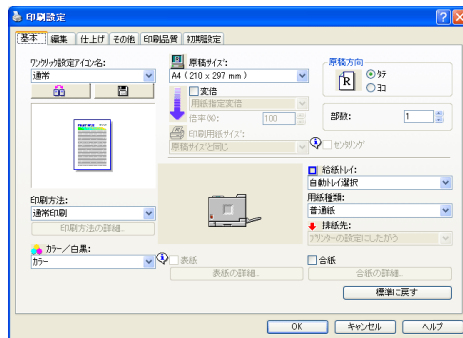
- ❒ ここでの設定がアプリケーションから印刷するときに必要な設定の初期値になります。

アプリケーションごとに設定する

印刷を行うアプリケーションだけに有効な設定をするには、プリンターのプロパティをアプリケーションから表示させて設定します。ここではWindows XPに付属の「ワードパッド」を例に説明します。

補足

- ❒ 実際の表示の方法はアプリケーションによって多少異なります。詳細はアプリケーションの説明書やヘルプを参照してください。
- ❒ アプリケーションの［印刷］ダイアログから表示したプロパティは、一般ユーザーでも変更することができます。

1 ［ファイル］メニューの［印刷］をクリックします。

2 本機を選び［詳細設定］をクリックします。

［印刷設定］ダイアログが表示されます。

参照

設定のしかたの詳細は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

印刷を中止する

印刷を中止する場合は、本機とパソコン両方から行います。中止する方法は印刷データの状態によって異なりますので、状況を確認し、以下の方法で操作してください。

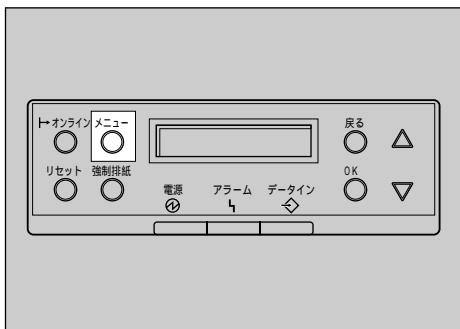
1 印刷を中止したいデータが、現在プリンターから印刷されているか確認します。

データが印刷されていなくても、データインランプが点滅・点灯していればプリンターはデータを受信しています。

2 印刷を中止します。

中止したいデータが印刷されているとき

❶ オンラインランプが点灯していることを確認し、【リセット】キーを押します。

ZDJS001J

操作パネルのディスプレイに「ジョブリセットチュウ」と表示され、印刷データがキャンセルされます。

補足

- ❒ 印刷を中止したデータが再び印刷される場合は、インターフェース設定の「I/F切り替え時間」を長く設定してください。
- ❒ 大容量のデータの印刷を中止したいときは、[ジョブリセット]を押した後、パソコン側からも印刷を中止することをお勧めします。

中止したいデータが印刷されていないとき

❶ Windowsのタスクバーのプリンターアイコンをダブルクリックします。

印刷中のプリンターのウィンドウが開くので、印刷を中止する文書の状態を確認します。

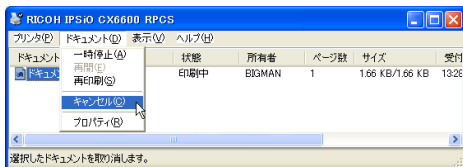
補足

- ❒ 印刷中のプリンターのウィンドウを開くには、[プリンタとFAX]ウィンドウでプリンターのアイコンをダブルクリックする方法もあります。

❷ 印刷を中止する文書のドキュメント名をクリックして反転表示させます。

❸ ［ドキュメント］メニューの［キャンセル］をクリックします。

印刷が中止されます。

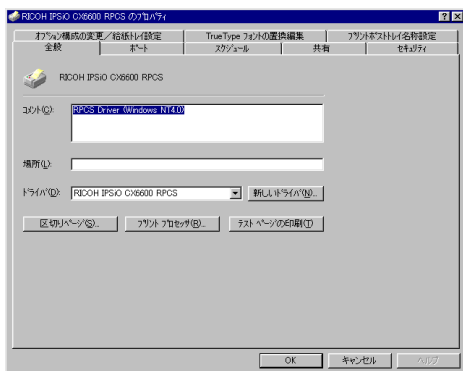
補足

- ［プリンタ］メニューの［すべてのドキュメントの取り消し］をクリックすると、印刷待ち状態のすべてのドキュメントが削除されます。ただし、［すべてのドキュメントの取り消し］を使って印刷を中止するには、「プリンタの管理」のアクセス権が必要です。
- 手順❷で選択したドキュメントの印刷が開始している場合は、プリンターのウィンドウからドキュメント名が消えるまで、多少時間がかかります。

Windows NT 4.0 の場合

プリンタードライバーの設定画面を表示する

Windows NT 4.0には、プリンタードライバーの設定画面を表示させる方法が3種類あります。

❖ ［プリンタ］ウィンドウから表示させる（プロパティ）

［プリンタ］ウィンドウからプリンターのプロパティを表示させると、［全般］、［ポート］、［スケジュール］、［共有］、［セキュリティ］、［オプション構成の変更／給紙トレイ設定］、［TrueType置換テーブル］、［プリントポスト名称設定］[*1] タブが表示されます。表示方法について詳しくはP.250「印刷の初期値を設定する（プロパティ）」を参照してください。

［全般］、［ポート］、［スケジュール］、［共有］、［セキュリティ］タブはWindows NT 4.0が追加するタブで、Windows NT 4.0の機能に関する設定を行います。

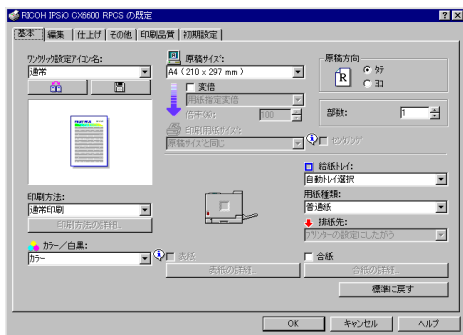
［オプション構成の変更／給紙トレイ設定］、［TrueType置換テーブル］、［プリントポスト名称設定］[*1] タブはプリンターに関する設定を行うタブです。

[*1] ４ビンプリントポスト装着時のみ表示されます。

制限

- ❒ プリンターのプロパティの内容を変更するには「フルコントロール」のアクセス権が必要です。内容を変更するときは、AdministratorsまたはPower Usersグループのメンバーとしてログオンしてください。
- ❒ プリンターのプロパティの設定をユーザーごとに変えることはできません。プリンタープロパティで行った設定が、このプリンタードライバーを使って印刷するすべてのユーザーの設定になります。
- ❒ アプリケーションによっては、ここで設定した初期値が反映されない場合があります。

❖ [プリンタ] ウィンドウから表示させる（ドキュメントの既定値）

[プリンタ] ウィンドウからドキュメントの規定値を表示させると、[基本]、[編集]、[仕上げ]、[その他]、[印刷品質]、[初期設定] タブが表示されます。表示方法について詳しくはP.251 「印刷の初期値を設定する（ドキュメントの既定値）」を参照してください。

[基本]、[編集]、[仕上げ]、[その他]、[印刷品質] タブはプリンタードライバーの印刷に関する設定を行うタブです。このタブで行った設定が、すべてのアプリケーションで印刷するときの設定の初期値になります。

制限

- ❒ ドキュメントの既定値の内容を変更するには「フルコントロール」のアクセス権が必要です。内容を変更するときは、AdministratorsまたはPower Usersグループのメンバーとしてログオンしてください。
- ❒ ドキュメントの既定値をユーザーごとに変えることはできません。ドキュメントの既定値で行った設定が、このプリンタードライバーを使って印刷するすべてのユーザーの初期値になります。
- ❒ アプリケーションによっては、ここで設定した初期値が反映されない場合があります。

❖ アプリケーションから表示させる

アプリケーションからプリンターのプロパティを表示させると、[基本]、[編集]、[仕上げ]、[その他]、[印刷品質]、[初期設定]タブが表示されます。表示方法について詳しくはP.252 「アプリケーションごとに設定する」**を参照してください。**

[プリンタ]ウィンドウから表示させたドキュメントの既定値の内容が初期値として表示されますので、アプリケーションからの印刷時は必要な項目を変更して印刷します。

補足

- ❒ ここでの設定は印刷するアプリケーションでのみ有効な設定です。
- ❒ アプリケーションによっては印刷の初期値を変更するものもあります。

印刷の初期値を設定する（プロパティ）

制限

- ❒ ［プリンタ］フォルダでプリンタープロパティを変更するには「フルコントロール」のアクセス権が必要です。AdministratorsまたはPower Usersグループのメンバーとしてログオンしてください。

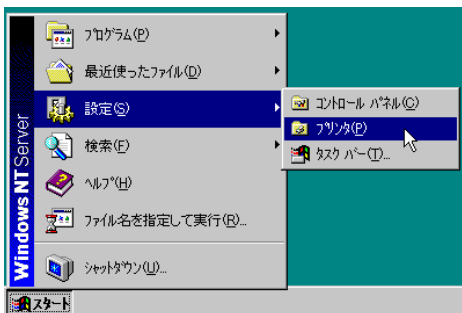
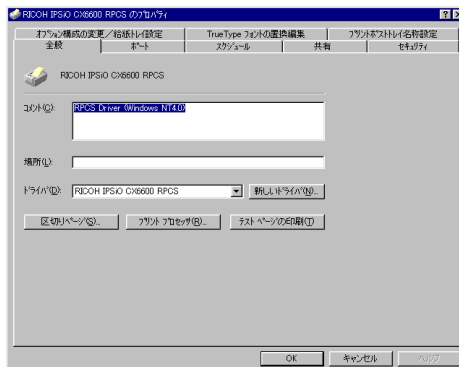
1 ［スタート］ボタンをクリックし、［設定］をポイントし、［プリンタ］をクリックします。

2 初期値を設定するプリンターのアイコンをクリックして反転表示させ、［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックします。

プリンターのプロパティが表示されます。

参照

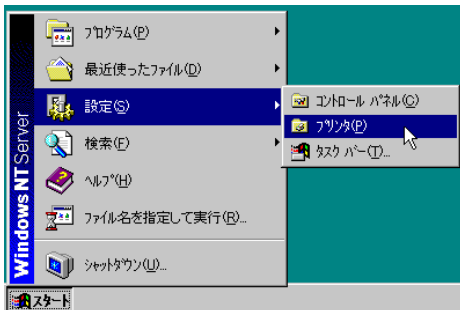
設定のしかたの詳細は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

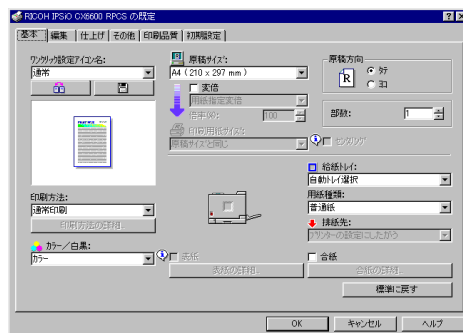
補足

❒ ここでの設定が、すべてのアプリケーションでの設定の初期値になります。

印刷の初期値を設定する（ドキュメントの既定値）

制限

❒ ［プリンタ］フォルダでドキュメントの既定値を変更するには「フルコントロール」のアクセス権が必要です。AdministratorsまたはPower Usersグループのメンバーとしてログオンしてください。

1 ［スタート］ボタンをクリックし、［設定］をポイントし、［プリンタ］をクリックします。

2 初期値を設定するプリンターのアイコンをクリックして反転表示させ、［ファイル］メニューの［ドキュメントの既定値］をクリックします。

ドキュメントの既定値が表示されます。

参照

設定のしかたの詳細は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

補足

- ❒ ここでの設定がアプリケーションから印刷するときに必要な設定の初期値になります。

アプリケーションごとに設定する

印刷を行うアプリケーションだけに有効な設定をするには、プリンターのプロパティをアプリケーションから表示させて設定します。ここではWindows NT 4.0に付属の 「ワードパッド」を例に説明します。

補足

- ❒ 実際の表示の手順はアプリケーションによって多少異なります。詳細はアプリケーションの説明書やヘルプを参照してください。
- ❒ アプリケーションの［印刷］ダイアログから表示したプロパティは、一般ユーザーでも変更することができます。

1 ［ファイル］メニューの［印刷］をクリックします。

［印刷］ダイアログが表示されます。

補足

- ❒ 印刷部数や印刷範囲など基本的な項目は、プリンターのプロパティを開かなくても、このダイアログで指定できます。

2 ［プロパティ］をクリックします。

プリンターのプロパティが表示されます。

参照

設定のしかたの詳細は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

印刷を中止する

印刷を中止する場合は、本機とパソコン両方から行います。中止する方法は印刷データの状態によって異なりますので、状況を確認し、以下の手順で操作してください。

1 印刷を中止したいデータが、現在プリンターから印刷されているか確認します。

データが印刷されていなくても、データインランプが点滅・点灯していればプリンターはデータを受信しています。

2 印刷を中止します。

中止したいデータが印刷されているとき

❶ オンラインランプが点灯していることを確認し、【リセット】キーを押します。

操作パネルのディスプレイに「ジョブリセットチュウ（給紙トレイ名）」と表示され、印刷データがキャンセルされます。

補足

- ❒ 印刷を中止したデータが再び印刷される場合は、インターフェース設定の「I/F切り替え時間」を長く設定してください。

中止したいデータが印刷されていないとき

❶ Windowsのタスクバーのプリンターアイコンをダブルクリックします。

印刷中のプリンターのウィンドウが開くので、印刷を中止する文書の状態を確認します。

補足

- ❒ 印刷中のプリンターのウィンドウを開くには、［プリンタ］ウィンドウでプリンターのアイコンをダブルクリックする方法もあります。

❷ 印刷を中止する文書のドキュメント名をクリックして反転表示させます。

❸ ［ドキュメント］メニューの［キャンセル］をクリックします。

印刷が中止されます。

補足

- ❒ ［プリンタ］メニューの［印刷ドキュメントの削除］をクリックすると、印刷待ち状態のすべてのドキュメントが削除されます。ただし、［印刷ドキュメントの削除］を使って印刷を中止するには、「フルコントロール」のアクセス権が必要です。
- ❒ 手順❷で選択したドキュメントの印刷が開始している場合は、プリンターのウィンドウからドキュメント名が消えるまで、多少時間がかかります。

プリンターのHDDを利用して、試し印刷や機密印刷ができます。

制限

❒ 試し印刷／機密印刷を行うにはオプションの拡張HDDが必要です。

❒ 以下の場合、文書は拡張HDDに蓄積されません。蓄積されなかった文書は、エラー履歴で確認できます。

- 試し印刷と機密印刷の文書が、拡張HDDに合計して30蓄積されているときに送信された31番目の文書（印刷データによっては、この文書数よりも少なくなることがあります）
- 送信した文書が、拡張HDDに蓄積されている文書の総ページ数と合わせて1,000ページを超える場合（印刷データによっては、このページ数よりも少なくなることがあります）

試し印刷する

複数部数を印刷する場合などに、最初に１部だけ印刷を行い、その結果を確認した後に操作パネルを使用して残り部数を印刷することができます。内容や印刷の指定を間違えたときなどに大量のミスプリントを防ぐことができます。

重要

❒ 電源を切ると蓄積文書が消去されます。

参照

プリンタードライバーの詳しい設定方法は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

1 プリンタードライバーのプロパティの［基本］タブで、試し印刷の設定をします。

「ワンクリック設定」を選択しているときは、［印刷機能］タブをクリックします。

❶ ［印刷方法］のドロップダウンメニューから［試し印刷］を選択します。

❷ ［初期設定］タブの［ユーザー ID］ボックスにユーザー ID を半角英数字８文字以内で入力します。

「ワンクリック設定」を選択しているときは、［初期設定］ダイアログで設定します。

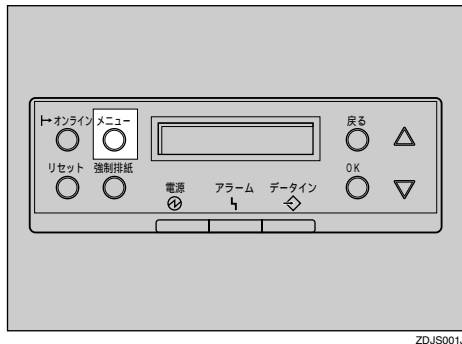
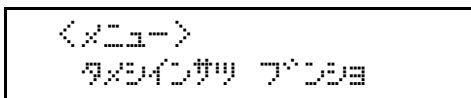
2 印刷の指示をします。

１部目が印刷され、拡張HDDに文書が蓄積されます。

3 印刷結果を確認し、操作パネルから２部目以降を印刷するか削除するかを指示します。

- ２部目以降を印刷する⇒ P.256 「2部目以降を印刷する」
- 文書を削除する⇒ P.257 「文書を消去する」

2 部目以降を印刷する

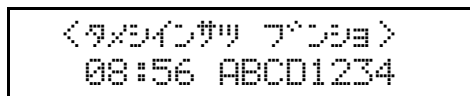
1 操作パネルの【メニュー】キーを押します。

メニュー画面が表示されます。

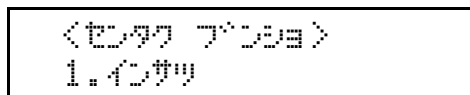
2【▲】または【▼】キーを使用して、「タメシインサツブンショ」を表示させ、【OK】キーを押します。

```
<メニュー>
 タメシインサツ ブンショ
```

蓄積されている文書の印刷指示を出した時間とユーザー IDが表示されます。

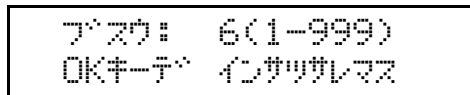
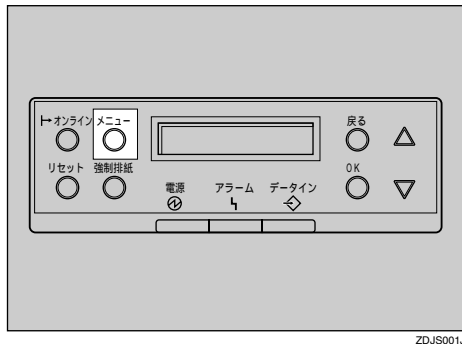
3【▲】または【▼】キーを使用して、印刷する文書を表示させ、【OK】キーを押します。

```
<タメシインサツ ブンショ>
 08:56 ABCD1234
```

4「1. インサツ」が表示されているのを確認して、【OK】キーを押します。

```
<センタク ブンショ>
1.インサツ
```

残りの印刷部数が表示されます。

補足

❒ 印刷をキャンセルする場合は【戻る】キーを押します。

5【OK】キーを押します。印刷部数を変更する場合は【▲】または【▼】キーを使用して、部数を設定してから【OK】キーを押します。

```
ブスウ:  6(1-999)
OKキーデ インサツサレマス
```

文書が印刷され、拡張HDDに蓄積されていた文書は削除されます。

文書を消去する

1 操作パネルの【メニュー】キーを押します。

ZDJS001J

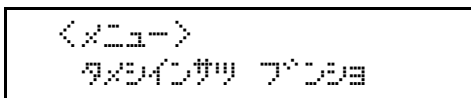
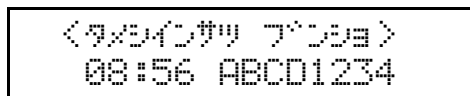
メニュー画面が表示されます。

2 【▲】または【▼】キーを使用して、「タメシインサツブンショ」を表示させ、【OK】キーを押します。

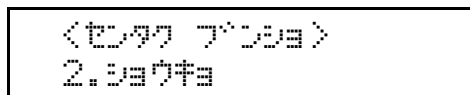
```
<メニュー>
 タメシインサツ ブンショ
```

蓄積されている文書の印刷指示を出した時間とユーザー IDが表示されます。

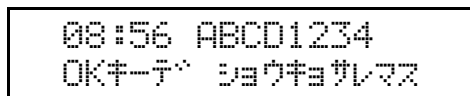
3 【▲】または【▼】キーを使用して、削除する文書を表示させ、【OK】キーを押します。

```
<タメシインサツ ブンショ>
 08:56 ABCD1234
```

4 【▲】または【▼】キーを使用して、「2. ショウキョ」を表示させ、【OK】キーを押します。

```
<センタク ブンショ>
2.ショウキョ
```

補足

- 消去をキャンセルする場合は【戻る】キーを押します。

5 文書を確認し、【OK】キーを押します。

```
08:56 ABCD1234
OKキーデ ショウキョサレマス
```

「ショウキョサレマシタ」というメッセージが表示され、試し印刷文書の選択画面に戻ります。

6 【オンライン】キーを押します。

通常の画面に戻ります。

エラー履歴を確認する

文書が拡張HDDに蓄積できなかった場合は履歴が残り、操作パネルで確認することができます。

制限

❒ エラー履歴に表示されるのは最新の20件だけです。またプリンターの電源を切った場合、それまでの履歴は消去されます。

1 操作パネルの【メニュー】キーを押します。

ZDJS001J

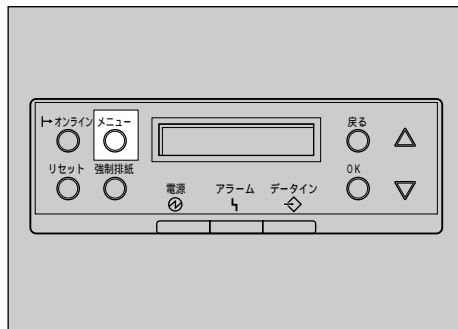
メニュー画面が表示されます。

2 【▲】または【▼】キーを使用して、「タメシインサツブンショ」を表示させ、【OK】キーを押します。

<ﾒﾆｭｰ>
ﾀﾒｼｲﾝｻﾂ ﾌﾞﾝｼｮ

蓄積されている文書の印刷指示を出した時間とユーザーIDが表示されます。

3 【▲】または【▼】キーを使用して、「エラーブンショ」を表示させ、【OK】キーを押します。

```
<タメシインサツ ブンショ>
エラー ブンショ
```

4 【▲】または【▼】キーを使用して、履歴を確認します。

```
<エラー ブンショ>
 06:53 EFGH4567
```

履歴を確認し終わったら、【戻る】キーを押します。

試し印刷文書の選択画面に戻ります。

補足

- ❒ エラーになった文書を印刷するには、拡張 HDD に蓄積されている文書を印刷するか削除してから、パソコンから印刷の指示をし直してください。

5 履歴を確認し終わったら、【戻る】キーを押します。

試し印刷文書の選択画面に戻ります。

6 【オンライン】キーを押します。

通常の画面に戻ります。

```
インサツデキマス
RPCS
```

機密印刷する

ネットワークでプリンターを共有している場合など、他人に見られたくない文章を印刷するときなどに有効な機能です。いったんプリンターの拡張HDDにデータを蓄積し、操作パネルを使用して蓄積したデータを印刷することができます。機密印刷を使うとプリンターの操作パネルからパスワードを入力しないと印刷できなくなりますので、他人に見られる心配がありません。

重要

❒ 電源を切ると蓄積文書が消去されます。

参照

プリンタードライバーの詳しい設定方法は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

1 プリンタードライバーのプロパティの[基本]タブで、機密印刷の設定をします。

「ワンクリック設定」を選択しているときは、[印刷機能] タブをクリックします。

❶ [印刷方法] のドロップダウンメニューから [機密印刷] を選択します。

❷ [初期設定] タブの [ユーザー ID] ボックスにユーザー ID を半角英数字 8 文字以内で入力します。

「ワンクリック設定」を選択しているときは、[初期設定]ボタンをクリックし、[初期設定]ダイアログで設定します。

❸ [基本] タブの [印刷方法の詳細] ボタンをクリックし、[印刷方法の詳細]ダイアログでパスワードを半角数字 4 文字以内で入力します。

「ワンクリック設定」を選択しているときは、[印刷方法の詳細] ボタンをクリックし、[印刷方法の詳細] ダイアログでパスワードを半角数字4文字以内で入力します。

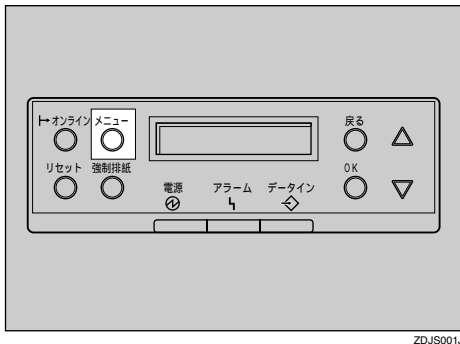
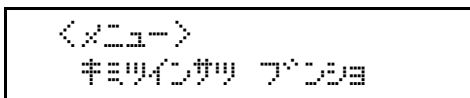
2 印刷の指示をします。

文書が拡張HDDに蓄積されます。

3 操作パネルでパスワードを入力し、印刷するか削除するかを指示します。

- 操作パネルを使って印刷する⇒ P.261「操作パネルを使って印刷する」
- 文書を削除する⇒ P.262 「文書を消去する」

操作パネルを使って印刷する

1 操作パネルの【メニュー】キーを押します。

ZDJS001J

メニュー画面が表示されます。

2 【▲】または【▼】キーを使用して、「キミツインサツブンショ」を表示させ、【OK】キーを押します。

<ﾒﾆｭｰ>
ｷﾐﾂｲﾝｻﾂ ﾌﾞﾝｼｮ

蓄積されている文書の印刷指示を出した時間とユーザーIDが表示されます。

3 【▲】または【▼】キーを使用して、印刷する文書を表示させ、【OK】キーを押します。

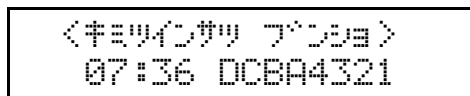
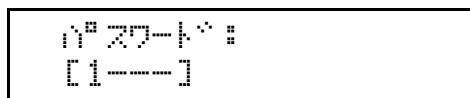
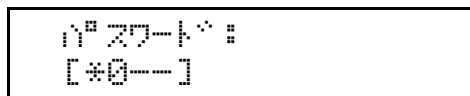
<ｷﾐﾂｲﾝｻﾂ ﾌﾞﾝｼｮ>
07:36 DCBA4321

4 パスワードを入力します。

❶ 【▲】または【▼】キーを使用して、設定したパスワードの1桁目を表示させ、【OK】キーを押します。

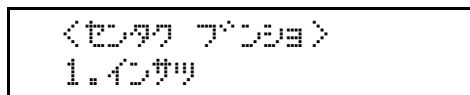
ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ:
[1----]

❷ カーソルが次の桁に移動します。

ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ:
[*0---]

❸ 同様にすべての桁を設定し、【OK】キーを押します。

5 「1. インサツ」が表示されているのを確認して、【OK】キーを押します。

<ｾﾝﾀｸ ﾌﾞﾝｼｮ>
1.ｲﾝｻﾂ

補足

- ❒ 印刷をキャンセルする場合は【戻る】キーを押します。

6【OK】キーを押します。

```
07:36 DCBA4321
OKキーデ インサツサレマス
```

文書が印刷され、拡張HDDに蓄積されていた文書は削除されます。

文書を消去する

1 操作パネルの【メニュー】キーを押します。

ZDJS001J

メニュー画面が表示されます。

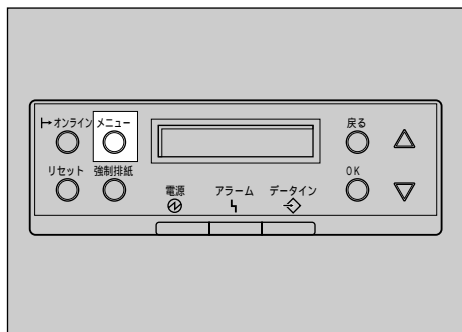
2【▲】または【▼】キーを使用して、「キミツインサツブンショ」を表示させ、【OK】キーを押します。

```
<メニュー>
 キミツインサツ ブンショ
```

蓄積されている文書の印刷指示を出した時間とユーザー IDが表示されます。

3【▲】または【▼】キーを使用して、削除する文書を表示させ、【OK】キーを押します。

```
<キミツインサツ ブンショ>
 07:36 DCBA4321
```

4 パスワードを入力します。

❶【▲】または【▼】キーを使用して、設定したパスワードの1桁目を表示させ、【OK】キーを押します。

```
パスワード:
[1---]
```

❷ カーソルが次の位に移動します。

```
パスワード:
[*0--]
```

❸ 同様にすべての桁を設定し、【OK】キーを押します。

選択文書メニューが表示されます。

```
<センタク ブンショ>
1.インサツ
```

5 【▲】または【▼】キーを使用して、「2. ショウキョ」を表示させ、【OK】キーを押します。

```
<センタク ブンショ>
2.ショウキョ
```

補足

❒ 消去をキャンセルする場合は【戻る】キーを押します。

6 消去する文書を確認し、【OK】キーを押します。

```
07:36 DCBA4321
OKキーデ ショウキョサレマス
```

「ショウキョサレマシタ」というメッセージが表示され、機密印刷文書の選択画面に戻ります。

エラー履歴を確認する

文書が拡張HDDに蓄積されなかった場合は履歴が残り、操作パネルで確認することができます。

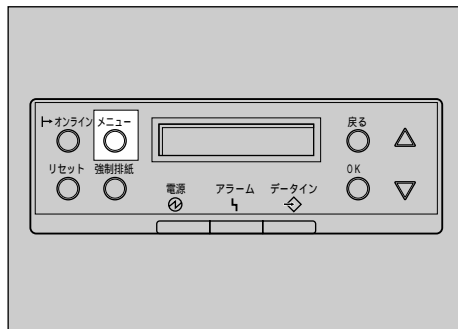
制限

❒ エラー履歴に表示されるのは最新の 20 件だけです。またプリンターの電源を切った場合、それまでの履歴は消去されます。

1 操作パネルの【メニュー】キーを押します。

メニュー画面が表示されます。

2 【▲】または【▼】キーを使用して、「キミツインサツブンショ」を表示させ、【OK】キーを押します。

```
 <メニュー>
  キミツインサツ ブンショ
```

蓄積されている文書の印刷指示を出した時間とユーザー IDが表示されます。

3 【▲】または【▼】キーを使用して、「エラーブンショ」を表示させ、【OK】キーを押します。

```
 <キミツインサツ ブンショ>
 エラー ブンショ
```

4 【▲】または【▼】キーを使用して、履歴を確認します。

```
 <エラー ブンショ>
  08:56 HGFE7654
```

履歴を確認し終わったら、【戻る】キーを押します。

機密印刷文書の選択画面に戻ります。

補足

- エラー印刷になった文書を印刷するには、拡張HDDに蓄積されている文書を印刷するか削除してから、パソコンから印刷の指示をし直してください。

5 履歴を確認し終わったら、【戻る】キーを押します。

試し印刷文書の選択画面に戻ります。

6 【オンライン】キーを押します。

通常の画面に戻ります。

```
 インサツデキマス
 RPCS
```

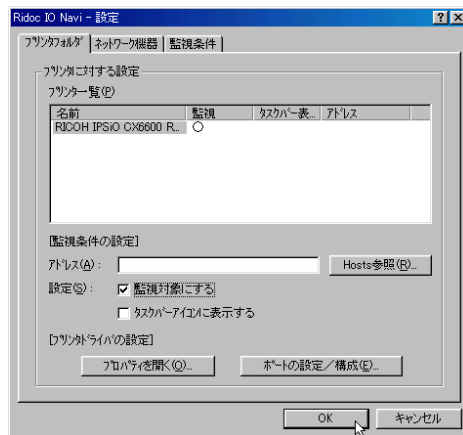
プリンターの状態を確認するとき

Ridoc IO Navi の場合

1 Ridoc IO Navi**を起動します。**

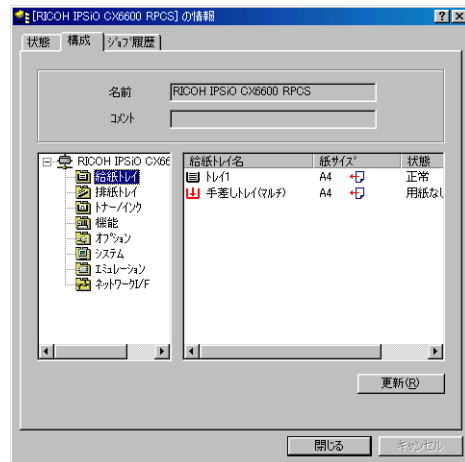
2 **タスクバーの**Ridoc IO Navi**アイコンを右クリックし、表示されたメニューから［設定］をポイントして左クリックします。**

［Ridoc IO Navi**設定］ウインドウが表示されます。**

3 **使用するプリンターを選択して反転表示させて［監視対象にする］に✓印を付け、［OK］をクリックします。**

4 タスクバーのRidoc IO Naviアイコンを右クリックし、表示されたメニューから監視対象にしたプリンターをポイントして左クリックします。

監視対象にしたプリンターの［情報］ウインドウが開きます。

5 ［構成］タブをクリックすると、給紙トレイの用紙の量などを調べることができます。

補足

❒ それぞれの項目について詳しくは、Ridoc IO Naviのヘルプを参照してください。

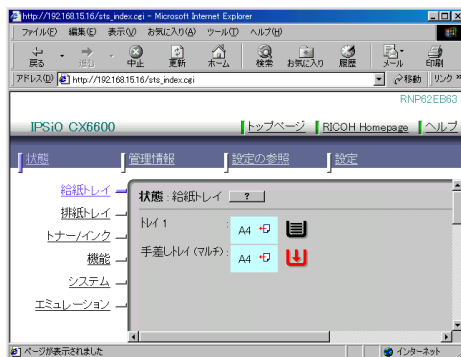
Web ブラウザの場合

1 **Webブラウザを起動します。**

2 **アドレスに「http://（状態を表示させたいプリンターのIPアドレス）/」と入力します。**

Webブラウザに選択したプリンターの状態が表示されます。

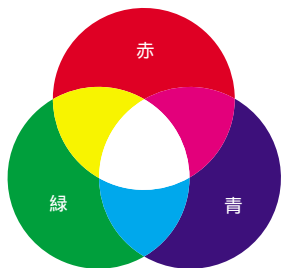
3 **[状態]をクリックすると給紙トレイの用紙の量などを調べることができます。**

補足

- ❒ **それぞれの項目について詳しくは、ヘルプを参照してください。**

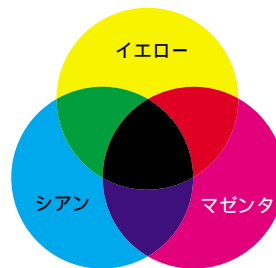
カラーガイド

カラー印刷のしくみ

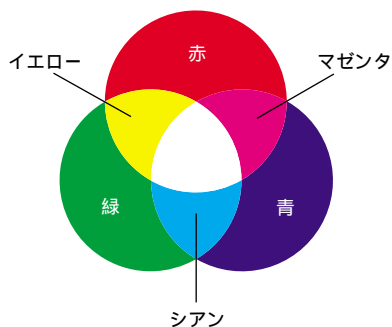
光の 3 原色と色材の 3 原色

すべての光はＲＧＢ と呼ばれる３つの色を混合して表現されます。R（Red）は赤、G（Green）は緑、B（Blue）は青です。ＲＧＢ を同じ割合で混合すると白になります。

補足

- ❒ RGBの３つの色を光の３原色と呼びます。パソコンのディスプレイもRGBの色の組み合わせで色を表現しています。

印刷色はCMYの３つの色を混合して表現されます。C（Cyan）はシアン、M（Magenta）はマゼンタ、Y（Yellow）はイエローです。CMYを同じ割合で混合すると黒になります。

補足

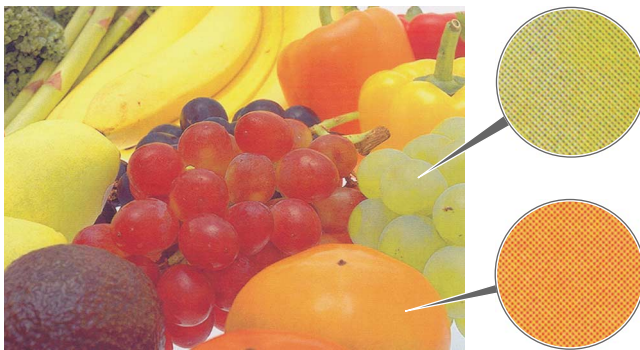
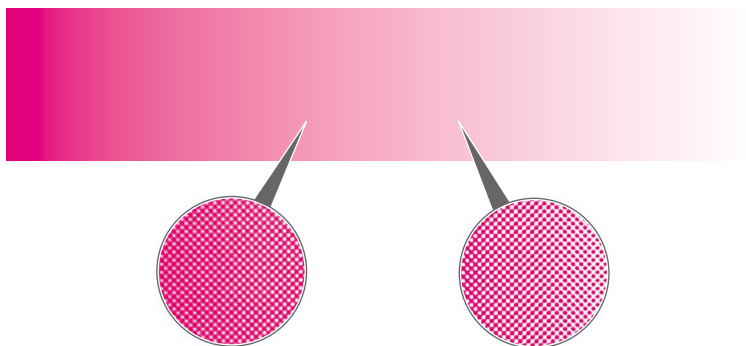
- ❒ CMYの３つの色を色材の３原色と呼びます。IPSiO CX 6600/6100は、CMYにK（黒）のトナーを加えた４色のトナーを使ってフルカラーの印刷を行います。

光の３原色の各色が混合すると、第２色としてシアン、マゼンタ、イエローが作られます。また逆に、色材の３原色の各色が混合すると、赤、緑、青が作られます。１つの原色に対し、他の２つの原色を混ぜた色のことを「補色」と呼びます。赤とシアン、緑とマゼンタ、青とイエローは補色の関係にあります。

プリンターにおける色の表現方法

IPSiO CX 6600/6100は色材の３原色であるC（シアン）、M（マゼンタ）、Y（イエロー）にK（黒）を加えた、４色のトナーを使ってフルカラーの印刷を行います。

補足

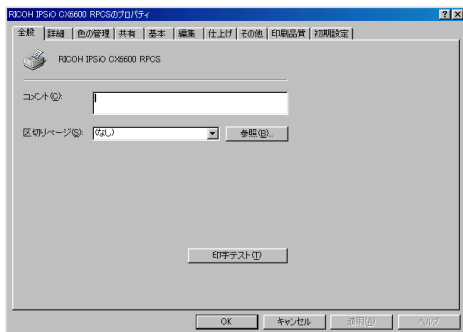
❒ CMYの３色のトナーを同じ割合で混ぜると理論上は純粋な黒になりますが、こうして印刷された黒は印刷の特性上どうしても純粋な黒にはならず、質感に劣ります。よりくっきりとした黒を再現するために、通常の印刷ではブラックのトナーも使用してカラー画像を印刷します。

たとえば画像がシアンだけで作られているときは、全体をシアンのトナーだけで印刷すれば問題ありませんが、フルカラーの画像は実際には何万色という微妙な色の集まりでできています。このような微妙な色は、単位面積あたりに印刷するCMYKのトナー粒子の割合を変えることで表現します。

また、画像には同じ色でも濃い部分と薄い部分があります。このような色の濃淡は単位面積あたりに印刷するトナー粒子の量を変えることで表現します。

カラープロファイルの設定

プリンタードライバーで任意のカラープロファイルを設定することができます。

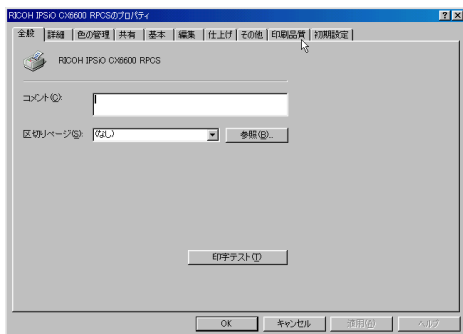
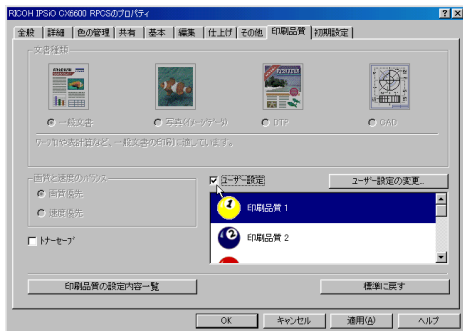
ここでは、プリンタードライバーからカラープロファイルを設定する手順を説明します。

1 プリンタードライバーの設定画面を表示します。

ここでは、Windows 98のプロパティ画面を例として説明します。

補足

- カラープロファイルを設定するための、各Windowsのプリンタードライバー設定画面の表示方法は次の通りです。
  - Windows 95/98/Meの場合
    P.225 「プリンタードライバーの設定画面を表示する」を参照し、プロパティ画面、またはアプリケーションからプリンタードライバーの設定画面を表示します。
  - Windows 2000の場合
    P.231 「プリンタードライバーの設定画面を表示する」を参照し、印刷設定画面、またはアプリケーションからプリンターの設定画面を表示します。
  - Windows XP/Server 2003の場合
    P.239 「プリンタードライバーの設定画面を表示する」を参照し、印刷設定画面、またはアプリケーションからプリンターの設定画面を表示します。
  - Windows NT 4.0の場合
    P.247 「プリンタードライバーの設定画面を表示する」を参照し、ドキュメントの規定値画面、またはアプリケーションからプリンターの設定画面を表示します。

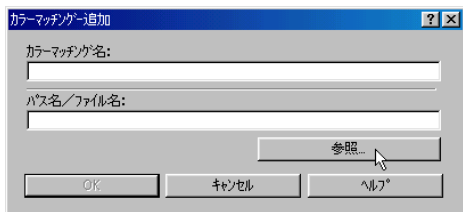
2 [印刷品質] タブをクリックします。

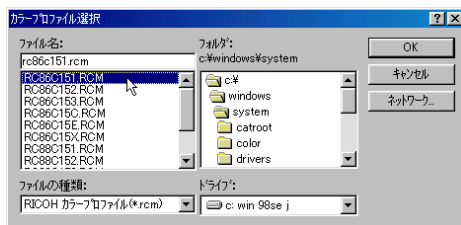
3 [ユーザー設定] をクリックしてチェックを付けます。

4 [ユーザー設定の変更] をクリックします。

[印刷品質－ユーザー設定] ダイアログが表示されます。

5 [カラーマッチング] タブをクリックします。

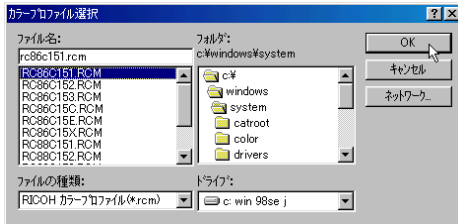
6 [追加] をクリックします。

[カラーマッチング－追加] ダイアログが表示されます。

7 [参照] をクリックします。

[カラープロファイル選択] ダイアログが表示されます。

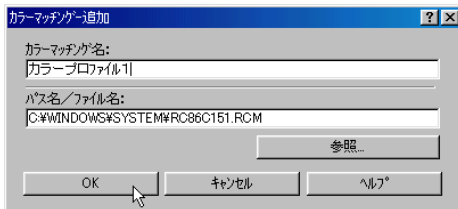
8 カラープロファイルが保存されているフォルダを開き、カラープロファイルを選択します。

補足

❒ カラープロファイルが保存されている場所は次の通りです（起動ディスクがCドライブの場合）。

- Windows 95/98/Me
  C:¥windows¥system
- Windows 2000/XP/Server 2003
  C:¥WINDOWS¥system32¥spool¥drivers内のフォルダ
- Windows NT 4.0
  C:¥WINNT¥System32¥spool¥drivers内のフォルダ

9 [OK] をクリックします。

[カラーマッチング−追加] ダイアログが表示されます。

10 [カラーマッチング名] に任意の名称を入力し、[OK] をクリックします。

カラーマッチング−追加
カラーマッチング名:
カラープロファイル1
パス名／ファイル名:
C:¥WINDOWS¥SYSTEM¥RC86C151.RCM
参照...
OK　キャンセル　ヘルプ

[印刷品質−ユーザー設定] ダイアログが表示されます。

11 [OK] をクリックします。

プリンター設定画面が表示されます。

12 [OK] をクリックします。

ステープルについて

本機では、オプションの500枚フィニッシャーを取り付けた場合、複数部数の印刷をしたときに、印刷物を１部ずつステープルすることができます。印刷方法の詳細については、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

制限

❒ 用紙種類で「厚紙」、「ラベル紙」、「OHP」の設定された給紙トレイを使用してステープルすることはできません。

補足

❒ 500枚フィニッシャーを接続しているのにステープルの設定ができない場合は、オプション装置が正しく設定されていない可能性があります。[オプション構成の変更/給紙トレイ設定] ダイアログで、オプション装置を正しく設定してください。

参照

- Windows 95/98/Meの場合⇒ P.48 「オプションを設定する」
- Windows 2000の場合⇒ P.86 「オプションを設定する」
- Windows NT 4.0の場合⇒ P.151 「オプションを設定する」

❒ 印刷方向、用紙セット方向によって、指定できるステープル位置は異なります。ステープルできる位置は次のとおりです。

❖ ステープル位置

本機の用紙方向	印刷データの方向	ステープル位置	仕上がり
	R タテ	左上	R
	R ヨコ	右上	R
	R タテ	右上	R
	R ヨコ	左上	R

- ❒ 両面の設定をしているときは、ステープル位置ととじ方向を合わせてください。
- ❒ 用紙サイズによらず、ステープルできるのは30枚までです。

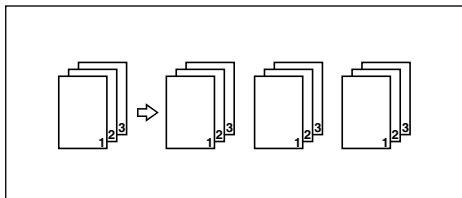
ソートについて

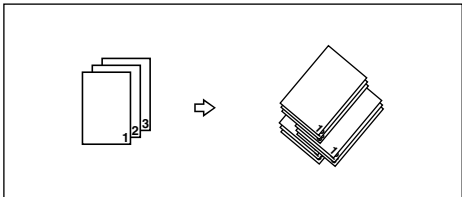
会議資料など複数部数の印刷をする場合などにページ順に仕分けして印刷する機能を「ソート」といいます。ソートには次の2種類があります。

参照

印刷方法の詳細については、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

❖ **ソート**

１部ずつそろえて印刷します。

❖ **シフトソート**

１部ごとにずらして排紙しますので、部の区切りがわかります。

制限

- ソート印刷を行うには、128MB以上のRAMまたは拡張HDDが必要です。
- ソート可能なページ数は、RAMによる場合は最大150ページ、HDDを増設した場合は最大1,000ページです。
- 用紙種類で「厚紙」、「ラベル紙」、「OHP」の設定された給紙トレイを使用してソートすることはできません。
- シフトソートするにはオプションの500枚フィニッシャーが必要です。

補足

- 500枚フィニッシャーを接続しているのにシフトソートの設定ができない場合は、オプション装置が正しく設定されていない可能性があります。プリンタードライバーのヘルプを参照し、[オプション構成の変更/給紙トレイ設定] ダイアログで、オプション装置を正しく設定してください。
- 排紙先がフィニッシャーのトレイの場合は、「ソート」の指定がされていてもシフトソートされます。

Windows Server 2003 使用時の注意

Terminal Server モード使用時の注意

プリンタードライバーの機能の一部が使用できません。使用できない機能は画面上でグレイダウン表示になります。

プリンタードライバーのすべての機能を使用する場合は、Windows Server 2003**を通常モードでご使用ください。**

Windows XP/Server 2003 で［プリンタと FAX］ウインドウを表示する

Windows XP Professional、Windows Server 2003 をご使用の場合

Windows XP Professional、Windows Server 2003で、［プリンタとFAX］ウインドウを表示する方法は次の通りです。

1 ［スタート］ボタンをクリックし、［プリンタとFAX］をクリックします。

［プリンタとFAX］ウィンドウが表示されます。

Windows XP Home Edition をご使用の場合

Windows XP Home Editionで［プリンタとFAX］ウインドウを表示する方法は次の通りです。

1 ［スタート］ボタンをクリックし、［コントロールパネル］をクリックします。

2 ［プリンタとその他のハードウェア］をクリックします。

3 ［プリンタとFAX］をクリックします。

［プリンタとFAX］ウィンドウが表示されます。

アルファベット索引

あ行

か行

さ行

た行

は行

ら行

機械の改良変更等により、本書のイラストや記載事項とお客様の機械とが一部異なる場合がありますのでご了承ください。

おことわり

1. 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。
2. 本製品（ハードウェア、ソフトウェア）および使用説明書（本書・付属説明書）を運用した結果の影響については、いっさい責任を負いかねますのでご了承ください。
3. 本書の一部または全部を無断で複写、複製、改変、引用、転載することはできません。

株式会社リコー
東京都港区南青山1-15-5 リコービル 〒107-8544
(03) 3479-3111(代表)

お問い合わせ先

お買い上げいただきました弊社製品についての消耗品のご注文やアフターサービス、製品の操作方法に関するお問い合わせはお買い上げの販売店、もしくは最寄りのサービス実施店にご相談ください。
転居の際は、販売店またはサービス実施店にご相談ください。転居先の最寄りの販売店、サービス実施店をご紹介いたします。

プリンター機能の操作方法に関するお問い合わせは、「リコープリンターコールセンター、IPSiO(イプシオ) ダイヤル」にご連絡ください。

0120 FreeDial **0120-56-1240**(コールはイプシオ)

- 受付時間:9〜12時、13〜17時(土、日、祝祭日、リコーの休業日を除く)

TrueTypeWorldの仕様およびインストール等に関するお問い合わせは、「TTWインフォメーションセンター」にご連絡ください。
045–477–1639

- 受付時間:9〜12時、13〜17時(土、日、祝祭日、リコーの休業日を除く)

最新プリンタードライバー情報

最新版のプリンタードライバーをインターネットのリコーホームページから入手することができます。

- インターネット/リコーホームページ:http://www.ricoh.co.jp/

リコーは環境保全を経営の優先課題のひとつと考え、リサイクル推進にも注力しております。本製品には、新品と同一の当社品質基準に適合した、リサイクル部品を使用している場合があります。

2003年5月　G100-8509